

データのチェック仕様

- ※ 最新バージョンに伴う支払基金と共通のチェック仕様の変更については、黄色網掛け、赤字で表示
- ※ 最新バージョンに伴う国保独自のチェック仕様の変更については、黄色網掛け、青字で表示（取消線は「支払基金との共通チェックを国保独自仕様としてチェックを行わない」ことを示す）
- ※ 既存の国保独自仕様に関しては、網掛けなし、青字で表示（取消線は「支払基金との共通チェックを国保独自仕様としてチェックを行わない」ことを示す）

●提供用アーカイブファイル

区分	チェック内容	エラーコード	エラーメッセージ
1次チェック	<ul style="list-style-type: none"> ファイル名が命名規則に準拠していない場合は請求データの送信を不可とする 提供用アーカイブファイル（ZIP形式ファイル）が解凍できない等によりシステムに取り込めない場合は「受付無効（提出用アーカイブファイルごと受付不可）」とする ルートフォルダが存在しない場合は「受付無効」とする ルートフォルダ名が命名規則に準拠していない場合は「受付無効」とする ルートフォルダ配下に交換用基本情報と集計情報ファイル以外が存在する場合は「受付無効」とする ルートフォルダ配下に複数の交換用基本情報と集計情報ファイルが存在する場合は「受付無効」とする ルートフォルダ配下にデータファイルフォルダ（¥DATA）が存在しない場合は「受付無効」とする データファイルフォルダ（¥DATA）の配下にXMLファイルが存在しない場合は「受付無効」とする ルートフォルダ配下に決済情報ファイルフォルダ（¥CLAIMS）が存在しない場合は「受付無効」とする 決済情報ファイルフォルダ（¥CLAIMS）の配下にXMLファイルが存在しない場合は「受付無効」とする 以前に処理したものと同一アーカイブファイルを受付けた場合、もしくはアーカイブファイル名が同じものを受付けた場合は「受付無効」とする 	請求データの読込エラー L1805 L1602 L1601 L1710 L1709 L1602 L1702 L1602 L1702 L1804	Web画面やクライアント業務によりファイル名不正のエラーとなる ZIPファイルをシステムに取り込めません。[ファイル名] フォルダが存在しません。[ルートフォルダ] ルートフォルダ名が誤っています。[ルートフォルダ名] [(桁数)桁目が(エラー理由)] ルートフォルダ配下に交換用基本情報ファイル、集計情報ファイル以外のファイルが格納されています。 ・交換用基本情報ファイルと思われるファイルが複数格納されています。 ・集計情報ファイルと思われるファイルが複数格納されています。 フォルダが存在しません。[DATA] フォルダ[DATA]配下にXMLファイルがありません。 フォルダが存在しません。[CLAIMS] フォルダ[CLAIMS]配下にXMLファイルがありません。 前回以前に受け付けたファイルと同一のファイルです。[ルートフォルダ名]
2次チェック	<ul style="list-style-type: none"> 受診者データ（特定健診データ・特定健診決済情報ファイル）又は利用者データ（特定保健指導データ・特定保健指導決済情報ファイル）が全て「受付不可」の場合、「受付無効」とする 	L1703	ルートフォルダ配下の全てのファイルに受付エラーが検出されました。ルートフォルダ自体を受付無効にします。[ルートフォルダ名]

●交換用基本情報ファイル

区分	チェック内容	エラーコード	エラーメッセージ
1次チェック	<ul style="list-style-type: none"> 交換用基本情報ファイルのファイル名の先頭が「ix」以外の場合は「受付無効（提出用アーカイブファイルごと受付不可）」とする 名前空間（ルート要素に設定されるxmlns属性、xmlns:xsi属性、xsi:schemaLocation属性の各設定値）が各期の「機种的な標準様式の仕様」に準拠していない場合は「受付無効」とする 文字コードが不正（UTF8以外）、又はXMLファイルとして認識できない場合は「受付無効」とする 各項目のチェック可否が「○」の場合、要素及び項目値が存在しないときは「受付無効」とする 各項目のチェック可否が「○」又は「△」の場合、モード（形式）が誤っているときは「受付無効」とする 各項目のチェック可否が「○」又は「△」の場合、最大文字数を超過している、又はデータ形式が固定でかつ最大文字数に満たしていないときは「受付無効」とする 	L1702 L1801 L1802 L1101 L1203 L1202	フォルダ[ルートフォルダ名]配下に交換用基本情報ファイルがありません。 交換用基本情報ファイルの名前空間の定義が誤っています。[値] 交換用基本情報ファイルがシステムに取り込めません。[ファイル名] (項目名)が記録されていません。 (項目名)が(形式名)形式で記録されていません。[値] 固定長:(項目名)が(文字数)文字で記録されていません。[値] 可変長:(項目名)が(文字数)文字以内で記録されていません。[値]
2次チェック	<ul style="list-style-type: none"> 各項目の2次チェック内容の条件を満たしていない場合は「受付無効」とする 	下記参照	

ファイルの記録内容	項目（要素）名称	モード（形式）	最大文字数	データ形式	チェック可否 ※1		コード値（国保取扱いのみ）	2次チェック内容（補足説明など）	エラーレベル	エラーコード	エラーメッセージ	
					特定健診（1）	特定保健指導（2）						
特定健診又は特定保健指導の交換用情報	種別	半角数字	2	可変	○	○	1: 特定健診又は特定保健指導機関から代行機関（請求）	・1であること	受付無効	L1301	交換用基本情報ファイルの種別に誤ったコード値が記録されています。[値]	
	送付元機関	半角数字	10	固定	○	○		・ルートフォルダの「健診等機関番号」と同じであること	受付無効	L1401	交換用基本情報ファイルの送付元機関 [値]とルートフォルダの送付元機関 [値]との関連が誤っています。	
	送付先機関	半角数字	8	固定	○	○		・ルートフォルダの「代行機関番号」と同じであること	受付無効	L1401	交換用基本情報ファイルの送付先機関 [値]とルートフォルダの送付先機関 [値]との関連が誤っています。	
	作成年月日	半角日付 (YYYYMMDD)	8	固定	○	○						
	実施区分	半角数字	1	固定	○	○	1: 特定健診 2: 特定保健指導	・ルートフォルダの「種別コード」と同じであること ・左記のコード値の何れかであること	受付無効	1: L1401 2: L1301	1: 交換用基本情報ファイルの実施区分 [値]とルートフォルダの種別 [値]との関連が誤っています。 2: 交換用基本情報ファイルの実施区分に誤ったコード値が記録されています。[値]	
総ファイル数 ※2	半角数字	6	可変	○	○							

- ※1. チェック可否の意味は下記のとおり
○: あり（要素及び項目値が存在すること） ×: なし（要素が存在しないこと） △: 任意（要素と項目値が存在する場合チェックする） -: チェックしない
- ※2. 「特定健診・特定保健指導 交換用基本情報ファイル仕様説明書 Version 3.1」において、総ファイル数は「整数 8 桁以内」となったが、健診等機関から送信する健診等結果の総ファイル数は運用上7桁を超えないため修正しない。

●集計情報ファイル

区分	チェック内容	エラーコード	エラーメッセージ
1次チェック	<ul style="list-style-type: none"> 集計情報ファイルのファイル名の先頭が「su」以外の場合は「受付無効（提出用アーカイブファイルごと受付不可）」とする 名前空間（ルート要素に設定されるxmlns属性、xmlns:xsi属性、xsi:schemaLocation属性の各設定値）が交換用基本情報ファイルと対応した期の名前空間に準拠していない場合は「受付無効」とする 文字コードが不正（UTF8以外）、又はXMLファイルとして認識できない場合は「受付無効」とする 各項目のチェック可否が「○」の場合、要素及び項目値が存在しないときは「受付無効」とする 各項目のチェック可否が「○」又は「△」の場合、モード（形式）が誤っているときは「受付無効」とする 各項目のチェック可否が「○」又は「△」の場合、最大文字数を超過している、又はデータ形式が固定でかつ最大文字数に満たしていないときは「受付無効」とする 	L1702 L1801 L1802 L1101 L1203 L1202	フォルダ[ルートフォルダ名]配下に集計情報ファイルがありません。 集計情報ファイルの名前空間の定義が誤っています。[値] 集計情報ファイルがシステムに取り込めません。[ファイル名] (項目名)が記録されていません。 (項目名)が(形式名)形式で記録されていません。[値] 固定長:(項目名)が(文字数)文字で記録されていません。[値] 可変長:(項目名)が(文字数)文字以内で記録されていません。[値]
2次チェック	<ul style="list-style-type: none"> 各項目の2次チェック内容の条件を満たしていない場合は「受付無効」とする 	下記参照	

ファイルの記録内容	項目（要素）名称	モード（形式）	最大文字数	データ形式	チェック可否 ※1		コード値（国保取扱いのみ）	2次チェック内容（補足説明など）	エラーレベル	エラーコード	エラーメッセージ
					特定健診（1）	特定保健指導（2）					
特定健診又は特定保健指導の集計情報	実施区分	半角数字	1	固定	○	○	1: 特定健診 2: 特定保健指導	・ルートフォルダの「種別コード」と同じであること ・左記のコード値の何れかであること	受付無効	1: L1401 2: L1301	1: 集計情報ファイルの実施区分 [値]とルートフォルダの種別 [値]との関連が誤っています。 2: 集計情報ファイルの実施区分に誤ったコード値が記録されています。[値]
	特定健診受診者 / 特定保健指導利用者の総数	半角数字	6	可変	○	○					
	特定健診 / 特定保健指導の単価 (合計) / 算定金額の総計	半角数字	9	可変	○	○					
	特定健診 / 特定保健指導の窓口負担の金額総計	半角数字	9	可変	△	△					
	他の検診による負担金額総計	半角数字	9	可変	△	-					
	特定健診 / 特定保健指導の請求金額総計	半角数字	9	可変	○	○					

- ※1. チェック可否の意味は下記のとおり
○: あり（要素及び項目値が存在すること） ×: なし（要素が存在しないこと） △: 任意（要素と項目値が存在する場合チェックする） -: チェックしない

- ※ 最新バージョンに伴う支払基金と共通のチェック仕様の変更については、黄色網掛け、赤字で表示
- ※ 最新バージョンに伴う国保独自のチェック仕様の変更については、黄色網掛け、青字で表示（取消線は「支払基金との共通チェックを国保独自仕様としてチェックを行わない」ことを示す）
- ※ 既存の国保独自仕様に関しては、網掛けなし、青字で表示（取消線は「支払基金との共通チェックを国保独自仕様としてチェックを行わない」ことを示す）

●特定健診データファイル

区分	チェック内容	エラーコード	エラーメッセージ
1次チェック	・特定健診データファイルのファイル名が命名規則に準拠していない、又はファイル名の“種別”がルートフォルダ名の“種別”と一致していない場合は「受付不可」とする。エラーの場合は以降のチェックを行わない	L2701	データファイルのファイル名が誤っています。[ファイル名] [(桁数)桁目が(エラー理由)]
	・対となる特定健診決済情報ファイルが存在しない場合は「受付不可」とする。エラーの場合は以降のチェックを行わない	L2704	データファイル[ファイル名]に対応する決済情報ファイルがありません。
	・文字コードが不正 (UTF8以外)、又は構造定義 (電子的標準様式) に準拠していない場合は「受付不可」とする。エラーの場合は以降のチェックを行わない	L2802	データファイルがシステムに取り込めません。 [ファイル名]
	・ルートタグが誤っている場合、以降のチェックを行わない	L2806	データファイルのルートタグの記録が誤っています。誤 [値] 正 [正常値]
	・名前空間 (ルート要素に設定されるxmlns属性、xmlns:xsi属性、xsi:schemaLocation属性の各設定値) が「電子的な標準様式の仕様」に準拠していない場合は自動補正を行う	-	-
	・モード (形式) が「全角文字又は半角英数」、及び「全角文字」の項目に対し、Linuxで入力された全角記号 (、、～) が含まれている場合はWindowsで判別出来る全角記号 (、、～) に自動補正を行う。	-	-
	・各項目のチェック可否が「○」の場合、要素及び項目値が存在しないときは「受付不可」とする	L2101	[項目名] が記録されていません。
・各項目のチェック可否が「○」又は「△」の場合、モード (形式) が誤っているときは「受付不可」とする	L2203	[項目名] が (形式名) 形式で記録されていません。 [値]	
・各項目のチェック可否が「○」又は「△」の場合、最大文字数を超過している、又はデータ形式が固定でかつ最大文字数に満たしていないときは「受付不可」とする (一部例外あり)	L2202	固定長: [項目名] が (文字数) 文字で記録されていません。 [値] 可変長: [項目名] が (文字数) 文字以内で記録されていません。 [値]	
・各項目のチェック可否が「×」の場合、要素が存在するときは「受付不可」とする	L2103	[項目名] が記録されています。 [値]	
2次チェック	・特定健診データのXML形式構造定義ファイル (XMLスキーマファイル) に準拠していない場合は「受付不可」とする (なお、受付エラー連絡書には参考としてエラーメッセージを最大3つまで表示する)	L2803	データファイルのスキーマチェックでエラーが発生しました。 [ファイル名] このエラーを修正するためにはシステム開発者にご相談ください。 参考メッセージ [エラーメッセージ]
	・各項目の2次チェック内容の条件を満たしていない場合は「受付不可」とする	下記参照	

ファイルの記録内容	項目 (要素) 名称	モード (形式)	最大文字数	データ形式	チェック可否 ※1					コード値 (国保取扱いのみ)	2次チェック内容 (補足説明など)	エラーレベル	エラーコード	エラーメッセージ
					基本的な健診 (1)	基本的な健診+詳細な健診 (2)	基本的な健診+追加健診項目 (3)	基本的な健診+詳細な健診+追加健診項目 (4)	人間ドック (5)					
受診者情報	報告区分	半角数字	2	固定	○	○	○	○	○	10: 特定健診情報	・10であること	受付不可	L2301	データファイルの報告区分に誤ったコード値が記録されています。 [値]
	ファイル作成日	半角日付 (YYYYMMDD)	8	固定	○	○	○	○	○		・未来日付 (システム日付の翌日以降の日付) でないこと	受付不可	L2408	データファイルのファイル作成日に未来日が記録されています。 [値]
	整理用番号1	半角英数	6	固定	×	×	×	×	×		※. 010が「2.392.200119.6.202の場合	受付不可	L2103	
	整理用番号2	半角英数	6	固定	×	×	×	×	×		※. 010が「2.392.200119.6.203の場合	受付不可	L2103	
	整理用番号3	半角英数	6	固定	×	×	×	×	×		※. 010が「2.392.200119.6.900の場合	受付不可	L2103	データファイルの整理用番号1が記録されています。 [値]
	整理用番号4	半角英数	6	固定	×	×	×	×	×		※. 010が「2.392.200119.6.18010の場合	受付不可	L2103	データファイルの整理用番号5チェックコードが記録されています。 [値]
	整理用番号5	半角英数	6	固定	×	×	×	×	×		※. 010が「2.392.200119.6.18020の場合	受付不可	L2103	
	整理用番号5チェックコード	半角英数	2	固定	×	×	×	×	×		※. 010が「2.392.200119.6.21010の場合	受付不可	L2103	
	保険者番号	半角数字	8	固定	○	○	○	○	○		・決済情報ファイルの受診者情報の当該項目と同じであること ※・先頭2桁が「67」の場合、先頭2桁を「00」に置き換えた保険者番号で比較する	受付不可	L2401	データファイルの保険者番号 [値] と決済情報ファイルの保険者番号 [値] との関連が誤っています。
	被保険者証番号	全角文字又は半角英数	20	可変	△	△	△	△	△					
被保険者証番号	全角文字又は半角英数	20	可変	○	○	○	○	○						
被保険者証番号	半角数字	2	固定	△	△	△	△	△						
被保険者証番号	半角カタカナ	20	可変	○	○	○	○	○						
氏名	半角日付	8	固定	○	○	○	○	○						
生年月日	半角日付 (YYYYMMDD)	8	固定	○	○	○	○	○						
男女区分	半角数字	1	固定	○	○	○	○	○						
郵便番号	半角英数 (999-9999)	8	固定	○	○	○	○	○						
住所	全角文字	40	可変	○	○	○	○	○						
ファイル作成日	半角日付 (YYYYMMDD)	8	固定	○	○	○	○	○						
特定健診機関番号	半角数字	10	固定	○	○	○	○	○						
名称	全角文字	20	可変	○	○	○	○	○						
郵便番号	半角英数 (999-9999)	8	固定	△	△	△	△	△						
所在地	全角文字	40	可変	△	△	△	△	△						
電話番号	半角英数 (tel:99999999999)	15	可変	△	△	△	△	△						
受診券番号	半角数字	1	固定	△	△	△	△	△						
受診券整理番号	半角数字	11	固定	△	△	△	△	△						
受診券有効期限	半角日付 (YYYYMMDD)	8	固定	△	△	△	△	△						
受診券発行保険者番号	半角数字	8	固定	△	△	△	△	△						
特定健診情報	健診実施時のプログラム種別	半角数字	3	固定	○	○	○	○	○	000: 不明 010: 特定健診 030: 事業者健診 (労働安全衛生法に基づく健診) 040: 学校健診 (学校保健法に基づく職員健診) 060: がん検診 090: 肝炎検診 990: 上記ではない健診 (検診)	→左記のコード値の何れかであること ※. 020 (広域連合の保健事業)、050 (生活機能評価) は支払基金にて取り扱わない	受付不可	L2301	データファイルの健診実施時のプログラム種別に誤ったコード値が記録されています。 [値]
	健診実施年月日	半角日付 (YYYYMMDD)	8	固定	○	○	○	○	○		・ファイル作成日の翌日以降の日付でないこと	受付不可	L2410	データファイルの [項目名] [値] にファイル作成日 [値] より未来日が記録されています。
	健診実施機関番号	半角数字	10	固定	○	○	○	○	○		・決済情報ファイルの受診者情報の当該項目と同じであること	受付不可	L2401	データファイルの健診実施機関番号 [値] と決済情報ファイルの健診実施機関番号 [値] との関連が誤っています。
	健診実施機関名称	全角文字	20	可変	○	○	○	○	○					
	健診実施機関郵便番号	半角英数 (999-9999)	8	固定	○	○	○	○	○					
	健診実施機関所在地	全角文字	40	可変	○	○	○	○	○					
	健診実施機関電話番号	半角英数 (tel:99999999999)	15	可変	○	○	○	○	○					
健診結果情報 ※. 複数記録可能	CDAセクションのコード	半角数字	5	固定						01010: 特定健診検査・問診セクション 01020: 広域連合保健事業セクション 01030: 労働安全衛生法健診セクション 01040: 学校保健法健診セクション 01050: 生活機能評価セクション 01060: がん検診セクション 01090: 肝炎検診セクション 01990: 任意追加項目セクション	1: 01010のセクションコードが一つ以上存在すること 2: 01010、01990以外のセクションコードが存在しないこと 3: 1データファイル内でCDAセクションコードが重複して記録されていないこと ・CDAセクションのコードの010値が「1.2.392.200119.6.1010」でない場合は、自動補正を行う。 ・対象健診年度が平成30年度以降において「01050+生活機能評価セクション」が記録されていないこと	受付不可	1: L2101 2: L2101 3: L2108 4: L2424	1、2: データファイルに必須のCDAセクションのコードが記録されていません。 3: 特定健診データファイル内に重複したCDAセクションコード [値] が存在します。
	健診 (検査) 結果 ※. 複数記録可能	検査項目コード	半角英数	17	固定						・1つの健診項目内に健診項目コードや結果データ値などの要素が複数記録されていないこと ※但し、対象健診年度が平成25年度以降の場合、XMLデータ型がPQ、CDの組み合わせ (PQ、CDは各々1つのみとする) は除く (PQ、CDの出現順番は任意とする)。 (補足資料①参照) ※対象健診年度が平成25年度以降の場合、XMLデータ型がPQ、CDの組み合わせは除く (PQ、CDの出現順番は任意とする)。	受付不可	L2111 L2107	データファイルの [項目名1] の [項目名2] が複数記録されています。
	検査項目コード	半角英数	17	固定										
	検査方式コード	半角英数	10	可変	△	△	△	△	△					
	基準上限・下限値 ※2	半角数字	11	可変	△	△	△	△	△					
	倉庫経過時間	半角数字	4	可変	△	△	△	△	△					
	結果解釈コード	半角英数	1	固定	△	△	△	△	△					
	判断医師氏名	全角文字	32	可変	△	△	△	△	△					
					

- ※1. チェック可否の意味は下記のとおり
○: あり (要素及び項目値が存在すること) ×: なし (要素が存在しないこと) △: 任意 (要素と項目値が存在する場合チェックする) - : チェックしない
- ※2. 基準上限・下限値の桁数は下記のとおり
整数部7桁以内、小数部3桁以内とする (小数点も1桁として含み、11桁の可変長文字列とする)

※ 最新バージョンに伴う支払基金と共通のチェック仕様の変更については、黄色網掛け、赤字で表示
 ※ 最新バージョンに伴う国保独自のチェック仕様の変更については、黄色網掛け、青字で表示（取消線は「支払基金との共通チェックを国保独自仕様としてチェックを行わない」ことを示す）
 ※ 既存の国保独自仕様に関しては、網掛けなし、青字で表示（取消線は「支払基金との共通チェックを国保独自仕様としてチェックを行わない」ことを示す）

● 特定健診決済情報ファイル

区分	チェック内容	エラーコード	エラーメッセージ
1次チェック	・ 特定健診決済情報ファイルのファイル名が命名規則に準拠していない、又はファイル名の“種別”がルートフォルダ名の“種別”と一致していない場合は「受付不可」とする。エラーの場合は以降のチェックを行わない	L 2701	決済情報ファイルのファイル名が誤っています。[ファイル名][桁数]桁目が[エラー理由]
	・ 対となる特定健診データファイルが存在しない場合は「受付不可」とする。エラーの場合は以降のチェックを行わない	L 2704	決済情報ファイル[ファイル名]に対応するデータファイルがありません。
	・ 文字コードが不正（UTF8以外）、又は構造定義（電子的標準様式）に準拠していない場合は「受付不可」とする。エラーの場合は以降のチェックを行わない	L 2802	決済情報ファイルがシステムに取り込めません。[ファイル名]
	・ ルートタグが誤っている場合、以降のチェックを行わない	L 2806	決済情報ファイルのルートタグの記録が誤っています。誤[値]正[正常値]
	・ 名前空間（ルート要素に設定されるxmlns属性、xmlns:xsi属性、xsi:schemaLocation属性の各設定値）が対となる特定健診データファイルと対応した期の名前空間に準拠していない場合は自動補正を行う	-	-
	・ モード（形式）が「全角文字又は半角英数」、及び「全角文字」の項目に対し、Linuxで入力された全角記号（、～）が含まれている場合はWindowsで判別出来る全角記号（、～）に自動補正を行う。	-	-
	・ 各項目のチェックを実施する前に請求区分のチェックを行い、エラーの場合は以降のチェックを行わない	-	-
	・ 各項目のチェック可否が「○」の場合、要素及び項目値が存在しないときは「受付不可」とする	L 2101	[項目名]が記録されていません。
	・ 各項目のチェック可否が「×」の場合、要素が存在するときは「受付不可」とする	L 2103	[項目名]が記録されています。[値]
	・ 各項目のチェック可否が「○」又は「△」の場合、モード（形式）が誤っているときは「受付不可」とする	L 2203	[項目名]が[形式名]形式で記録されていません。[値]
・ 各項目のチェック可否が「○」又は「△」の場合、最大文字数を超過している、又はデータ形式が固定でかつ最大文字数に満たしていないときは「受付不可」とする（一部例外あり）	L 2202	固定長：[項目名]が[文字数]文字で記録されていません。[値] 可変長：[項目名]が[文字数]文字以内で記録されていません。[値]	
2次チェック	・ 特定健診決済情報のXML形式構造定義ファイル（XMLスキーマファイル）に準拠していない場合は「受付不可」とする（なお、受付エラー連絡書には参考としてエラーメッセージを最大3つまで表示する）	L 2803	決済情報ファイルのスキーマチェックでエラーが発生しました。[ファイル名]このエラーを修正するためにはシステム開発者にご相談ください。 参考メッセージ[エラーメッセージ]
	→ 当月を含む過去3ヶ月以内の請求処理において決済情報ファイルに記録されている項目（実施区分、特定健診機関番号、保険者番号、受診券整理番号、生年月日、男女区分）と同一の内容の決済情報ファイルが存在する場合は、「受付不可」とする	L 2707	
	→ オンラインの保険者からの返戻受付期間は保険者報告1回目（23日頃）の翌月から受付開始とする	L 2711	
	→ 当月処理において決済情報ファイル名と同一の決済情報ファイルが既に請求分又は返戻・過誤分として存在する場合は、「受付不可」とする	L 2712	
	・ 各項目の2次チェック内容の条件を満たしていない場合は「受付不可」とする	下記参照	

ファイルの記録内容	項目（要素）名称	モード（形式）	最大文字数	データ形式	チェック可否 ※1 特定健診決済情報ファイル：請求区分					コード値 （国保取扱いのみ）	2次チェック内容 （補足説明など）	エラーレベル	エラーコード	エラーメッセージ	
					基本的な健診（1）	基本的な健診+詳細な健診（2）	基本的な健診+追加健診項目（3）	基本的な健診+詳細な健診+追加健診項目（4）	人間ドック（5）						
受診情報	実施区分	半角数字	1	固定	○	○	○	○	○	1：特定健診情報	受付不可	1：L 2301 2：L 2401	1：決済情報ファイルの実施区分に誤ったコード値が記録されています。[値] 2：決済情報ファイルの実施区分[値]とルートフォルダの種別[値]との関連が誤っています。		
受診者情報	健診実施機関番号	半角数字	10	固定	○	○	○	○	○	・ 決済情報ファイル名の2桁目から10桁で記録される「健診実施機関番号」と一致すること ・ 機関マスタに存在すること ・ ルートフォルダ名の「健診実施機関番号」と同じであること	受付不可	1：L 2401 2：L 2302 3：L 2603	1：決済情報ファイルの健診実施機関番号[値]と決済情報ファイルのファイル名の健診実施機関番号[値]との関連が誤っています。 2：決済情報ファイルの健診実施機関番号がシステムに登録されていません。[値]		
	保険者番号	半角数字	8	固定	○	○	○	○	○	・ 保険者マスタに存在すること ・ 先頭2桁が「67」の場合、先頭2桁を「00」に置き換えた保険者番号が保険者マスタに存在すること	受付不可	L 2302	決済情報ファイルの保険者番号がシステムに登録されていません。[値]		
	被保険者証番号	全角文字又は半角英数	20	可変	△	△	△	△	△						
	被保険者証番号	全角文字又は半角英数	20	可変	○	○	○	○	○						
	被保険者証番号	半角数字	20	固定	△	△	△	△	△						
	被保険者証番号	全角カタカナ	20	可変	○	○	○	○	○						
	氏名	半角カタカナ	20	可変	○	○	○	○	○						
	生年月日	半角日付 (YYYYMMDD)	8	固定	○	○	○	○	○		・ 未来日付（システム日付の翌日以降の日付）でないこと	受付不可	L 2408	決済情報ファイルの生年月日に未来日が記録されています。[値]	
	男女区分	半角数字	1	固定	○	○	○	○	○	1：男 2：女	・ 左記のコード値の何れかであること	受付不可	L 2301	決済情報ファイルの男女区分に誤ったコード値が記録されています。[値]	
	郵便番号	半角英数 (999-9999)	8	固定	○	○	○	○	○						
住所	全角文字	40	可変	○	○	○	○	○							
受診券整理番号	半角数字	11	固定	△	△	△	△	△							
受診券有効期限	半角日付 (YYYYMMDD)	8	固定	△	△	△	△	△							
受診券情報	窓口負担（基本的な健診）	窓口負担コード	半角数字	1	固定	△	△	△	△	△	1：負担なし 2：定額負担（単位：円） 3：定率負担（単位：％） 4：保険者負担上限額（単位：円）	受付不可	L 2301	決済情報ファイルの窓口負担（基本的な健診）の窓口負担コードに誤ったコード値が記録されています。[値]	
		負担額（率）	半角数字	6	固定	△	△	△	△	△					
		窓口負担コード	半角数字	1	固定	△	△	△	△	△					
	窓口負担（詳細な健診）	窓口負担コード	半角数字	1	固定	△	△	△	△	△	1：負担なし 2：定額負担（単位：円） 3：定率負担（単位：％） 4：保険者負担上限額（単位：円）	受付不可	L 2301	決済情報ファイルの窓口負担（詳細な健診）の窓口負担コードに誤ったコード値が記録されています。[値]	
		負担額（率）	半角数字	6	固定	△	△	△	△	△					
		窓口負担コード	半角数字	1	固定	△	△	△	△	△					
	窓口負担（追加健診）	窓口負担コード	半角数字	1	固定	△	△	△	△	△	1：負担なし 2：定額負担（単位：円） 3：定率負担（単位：％） 4：保険者負担上限額（単位：円）	受付不可	L 2301	決済情報ファイルの窓口負担（追加健診）の窓口負担コードに誤ったコード値が記録されています。[値]	
		負担額（率）	半角数字	6	固定	△	△	△	△	△					
		窓口負担コード	半角数字	1	固定	△	△	△	△	△					
	窓口負担（人間ドック）	窓口負担コード	半角数字	1	固定	△	△	△	△	△	1：負担なし 2：定額負担（単位：円） 3：定率負担（単位：％）	受付不可	L 2301	決済情報ファイルの窓口負担（人間ドック）の窓口負担コードに誤ったコード値が記録されています。[値]	
		負担額（率）	半角数字	6	固定	△	△	△	△	△					
		窓口負担コード	半角数字	1	固定	△	△	△	△	△	4：保険者負担上限額（単位：円）	受付不可	L 2301	決済情報ファイルの窓口負担（人間ドック）の窓口負担コードに誤ったコード値が記録されています。[値]	
決済情報	請求区分	半角数字	1	固定	○	○	○	○	○	1：基本的な健診 2：基本的な健診+詳細な健診 3：基本的な健診+追加健診項目 4：基本的な健診+詳細な健診+追加健診項目 5：人間ドック	・ 左記のコード値の何れかであること	受付不可	L 2301	決済情報ファイルの請求区分に誤ったコード値が記録されています。[値]	
	委託料単価（個別健診・集団健診）区分	半角数字	1	固定	○	○	○	○	○	1：個別健診 2：集団健診	・ 左記のコード値の何れかであること	受付不可	L 2301	決済情報ファイルの委託料単価（個別健診・集団健診）区分に誤ったコード値が記録されています。[値]	
	単価（基本的な健診）	半角数字	9	可変	○	○	○	○	×		・ 請求区分が2又は4の場合、同じ項目コードの単価金額が存在しないこと	受付不可	L 2105	重複が許されない項目が複数記録されています。[項目名]	
	単価（詳細な健診） ※、複数記録可能	項目コード	半角数字	1	固定	×	○	×	○	×	1：貧血検査 2：心電図検査 3：眼底検査 4：血清クレアチニン検査	・ 請求区分が2又は4の場合、左記のコード値の何れかであること	受付不可	L 2301	決済情報ファイルの単価（詳細な健診）の項目コードに誤ったコード値が記録されています。[値]
		単価金額	半角数字	9	可変	×	○	×	○	×		・ 対象健診年度が平成29年度以前において「4：血清クレアチニン検査」が記録されていないこと	受付不可	L 2424	対象健診年度が平成29年度以前において決済情報ファイルの単価（詳細な健診）の項目コードに誤ったコード値が記録されています。[値]
	単価（追加健診又は人間ドック） ※、複数記録可能	項目コード	半角英数	17	固定	×	×	○	○	×	JLAC10コード	・ 請求区分が5（人間ドック）の場合、複数記録されていないこと ・ 請求区分が3又は4の場合、同じ項目コードが存在しないこと	受付不可	L 2105	重複が許されない項目が複数記録されています。[項目名]
		単価金額	半角数字	9	可変	×	×	○	○	○					
	窓口負担金額（基本的な健診）	半角数字	6	固定	△	△	△	△	×						
	窓口負担金額（詳細な健診）	半角数字	6	固定	×	△	×	△	×						
	窓口負担金額（追加健診又は人間ドック）	半角数字	6	固定	×	×	△	△	△						
	単価（合計）	半角数字	9	可変	○	○	○	○	○						
	窓口負担金額（合計）	半角数字	9	可変	○	○	○	○	○						
他の検診による負担額	半角数字	9	可変	△	△	△	△	△							
請求金額	半角数字	9	可変	○	○	○	○	○							

※1. チェック可否の意味は下記のとおり
 ○：あり（要素及び項目値が存在すること） ×：なし（要素が存在しないこと） △：任意（要素と項目値が存在する場合チェックする） -：チェックしない

※ 最新バージョンに伴う支払基金と共通のチェック仕様の変更については、黄色網掛け、赤字で表示
 ※ 最新バージョンに伴う国保独自のチェック仕様の変更については、黄色網掛け、青字で表示（取消時は「支払基金との共通チェックを関係独自仕様としてチェックを行わない」ことを示す）
 ※ 既存の国保独自仕様に関しては、網掛けせず、青字で表示（取消時は「支払基金との共通チェックを関係独自仕様としてチェックを行わない」ことを示す）

●特定健診項目チェックシート

NO	チェック内容	エラー レベル	エラーコード	エラーメッセージ
1	JLAC10コードの項目コード体系010が誤って記録されている場合、「1.2.392.200119.6.1005」に自動補正を行う	-	-	-
2	XMLデータ型に準拠しないデータ型が指定されている場合、自動補正を行う	-	-	-
3	データ型（属性）が「CD」（全角）の項目に対し、L1197で入力された全角記号（～、）が含まれている場合はWindowsで判別出来る全角記号（～、）に自動補正を行う。	-	-	-
4	項目（JLAC10コード）に対し種別（下記参照）の条件を満たさない ○：当該項目（JLAC10コード）が必ず存在すること ○：いずれか1つ以上、未実施以外で存在すること（同一グループ内で存在可） ●：いずれか1つ以上、未実施以外の項目が存在すること（同一グループ内で存在可） △：いずれか1つ以上、未実施以外の項目が存在すること（同一グループ内で存在可）ただし、関連する項目値が20未満又は「L」（入力最小値の範囲外）の場合は除く なお、「No4-3 腹囲（自己申告）」のみ未実施以外で記録されている場合は関連する項目値が22未満又は「L」（入力最小値の範囲外）であること ▲：いずれか1つ以上、未実施以外の項目が存在すること（同一グループ内で存在可）ただし、対象健診年度が平成24年度以前の場合、NO.22-1～4を除き、対象健診年度が平成25年度以降の場合、NO.21-1～4を除く（補足資料②を参照） □：当該項目が未実施以外で存在し、かつ関連する項目がいずれか1つ以上、未実施以外で存在する場合、関連する項目がNO.25-1～4の場合、項目値が2（食後3時間以上10時間未満）であること 関連する項目がNO.26-1～4の場合、項目値が3（食後3時間以上10時間未満）であること 関連する項目がNO.27-1～4の場合、項目値が4（食後3時間以上10時間未満）であること ※：対象健診年度が平成24年度以前の場合、HbA1c（NO.27-1～4）がいずれか1つ以上、未実施以外で存在する場合 ※：対象健診年度が平成25年度以降の場合、HbA1c（NO.28-1～4）がいずれか1つ以上、未実施以外で存在する場合 ■：関連する項目のコードが1（あり）の場合、当該項目が存在すること	○：L2101 ○：L2101 ●：L2101 △：L2101 L2416 ▲：L2101 L2422 □：L2401 ■：L2401	○：データファイルの「項目名」が記録されていません。 ○：データファイルの「同一性項目名」が記録されていません。 ●：データファイルの「同一性項目名」が記録されていません。 △：データファイルの「同一性項目名」が記録されていません。 原因：自己申告のみ未実施以外で記録されている場合はBMIが22未満又は「L」（入力最小値の範囲外）である必要がございます。 ▲：データファイルの「項目名」が記録されていません。 □：データファイルの「項目名」とデータファイルの「項目名」との関連が誤っています。 ■：データファイルの「項目名」とデータファイルの「項目名」との関連が誤っています。	
5	特定健診検査・問診セッションに記録された場合、同一検査内の○のいずれかが記録されていない又は未実施として記録されている	受付不可	L2425	詳細な健診において、データファイルの「項目名」が記録されていない又は未実施として記録されています。
6	同一検査内の○が2つ以上同時に、未実施以外で記録されている	受付不可	L2426	同時健診が認められていない項目が記録されています。【項目名】
7	特定健診検査・問診セッションに記録された場合、検査対象者に異なるコード値の組み合わせが誤っている	受付不可	L2427	詳細な健診において、データファイルの「項目名」に属したコード値が記録されています。【値】
8	平成29年度以前記録不可の項目	受付不可	L2423	対象健診年度が平成29年度以前において、記録が認められていないデータファイルの「項目名」が記録されています。
9	平成30年度以降令和5年度以前記録不可の項目	受付不可	L2423	対象健診年度が平成30年度以降令和5年度以前において、記録が認められていないデータファイルの「項目名」が記録されています。
10	令和元年度以前記録不可の項目	受付不可	L2491	対象健診年度が令和元年度以前において、記録が認められていないデータファイルの「項目名」が記録されています。
11	令和2年度以降記録不可の項目	受付不可	L2492	対象健診年度が令和2年度以降において、記録が認められていないデータファイルの「項目名」が記録されています。
12	未実施の記録が不可の項目で未実施（observation要素のnegationIncl属性が「true」）で設定されている	受付不可	L2112	未実施の記録が認められていない項目に未実施が記録されています。【項目名】
13	データ型（属性）に準拠しない項目値が設定されている	受付不可	L2203	データファイルの「項目名」が「指定名」形式で記録されています。【値】
14	最大文字数が指定されている項目において、最大文字数を超えている	受付不可	L2202	指定名（CD等）データファイルの「項目名」が「文字列」文字で記録されています。【値】 可変長（ST等）データファイルの「項目名」が「文字列」文字で記録されています。【値】
15	形式が指定されている項目において、形式に準拠しない項目値が設定されている	受付不可	L2208	【項目名】に属した形式の値が記録されています。【値】
16	対象健診年度が平成24年度以前の場合、入力最小・最大値の範囲が指定されている項目において、項目値が範囲外 ※：範囲内とは、「入力最小値」<「記録された値」<「入力最大値」に記録された値のこと	受付不可	L2405	データファイルの「項目名」に対し範囲（「入力最小値」～「入力最大値」）外の値が記録されています。【値】
17	対象健診年度が平成25年度以降の場合、入力最小・最大値の範囲が指定されている項目において、検査結果値の検査結果データ型の組み合わせが誤っている	受付不可	L2420	データファイルの「項目名」に対し検査結果値の検査結果データ型の組み合わせが誤っています。
18	対象健診年度が平成25年度以降の場合、入力最小・最大値の範囲が指定されている項目において、検査結果（コード）の内容が誤っている	受付不可	L2421	データファイルの「項目名」において範囲（「入力最小値」～「入力最大値」）外の記録値に対応するコード値が誤っています。【値】
19	1 CDAセッションコード内に同じ項目（JLAC10コード）が複数記録されている	受付不可	L2106	CDAセッションコード【値】内に重複した検査項目【項目名】が存在します。
20	項目値（コード値）の範囲が指定されている項目において、項目値が範囲外 ※：範囲内とは、「範囲最小値」≧「記録された値」≧「範囲最大値」に記録された値のこと	受付不可	L2405	データファイルの「項目名」に対し範囲（「下範囲」～「上範囲」）外の値が記録されています。【値】
21	XMLデータ型がPQで定義された項目（referenceRangeが指定されている項目）において、基準値の範囲外で結果解釈コード（interpretationCode）が指定されていない、又は、結果解釈コードの内容が誤っている（H、L、N以外） ※：範囲内とは、「基準値の下限値」≧「記録された値」≧「基準値の上限值」に記録された値のこと	受付不可	L2414	データファイルの「項目名」において基準値の範囲外で結果解釈コードが指定されています。【値】 又は結果解釈コードの内容が誤っています。
22	一筆検査データ型がPQで定義された項目において、測定値が範囲外で記録されている	受付不可	L2110	特定健診データファイル内の一筆検査グループに属したコードが入力されています。【値】
23	JLAC10コードが存在しない項目が存在している	受付不可	L2109	特定健診データファイル内にJLAC10コードが入力されていない項目が存在しています。
24	検査項目が全て未実施の項目	受付不可	L2102	データファイルに実施された検査項目が記録されていません。
25	平成29年度以前において、項目値が範囲外	受付不可	L2424	対象健診年度が平成29年度以前においてデータファイルの「項目名」に属したコード値が記録されています。【値】
26	平成30年度以降令和5年度以前において、項目値が範囲外	受付不可	L2424	対象健診年度が平成30年度以降令和5年度以前においてデータファイルの「項目名」に属したコード値が記録されています。【値】
27	項目（JLAC10コード）が重複して記録されている	受付不可	L2113	ファイル内に項目名の項目コードが複数記録されています。

【現状の補正処理】
 JLAC10コードに紐づくXMLデータ型と、ファイルに入力されたvalue要素のxsitype属性が異なる場合は、ファイルの入力値を、JLAC10コードを元に取得したXMLデータ型に補正する。
 例）JLAC10コードを元に取得したXMLデータ型:PQ
 『補正前』
 <value xsitype="CD" value="100"/>
 『補正後』
 <value xsitype="PQ" value="100"/>
 ※補正前の値が"AA"などの不正な値でも補正を行う。
 【追加する補正処理】
 XMLデータ型が"PQ"で、コード属性が"H" or "L"のものば、xsitypeを"CD"に補正する。
 『補正前』
 <value xsitype="PQ" code="H" />
 『補正後』
 <value xsitype="CD" code="H" />

(注意1)下記の条件を満たす場合はNo12以降のチェックを行わない
 ・対象健診年度が平成29年度以前の場合、項目（JLAC10コード）が記録不可
 ・対象健診年度が平成30年度以降令和5年度以前の場合、項目（JLAC10コード）が記録不可
 ・対象健診年度が令和元年度以前の場合、項目（JLAC10コード）が記録不可
 ・対象健診年度が令和2年度以後の場合、項目（JLAC10コード）が記録不可

(注意2)下記の条件を満たす場合はNo13以降のチェックを行わない
 ・未実施の項目（observation要素のnegationIncl属性が「true」）
 例）<observation classCode="OBS" moodCode="NW" negationIncl="true">
 ・測定不可能な項目（value要素のnullFlavor属性が「NI」）
 例）<value xsitype="PQ" nullFlavor="NI" />
 ・対象健診年度が平成24年度以前の場合、測定値が入力最大値・最小値の範囲外の項目（value要素のxsitype属性が「CD」、code属性が「H」又は「L」）
 ※：範囲内とは、「入力最小値」<「記録された値」<「入力最大値」に記録された値のこと
 ※：XMLデータ型が「PQ」の項目のみ範囲外の記録が可能
 例）<value xsitype="CD" code="H" />

(注意3)下記の特定健診項目に記録されている項目以外については、検査項目コード（JLAC10コード）、検査コード、基準上限値・下限値、食後経過時間、測定値、結果解釈コード、医師の氏名を形式と桁数のチェックのみ行うものとする（チェック対象は要素が存在した場合とす）
 ・項目のXMLデータ型が「CD」の測定値
 形式：半角数字（マイナス等記号は不可）桁数：整数部7桁以内、小数部3桁以内
 ・項目のXMLデータ型が「CD」の測定値
 形式：半角数字（マイナス等記号は不可）桁数：2桁以内
 ・項目のXMLデータ型が「CD」の測定値
 形式：半角数字（マイナス等記号は不可）桁数：2桁以内
 ・項目のXMLデータ型が「ST」の測定値
 形式：全角文字（半角文字は不可）桁数：128桁以内

(注意4)下記の条件を満たす場合はNo13～15、20、24～26のチェックを行わない
 ・対象健診年度が平成25年度以降の場合、XMLデータ型がPQの項目に対して、xsitype属性がそれぞれ「PQ」、「CD」である2つのvalue要素が記録された場合のCD（下記の場合）の2番目のvalue要素）
 例）【身長】の場合
 <code code="9N00100000000001" />
 <value xsitype="PQ" value="300.0" unit="cm" />
 <value xsitype="CD" code="H" />

(注意5)
 ・特定健診データファイルの健診実施年月日が平成25年3月31日以前の場合、対象健診年度を平成24年度以前とする。
 ・特定健診データファイルの健診実施年月日が平成25年4月1日以降の場合、対象健診年度を平成25年度以降とする。
 ・特定健診データファイルの健診実施年月日が平成30年3月31日以前の場合、対象健診年度を平成29年度以前とする。
 ・特定健診データファイルの健診実施年月日が平成30年4月1日以降の場合、対象健診年度を平成30年度以降とする。
 ・特定健診データファイルの健診実施年月日が令和2年3月31日以前の場合、対象健診年度を令和元年度以前とする。
 ・特定健診データファイルの健診実施年月日が令和2年4月1日以降の場合、対象健診年度を令和2年度以降とする。
 ・特定健診データファイルの健診実施年月日が令和6年3月31日以前の場合、対象健診年度を令和5年度以前とする。
 ・特定健診データファイルの健診実施年月日が令和6年4月1日以降の場合、対象健診年度を令和6年度以降とする。
 (注意6)項目名称については、同一のJLAC10コードの場合、第四期の項目名を統一とする

分類	種別	NO	JLAC10コード (項目コード+結果属性)	項目名	関連項目	未実施の 記録不可	データ型 (属性)	XMLデータ 型	最大 文字数	形式 ※	項目値(コード値) の範囲	入力最小・最大値の 範囲	平成29年度以前 記録不可	平成30年度以降 令和5年度以前 記録不可	令和元年度以前 記録不可	令和2年度以降 記録不可	詳細な健診 必須記録	複数記録不可	コード値				
血液検査	○	3C020000002327101	3C020000002327101	血清尿酸（可視吸光度法(ウリカセ・ヘルネキターゼ法））			数字 (半角)	PQ	4	NNN	0.0～99.9												
		3C02000000239901	3C02000000239901	血清尿酸（その他）			数字 (半角)	PQ	4	NNN	0.0～99.9												
		3A010000002327101	3A010000002327101	総蛋白（可視吸光度法(ビフレント法））			数字 (半角)	PQ	4	NNN	0.0～99.9												
		3A01000000239901	3A01000000239901	総蛋白（その他）			数字 (半角)	PQ	4	NNN	0.0～99.9												
		3A015000002327101	3A015000002327101	アルブミン（可視吸光度法(BCG法、BCP改良法））			数字 (半角)	PQ	4	NNN	0.0～99.9												
		3A01500000239901	3A01500000239901	アルブミン（その他）			数字 (半角)	PQ	4	NNN	0.0～99.9												
		3A016000002327102	3A016000002327102	A/G			数字 (半角)	PQ	5	NNNN	0.0～99.99												
		5C095000002302301	5C095000002302301	血清アミリン（エンザイム法(アセイ)(EIA)）			数字 (半角)	PQ	5	NNNN	0.0～999.9												
		5C09500000239901	5C09500000239901	血清アミリン（その他）			数字 (半角)	PQ	5	NNNN	0.0～999.9												
		血液検査	□	9N141000000000011	9N141000000000011	採血時間（食後）	採血時間（NO.25-1～4） 採血時間（NO.26-1～4）	不可	コード (半角)	CD			1～4									1:食後10時間未満(平成29年度以前のみ記録可能) 2:食後10時間以上 3:食後35時間以上100時間未満(平成30年度以降のみ記録可能) 4:食後35時間未満(平成30年度以前のみ記録可能)	
				25-1	3D010000001926101	3D010000001926101	空腹時血糖（電位差法(ブドウ糖酸化酵素電極法））			数字 (半角)	PQ	4	NNNN	0～9999	20～600								
				25-2	3D010000002227101	3D010000002227101	空腹時血糖（可視吸光度法(ブドウ糖酸化酵素法））			数字 (半角)	PQ	4	NNNN	0～9999	20～600								
				25-3	3D010000001927201	3D010000001927201	空腹時血糖（紫外吸光度法(ヘキソキナーゼ法、グルコキナーゼ法、ブドウ糖脱水素法））			数字 (半角)	PQ	4	NNNN	0～9999	20～600								
				25-4	3D01000000199901	3D01000000199901	空腹時血糖（その他）			数字 (半角)	PQ	4	NNNN	0～9999	20～600								
				26-1	3D010129901926101	3D010129901926101	随時血糖（電位差法(ブドウ糖酸化酵素電極法））			数字 (半角)	PQ	4	NNNN	0～9999	20～1000※6	※6							
26-2	3D010129902227101			3D010129902227101	随時血糖（可視吸光度法(ブドウ糖酸化酵素法））			数字 (半角)	PQ	4	NNNN	0～9999	20～1000※6	※6									
26-3	3D010129901927201			3D010129901927201	随時血糖（紫外吸光度法(ヘキソキナーゼ法、グルコキナーゼ法、ブドウ糖脱水素法））			数字 (半角)	PQ	4	NNNN	0～9999	20～1000※6	※6								平成30年度以降のチェック	
26-4	3D01012990199901			3D01012990199901	随時血糖（その他）			数字 (半角)	PQ	4	NNNN	0～9999	20～1000※6	※6									
27-1	3D045000001906202			3D045000001906202	HbA1c（免疫学的方法(ラテックス凝集比濁法等）)(JDS値)			数字 (半角)	PQ	4	NNN	0.0～99.9	3.0～20.0		○								
27-2	3D045000001920402			3D045000001920402	HbA1c（HPLC(不安定分離法HPLC法）)(JDS値)			数字 (半角)	PQ	4	NNN	0.0～99.9	3.0～20.0		○								
27-3	3D045000001927102			3D045000001927102	HbA1c（酵素法)(JDS値)			数字 (半角)	PQ	4	NNN	0.0～99.9	3.0～20.0		○								
27-4	3D04500000199902			3D04500000199902	HbA1c（その他)(JDS値)			数字 (半角)	PQ	4	NNN	0.0～99.9	3.0～20.0		○								
28-1	3D046000001906202			3D046000001906202	HbA1c（免疫学的方法(ラテックス凝集比濁法等）)(NGSP値)			数字 (半角)	PQ	4	NNNN	0.0～99.9	3.0～20.0										
28-2	3D046000001920402			3D046000001920402	HbA1c（HPLC(不安定分離法HPLC法）)(NGSP値)			数字 (半角)	PQ	4	NNN	0.0～99.9	3.0～20.0										
28-3	3D046000001927102	3D046000001927102	HbA1c（酵素法)(NGSP値)			数字 (半角)	PQ	4	NNN	0.0～99.9	3.0～20.0												
28-4	3D04600000199902	3D04600000199902	HbA1c（その他)(NGSP値)			数字 (半角)	PQ	4	NNN	0.0～99.9	3.0～20.0												
血液検査	○	3D010129901926101	3D010129901926101	随時血糖（電位差法(ブドウ糖酸化酵素電極法））			数字 (半角)	PQ	4	NNNN	0～9999												
		3D010129902227101	3D010129902227101	随時血糖（可視吸光度法(ブドウ糖酸化酵素法））			数字 (半角)	PQ	4	NNNN	0～9999												
		3D010129901927201	3D010129901927201	随時血糖（紫外吸光度法(ヘキソキナーゼ法、グルコキナーゼ法、ブドウ糖脱水素法））			数字 (半角)	PQ	4	NNNN	0～9999												
		3D01012990199901	3D01012990199901	随時血糖（その他）			数字 (半角)	PQ	4	NNNN	0～9999												
		29-1	1A020000000191111	1A020000000191111	尿糖（試験紙法(機械読み取り））			コード (半角)	CO	1	N	1～5									1:～、2:±、3:+、4:++、5:+++		
		29-2	1A020000000190111	1A020000000190111	尿糖（試験紙法(目視法））			コード (半角)	CO	1	N	1～5									1:～、2:±、3:+、4:++、5:+++		
		30-1	1A010000000191111	1A010000000191111	尿蛋白（試験紙法(機械読み取り））			コード (半角)	CO	1	N	1～5									1:～、2:±、3:+、4:++、5:+++		
		30-2	1A010000000190111	1A010000000190111	尿蛋白（試験紙法(目視法））			コード (半角)	CO	1	N	1～5									1:～、2:±、3:+、4:++、5:+++		
		1A100000000191111	1A100000000191111	尿蛋白（試験紙法(機械読み取り））			コード (半角)	CO	1	N	1～5										1:～、2:±、3:+、4:++、5:+++		
		1A100000000190111	1A100000000190111	尿蛋白（試験紙法(目視法））			コード (半角)	CO	1	N	1～5										1:～、2:±、3:+、4:++、5:+++		
		1A105160700166211	1A105160																				

※ 最終バージョンに伴う支払基金と共通のチェック仕様の変更については、黄色網掛け、赤字で表示
 ※ 最終バージョンに伴う関係項目のチェック仕様の変更については、黄色網掛け、青字で表示（取消線は「支払基金との共通チェックを関係項目仕様としてチェックを行わない」ことを示す）
 ※ 既存の関係項目仕様に関しては、網掛けなし、青字で表示（取消線は「支払基金との共通チェックを関係項目仕様としてチェックを行わない」ことを示す）

●特定健診項目チェックシート

NO	チェック内容	エラー レベル	エラーコード	エラーメッセージ
1	JLAC10コードの項目コード体系0IDが誤って記録されている場合、「1.2.392.200119.6.1005」に自動補正を行う	-	-	-
2	XMLデータ型が標準しないデータ型が指定されている場合、自動補正を行う	-	-	-
3	データ型（属性）が「文字列（全角）」の項目に対し、L1197で入力された全角記号（～、）が含まれている場合はWindowsで判別出来る全角記号（～、）に自動補正を行う。	-	-	-
4	項目（JLAC10コード）に対し種別（下記参照）の条件を満たさない ○：当該項目（JLAC10コード）が必ず存在すること ○：いずれか1つ以上、未実施以外の項目が存在すること（同一グループ内で存在可） ●：いずれか1つ以上、未実施以外の項目が存在すること（同一グループ内で存在可） △：いずれか1つ以上、未実施以外の項目が存在すること（同一グループ内で存在可） ただし、関連する項目値が20未満又は「L」(入力最小値の範囲外)の場合は除く なお、「No4-3 腹囲(自己申告)」のみ未実施以外で記録されている場合は関連する項目値が22未満又は「L」(入力最小値の範囲外)であること ▲：いずれか1つ以上、未実施以外の項目が存在すること（同一グループ内で存在可） ただし、対象健診年度が平成24年度以前の場合、NO.22-1～4を除き、対象健診年度が平成25年度以降の場合、NO.21-1～4を除く(補足資料2を参照) □：当該項目が未実施以外で存在し、かつ関連する項目がいずれか1つ以上、未実施以外で存在する場合、関連する項目がNO.25-1～4の場合、項目値が2(食後10時間以上)であること 関連する項目がNO.26-1～4の場合、項目値が3(食後3.5時間以上10時間未満)であること ただし、以下の条件のいずれかが成立する場合は除く ・対象健診年度が平成24年度以前の場合、HbA1c(N0.27-1～4)がいずれか1つ以上、未実施以外で存在する場合 ・対象健診年度が平成25年度以降の場合、HbA1c(N0.28-1～4)がいずれか1つ以上、未実施以外で存在する場合 ■：関連する項目のコードが1(あり)の場合、当該項目が存在すること	○:L2101 ○:L2101 ●:L2101 △:L2101 L2416 ▲:L2101 L2422 □:L2401 ■:L2401	○:データファイルの(項目名)が記録されていません。 ○:データファイルの(同一項目名)が記録されていません。 ●:データファイルの(同一項目名)が記録されていません。 △:データファイルの(同一項目名)が記録されていません。 腹囲(自己申告)のみ未実施以外で記録されている場合はBMIが22未満又は「L」(入力最小値の範囲外)である必要があります。 ▲:データファイルの(項目名)が記録されていません。 対対象健診年度(対象健診年度)においてデータファイルの(項目名)に(HbA1cの検査結果)が記録されています。 □:データファイルの(項目名)とデータファイルの(項目名)との関連が誤っています。 ■:データファイルの(項目名)とデータファイルの(項目名)との関連が誤っています。	
5	特定健診検査・問診セッションに記録された場合、同一検査内の○のいずれかが記録されていない又は未実施として記録されている	受付不可	L2425	詳細な健診において、データファイルの(項目名)が記録されていない又は未実施として記録されています。
6	同一検査内の○が2つ以上同時に、未実施以外で記録されている	受付不可	L2426	同時健診が認められていない項目が記録されています。[項目名]
7	特定健診検査・問診セッションに記録された場合、検査対象者に関するコード値の組み合わせが誤っている	受付不可	L2427	詳細な健診において、データファイルの(項目名)に属したコード値が記録されています。[値]
8	平成29年度以前記録不可の項目	受付不可	L2423	対象健診年度が平成29年度以前において、記録が認められていないデータファイルの(項目名)が記録されています。
9	平成30年度以降令和5年度以前記録不可の項目	受付不可	L2423	対象健診年度が平成30年度以降令和5年度以前において、記録が認められていないデータファイルの(項目名)が記録されています。
10	令和元年度以前記録不可の項目	受付不可	L2491	対象健診年度が令和元年度以前において、記録が認められていないデータファイルの(項目名)が記録されています。
11	令和2年度以降記録不可の項目	受付不可	L2492	対象健診年度が令和2年度以降において、記録が認められていないデータファイルの(項目名)が記録されています。
12	未実施の記録が不可の項目で未実施(observation要素のnegationInd属性がtrue)で設定されている	受付不可	L2112	未実施の記録が認められていない項目に未実施が記録されています。[項目名]
13	データ型(属性)に準拠しない項目値が設定されている	受付不可	L2203	データファイルの(項目名)が(指定名)形式で記録されています。[値]
14	最大文字数が指定されている項目において、最大文字数を超過している	受付不可	L2202	指定名(コード)データファイルの(項目名)が(文字列)文字で記録されています。[値] 可変長(ST等)データファイルの(項目名)が(文字列)文字以内で記録されています。[値]
15	形式が指定されている項目において、形式に準拠しない項目値が設定されている	受付不可	L2208	[項目名]に属した形式の値が記録されています。[値]
16	対象健診年度が平成24年度以前の場合、入力最小・最大値の範囲が指定されている項目において、項目値が範囲外 ※：範囲内とは、「入力最小値」<「記録された値」<「入力最大値」に記録された値のこと	受付不可	L2405	データファイルの(項目名)に対し範囲(入力最小値～入力最大値)外の値が記録されています。[値]
17	対象健診年度が平成25年度以降の場合、入力最小・最大値の範囲が指定されている項目において、検査結果値の検査結果データ型の組み合わせが誤っている	受付不可	L2420	データファイルの(項目名)に対し検査結果値の検査結果データ型の組み合わせが誤っています。
18	対象健診年度が平成25年度以降の場合、入力最小・最大値の範囲が指定されている項目において、検査結果(コード型)の内容が誤っている	受付不可	L2421	データファイルの(項目名)において範囲(入力最小値)～(入力最大値)外の記録値に対応するコード値が誤っています。[値]
19	1 CDAセクションコード内に同じ項目(JLAC10コード)が複数記録されている	受付不可	L2106	CDAセクションコード(値)内に重複した検査項目コード(値)が存在します。
20	項目値(コード値)の範囲が指定されている項目において、項目値が範囲外 ※：範囲内とは、「範囲最小値」≧「記録された値」≧「範囲最大値」に記録された値のこと	受付不可	L2405	データファイルの(項目名)に対し範囲(下側値)～(上側値)外の値が記録されています。[値]
21	XMLデータ型がPQでなく標準値(referenceRange)が指定されている項目において、基準値の範囲外で結果解釈コード(interpretationCode)が指定されていない。又は、結果解釈コードの内容が誤っている(H,L,N以外)	受付不可	L2414	データファイルの(項目名)において基準値の範囲外で結果解釈コードが指定されています。又は結果解釈コードの内容が誤っています。
22	※：範囲内とは、「基準値の下限値」≧「記録された値」≧「基準値の上側値」に記録された値のこと	受付不可	L2110	特定健診データファイルの同一検査グループ内で属したコードが入力されています。[値]
23	JLAC10コードが存在しない項目が存在している	受付不可	L2109	特定健診データファイル内にJLAC10コードが入力されていない項目が存在します。
24	検査項目が全て未実施の項目	受付不可	L2102	データファイルに属した検査項目が記録されていません。
25	平成29年度以前において、項目値が範囲外	受付不可	L2424	対象健診年度が平成29年度以前においてデータファイルの(項目名)に属したコード値が記録されています。[値]
26	平成30年度以降令和5年度以前において、項目値が範囲外	受付不可	L2424	対象健診年度が平成30年度以降令和5年度以前においてデータファイルの(項目名)に属したコード値が記録されています。[値]
27	項目(JLAC10コード)が重複して記録されている	受付不可	L2113	ファイル内に項目名の項目コードが複数記録されています。

【現状の補正処理】
 JLAC10コードに紐づくXMLデータ型と、ファイルに入力されたvalue要素のxsitype属性が異なる場合は、ファイルの入力値を、JLAC10コードを元に取得したXMLデータ型に補正する。
 例)JLAC10コードを元に取得したXMLデータ型:PQ
 【補正前】
 <value xsitype="CD" value="100"/>
 【補正後】
 <value xsitype="PQ" value="100"/>
 ※補正前の値が"AA"などの不正な値でも補正を行う。
 【追加する補正処理】
 XMLデータ型が"PQ"で、コード属性が"H"or"L"のものは、xsitypeを"CD"に補正する。
 【補正前】
 <value xsitype="PQ" code="H" />
 【補正後】
 <value xsitype="CD" code="H" />

(注意1)下記の条件を満たす場合はNo12以降のチェックを行わない
 ・対象健診年度が平成29年度以前の場合、項目(JLAC10コード)が記録不可
 ・対象健診年度が平成29年度以降令和5年度以前の場合、項目(JLAC10コード)が記録不可
 ・対象健診年度が令和元年度以前の場合、項目(JLAC10コード)が記録不可
 ・対象健診年度が令和2年度以後の場合、項目(JLAC10コード)が記録不可

(注意2)下記の条件を満たす場合はNo13以降のチェックを行わない
 ・未実施の項目(observation要素のnegationInd属性がtrue)
 例) <observation classCode="OBS" moodCode="NM" negationInd="true"/>
 ・測定不可能な項目(value要素のnullFlavor属性が「NI」)
 例) <value xsitype="PQ" nullFlavor="NI" />
 ・対象健診年度が平成24年度以前の場合、測定値が入力最大値・最小値の範囲外の項目(value要素のxsitype属性が「CD」code属性が「H」又は「L」)
 ※：範囲内とは、「入力最小値」<「記録された値」<「入力最大値」に記録された値のこと
 ※：XMLデータ型が「PQ」の項目のみ範囲外の記録が可能
 例) <value xsitype="CD" code="H"/>

(注意3)下記の特定健診項目に記録されている項目以外については、検査項目コード(JLAC10コード)、検査コード、基準上限値・下限値、食後経過時間、測定値、結果解釈コード、医師の氏名を形式と桁数のチェックのみ行うものとする(チェック対象は要素が存在した時とす)
 ・項目のXMLデータ型が「文字列(全角)」の測定値
 形式:半角数字(マイナス等記号は不可) 桁数:整数部7桁以内、小数部3桁以内
 ・項目のXMLデータ型が「CD」(検査項目)の測定値
 形式:半角英数字(マイナス等記号は不可) 桁数:2桁以内
 ・項目のXMLデータ型が「CD」(検査項目)の測定値
 形式:半角英数字(マイナス等記号は不可) 桁数:2桁以内
 ・項目のXMLデータ型が「ST」(検査項目)の測定値
 形式:全角文字(半角文字は不可) 桁数:12桁以内

(注意4)下記の条件を満たす場合はNo13～15、20、24～26のチェックを行わない
 ・対象健診年度が平成25年度以降の場合、XMLデータ型がPQの項目に対して、xsitype属性がそれぞれ「PQ」、「CD」である2つのvalue要素が記録された場合のCD(下記の場合)の2番目のvalue要素)
 例) [身長]の場合
 <code code="9N00100000000001" />
 <value xsitype="PQ" value="300.0" unit="cm" />
 <value xsitype="CD" code="H" />

(注意5)
 ・特定健診データファイルの健診実施年月日が平成25年3月31日以前の場合、対象健診年度を平成24年度以前とする。
 ・特定健診データファイルの健診実施年月日が平成25年4月1日以降の場合、対象健診年度を平成25年度以降とする。
 ・特定健診データファイルの健診実施年月日が平成30年3月31日以前の場合、対象健診年度を平成29年度以前とする。
 ・特定健診データファイルの健診実施年月日が平成30年4月1日以降の場合、対象健診年度を平成30年度以降とする。
 ・特定健診データファイルの健診実施年月日が令和2年3月31日以前の場合、対象健診年度を令和元年度以前とする。
 ・特定健診データファイルの健診実施年月日が令和2年4月1日以降の場合、対象健診年度を令和2年度以降とする。
 ・特定健診データファイルの健診実施年月日が令和6年3月31日以前の場合、対象健診年度を令和5年度以前とする。
 ・特定健診データファイルの健診実施年月日が令和6年4月1日以降の場合、対象健診年度を令和6年度以降とする。

(注意6)項目名称については、同一のJLAC10コードの場合、第四期の項目名を統一とする

分類	種別	NO	JLAC10コード (項目コード+結果種別)	項目名	関連項目	未実施の 記録不可	データ型 (検査項目)	XMLデータ 型	最大文字数	形式 ※6	項目値(コード値) の範囲	入力最小・最大値の 範囲	平成29年度以前 記録不可	平成30年度以降 令和5年度以前 記録不可	令和元年度以前 記録不可	令和2年度以降 記録不可	詳細な健診 必須記録	複数記録不可	コード値			
医師 の 問 診	○	53	9N701000000000011	診断した医師の氏名(生活機能評価)(※5)		不可 ※11	コード (検査項目)	CD	1	N	1~2	-	-	-	-	-	-	-	-	1:精密検査必要、2:精密検査不要		
		54	9N706000000000011	医師の診断(肺がん検診)(コード)		不可 ※11	コード (検査項目)	CD	1	N	1~2	-	-	-	-	-	-	-	-	1:精密検査必要、2:精密検査不要		
		55	9N591161400000049	医師の診断(肺がん検診)(自由記号)		不可 ※11	文字列 (全角)	ST	128			-	-	-	-	-	-	-	-	-	1:精密検査必要、2:精密検査不要	
		56	9N591161300000011	診断した医師の氏名(肺がん検診)(※5)		不可 ※11	コード (検査項目)	CD	1	N	1~2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1:精密検査必要、2:精密検査不要	
		57	9N591161400000049	医師の診断(胃がん検診)(コード)		不可 ※11	コード (検査項目)	CD	1	N	1~2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1:精密検査必要、2:精密検査不要	
		58	9N591161400000049	医師の診断(胃がん検診)(自由記号)		不可 ※11	文字列 (全角)	ST	128			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1:精密検査必要、2:精密検査不要
		59	9N601161300000011	診断した医師の氏名(胃がん検診)(※5)		不可 ※11	コード (検査項目)	CD	1	N	1~2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1:精密検査必要、2:精密検査不要
		60	9N601161400000049	医師の診断(乳がん検診)(コード)		不可 ※11	コード (検査項目)	CD	1	N	1~2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1:精密検査必要、2:精密検査不要
		61	9N601161400000049	医師の診断(乳がん検診)(自由記号)		不可 ※11	文字列 (全角)	ST	128			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1:精密検査必要、2:精密検査不要
		62	9N611161300000011	診断した医師の氏名(乳がん検診)(※5)		不可 ※11	コード (検査項目)	CD	1	N	1~2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1:精密検査必要、2:精密検査不要
		63	9N611161400000049	医師の診断(子宮がん検診)(コード)		不可 ※11	コード (検査項目)	CD	1	N	1~2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1:精密検査必要、2:精密検査不要
		64	9N611161400000049	医師の診断(子宮がん検診)(自由記号)		不可 ※11	文字列 (全角)	ST	128			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1:精密検査必要、2:精密検査不要
		65	9N621161300000011	診断した医師の氏名(子宮がん検診)(※5)		不可 ※11	コード (検査項目)	CD	1	N	1~2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1:精密検査必要、2:精密検査不要
		66	9N621161400000049	医師の診断(大腸がん検診)(コード)		不可 ※11	コード (検査項目)	CD	1	N	1~2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1:精密検査必要、2:精密検査不要
		67	9N621161400000049	医師の診断(大腸がん検診)(自由記号)		不可 ※11	文字列 (全角)	ST	128			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1:精密検査必要、2:精密検査不要
68	9N631161300000011	診断した医師の氏名(大腸がん検診)(※5)		不可 ※11	コード (検査項目)	CD	1	N	1~2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1:精密検査必要、2:精密検査不要		
69	9N631161400000049	医師の診断(前立腺がん検診)(コード)		不可 ※11	コード (検査項目)	CD	1	N	1~2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1:精密検査必要、2:精密検査不要		
70	9N631161400000049	医師の診断(前立腺がん検診)(自由記号)		不可 ※11	文字列 (全角)	ST	128			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1:精密検査必要、2:精密検査不要		
71	9N641000000000049	診断した医師の氏名(その他)(※5)		不可 ※11	文字列 (全角)	ST	128			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
質 問	○	53	9N701000000000011	服薬1(血圧)		不可 ※11	コード (検査項目)	CD	1	N	1~2	-	-	-	-	-	-	-	-	1:服薬あり、2:服薬なし		
		54	9N706000000000011	服薬2(血糖)		不可 ※11	コード (検査項目)	CD	1	N	1~2	-	-	-	-	-	-	-	-	1:服薬あり、2:服薬なし		
		55	9N710000000000011	服薬3(脂質)		不可 ※11	コード (検査項目)	CD	1	N	1~2	-	-	-	-	-	-	-	-	1:服薬あり、2:服薬なし		
		56	9N736000000000011	喫煙		不可 ※11	コード (検査項目)	CD	1	N	1~2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1:はい、2:いいえ	
		57	9N701167000000049	服薬1(血圧×薬理名)			文字列 (全角)	ST	128			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		58	9N701167100000049	服薬1(血圧×服薬理由)			文字列 (全角)	ST	128			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		59	9N706167000000049	服薬2(血糖×薬理名)			文字列 (全角)	ST	128			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		60	9N706167100000049	服薬2(血糖×服薬理由)			文字列 (全角)	ST	128			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		61	9N711670000000049	服薬3(脂質×薬理名)			文字列 (全角)	ST	128			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		62	9N711671000000049	服薬3(脂質×服薬理由)			文字列 (全角)	ST	128			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		63	9N716000000000011	既往歴1(脳血管)			コード (検査項目)	CD	1	N	1~2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1:はい、2:いいえ
		64	9N721000000000011	既往歴2(心臓)			コード (検査項目)	CD	1	N	1~2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1:はい、2:いいえ
		65	9N726000000000011	既往歴3(腎不全・人工透析)			コード (検査項目)	CD	1	N	1~2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1:はい、2:いいえ
		66	9N731000000000011	真血			コード (検査項目)	CD	1	N	1~2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1:はい、2:いいえ
		67	9N741000000000011	20歳からの体重変化			コード (検査項目)	CD	1	N	1~2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1:はい、2:いいえ
		68	9N746000000000011	30分以上の運動習慣			コード (検査項目)	CD	1	N	1~2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1:はい、2:いいえ
		69	9N751000000000011	歩行又は身体活動			コード (検査項目)	CD	1	N	1~2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1:はい、2:いいえ
		70	9N756000000000011	歩行速度			コード (検査項目)	CD	1	N	1~2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1:はい、2:いいえ
		71	9N872000000000011	咀嚼			コード (検査項目)	CD	1	N	1~3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1:何でも、2:あまりに、3:ほとんどかめない
		72	9N761000000000011	1年間の体重変化			コード (検査項目)	CD														

※ 最新バージョンに伴う支払基金と共通のチェック仕様の変更については、黄色網掛け、赤字で表示
 ※ 最新バージョンに伴う関係項目のチェック仕様の変更については、黄色網掛け、青字で表示（取消線は「支払基金との共通チェックを関係項目としてチェックを行わない」ことを示す）
 ※ 既許の関係項目に関しては、網掛けなし、青字で表示（取消線は「支払基金との共通チェックを関係項目としてチェックを行わない」ことを示す）

●特定健診項目チェックシート

NO	チェック内容	エラー レベル	エラーコード	エラーメッセージ
1	JLAC10コードの項目コード体系010が誤って記録されている場合、「1.2.392.200119.6.1005」に自動補正を行う	-	-	-
2	XMLデータ型に準拠しないデータ型が指定されている場合、自動補正を行う	-	-	-
3	データ型（属性）が「文字列（全角）」の項目に対し、Linuxで入力された全角記号（～、）が含まれている場合はWindowsで判別出来る全角記号（～、）に自動補正を行う。	-	-	-
4	項目（JLAC10コード）に対し種別（下記参照）の条件を満たさない ○：当該項目（JLAC10コード）が必ず存在すること △：いずれか1つ以上、項目が存在すること（同一グループ内で存在可） ●：いずれか1つ以上、未実施以外の項目が存在すること（同一グループ内で存在可） ▲：いずれか1つ以上、未実施以外の項目が存在すること（同一グループ内で存在可） △：いずれか1つ以上、未実施以外の項目が存在すること（同一グループ内で存在可） 注：関連する項目値が20未満又は「L」（入力最小値の範囲外）の場合は除く なお、「No4-3 腹囲（自己申告）」のみ未実施以外で記録されている場合は関連する項目値が22未満又は「L」（入力最小値の範囲外）であること ▲：いずれか1つ以上、未実施以外の項目が存在すること（同一グループ内で存在可） 注：対象健診年度が平成24年度以前の場合、NO.22-1～4を除き、対象健診年度が平成25年度以降の場合、NO.21-1～4を除く補足資料②を参照） □：当該項目が未実施以外で存在し、かつ関連する項目がいずれか1つ以上、未実施以外で存在する場合、関連する項目がNO.25-1～4の場合、項目値が2（食後3.5時間以上10時間未満）であること 関連する項目がNO.26-1～4の場合、項目値が3（食後3.5時間以上10時間未満）であること 注：以下の条件のいずれかが成立する場合は除く ・対象健診年度が平成24年度以前の場合、HbA1c(N.27-1～4)がいずれか1つ以上、未実施以外で存在する場合 ・対象健診年度が平成25年度以降の場合、HbA1c(N.28-1～4)がいずれか1つ以上、未実施以外で存在する場合 ■：関連する項目のコードが1(あり)の場合、当該項目が存在すること	○:L2101 ○:L2101 ●:L2101 △:L2101 L2416 ▲:L2101 L2422 □:L2401 ■:L2401	○:データファイルの「項目名」が記録されていません。 ○:データファイルの「同一性項目名」が記録されていません。 ●:データファイルの「同一性項目名」が記録されていません。 △:データファイルの「同一性項目名」が記録されていません。 腹囲（自己申告）のみ未実施以外で記録されている場合はBMIが22未満又は「L」（入力最小値の範囲外）である必要があります。 ▲:データファイルの「項目名」が記録されていません。 △:データファイルの「項目名」(値)とデータファイルの「項目名」(値)との関連が誤っています。 ■:データファイルの「項目名」(値)とデータファイルの「項目名」(値)との関連が誤っています。	
5	特定健診検査・問診セッションに記録された場合、同一検査内の○のいずれかが記録されていない又は未実施として記録されている	受付不可	L2425	詳細な健診において、データファイルの「項目名」が記録されていない又は未実施として記録されています。
6	同一検査内の○が2つ以上同時に、未実施以外で記録されている	受付不可	L2426	同時記録が認められていない項目が記録されています。【項目名】
7	特定健診検査・問診セッションに記録された場合、検査対象者に異なるコード値の組み合わせが誤っている	受付不可	L2427	詳細な健診において、データファイルの「項目名」に属したコード値が記録されています。【値】
8	平成29年度以前記録不可の項目	受付不可	L2423	対象健診年度が平成29年度以前において、記録が認められていないデータファイルの「項目名」が記録されています。
9	平成30年度以降令和5年度以前記録不可の項目	受付不可	L2423	対象健診年度が平成30年度以降令和5年度以前において、記録が認められていないデータファイルの「項目名」が記録されています。
10	令和元年度以前記録不可の項目	受付不可	L2491	対象健診年度が令和元年度以前において、記録が認められていないデータファイルの「項目名」が記録されています。
11	令和2年度以降記録不可の項目	受付不可	L2492	対象健診年度が令和2年度以降において、記録が認められていないデータファイルの「項目名」が記録されています。
12	未実施の記録が不可の項目で未実施(observation要素のnegationInd属性が「true」)で設定されている	受付不可	L2121	未実施の記録が認められていない項目に未実施が記録されています。【項目名】
13	データ型(属性)に準拠しない項目値が指定されている	受付不可	L2203	データファイルの「項目名」(形式名)が記録されています。【値】
14	最大文字数が指定されている項目において、最大文字数を超過している	受付不可	L2202	指定文字数(桁)を超過している項目が記録されています。【項目名】
15	形式が指定されている項目において、形式に準拠しない項目値が指定されている	受付不可	L2208	項目名に属した形式の値が記録されています。【値】
16	対象健診年度が平成24年度以前の場合、入力最小・最大値の範囲が指定されている項目において、項目値が範囲外 ※：範囲内とは、「入力最小値」<「記録された値」<「入力最大値」に記録された値のこと	受付不可	L2405	データファイルの「項目名」に対し範囲(「入力最小値」～「入力最大値」)外の値が記録されています。【値】
17	対象健診年度が平成25年度以降の場合、入力最小・最大値の範囲が指定されている項目において、検査結果値の検査結果データ型の組み合わせが誤っている	受付不可	L2420	データファイルの「項目名」に対し検査結果値の検査結果データ型の組み合わせが誤っています。
18	対象健診年度が平成25年度以降の場合、入力最小・最大値の範囲が指定されている項目において、検査結果(コード型)の内容が誤っている	受付不可	L2421	データファイルの「項目名」において範囲(「入力最小値」～「入力最大値」)外の記録値に対応するコード値が誤っています。【値】
19	1 CDAセッションコード内に同じ項目(JLAC10コード)が複数記録されている	受付不可	L2106	CDAセッションコード【値】内に重複した検査項目【値】が存在します。
20	項目値(コード値)の範囲が指定されている項目において、項目値が範囲外 ※：範囲内とは、「範囲最小値」≧「記録された値」≧「範囲最大値」に記録された値のこと	受付不可	L2405	データファイルの「項目名」に対し範囲(「下範囲」～「上範囲」)外の値が記録されています。【値】
21	XMLデータ型がPQで定義する値(referenceRange)が指定されている項目において、基準値の範囲外で結果解釈コード(interpretationCode)が指定されていない、又は、結果解釈コードの内容が誤っている(H、L、N以外)	受付不可	L2414	データファイルの「項目名」において基準値の範囲外で記録されている結果解釈コードが記録されています。又は結果解釈コードの内容が誤っています。
22	※：範囲内とは、「基準値の下限値」≧「記録された値」≧「基準値の上限値」に記録された値のこと	受付不可	L2110	特定健診データファイルの同一検査グループ内で属したコードが入力されています。【値】
23	JLAC10コードが存在しない項目が存在している	受付不可	L2109	特定健診データファイル内にJLAC10コードが入力されていない項目が存在しています。
24	検査項目が全て未実施の項目	受付不可	L2102	データファイルに実施された検査項目が記録されていません。
25	平成29年度以前において、項目値が範囲外	受付不可	L2424	対象健診年度が平成29年度以前においてデータファイルの「項目名」に属したコード値が記録されています。【値】
26	平成30年度以降令和5年度以前において、項目値が範囲外	受付不可	L2424	対象健診年度が平成30年度以降令和5年度以前においてデータファイルの「項目名」に属したコード値が記録されています。【値】
27	項目(JLAC10コード)が重複して記録されている	受付不可	L2113	ファイル内に項目名別の項目コードが複数記録されています。

【現状の補正処理】
 JLAC10コードに紐づくXMLデータ型と、ファイルに入力されたvalue要素のxsitype属性が異なる場合は、ファイルの入力値を、JLAC10コードを元に取得したXMLデータ型に補正する。
 例)JLAC10コードを元に取得したXMLデータ型:PQ
 【補正前】
 <value xsitype="CD" value="100"/>
 【補正後】
 <value xsitype="PQ" value="100"/>
 ※補正前の値が"AA"などの不正な値でも補正を行う。
 【追加する補正処理】
 XMLデータ型が"PQ"で、コード属性が"H"or"L"のものは、xsitypeを"CD"に補正する。
 【補正前】
 <value xsitype="PQ" code="H" />
 【補正後】
 <value xsitype="CD" code="H" />

(注意1)下記の条件を満たす場合はNo12以降のチェックを行わない
 ・対象健診年度が平成29年度以前の場合、項目(JLAC10コード)が記録不可
 ・対象健診年度が平成30年度以降令和5年度以前の場合、項目(JLAC10コード)が記録不可
 ・対象健診年度が令和元年度以前の場合、項目(JLAC10コード)が記録不可
 ・対象健診年度が令和2年度以降の場合、項目(JLAC10コード)が記録不可

(注意2)下記の条件を満たす場合はNo13以降のチェックを行わない
 ・未実施の項目(observation要素のnegationInd属性が「true」)
 例) <observation classCode="OBS" moodCode="NI" negationInd="true"/>
 ・測定不可能な項目(value要素のnullFlavor属性が「NI」)
 例) <value xsitype="PQ" nullFlavor="NI" />
 ・対象健診年度が平成24年度以前の場合、測定値が入力最大値・最小値の範囲外の項目(value要素のxsitype属性が「CD」code属性が「H」又は「L」)
 ※：範囲内とは、「入力最小値」<「記録された値」<「入力最大値」に記録された値のこと
 ※：XMLデータ型が「PQ」の項目のみ範囲外の記録が可能
 例) <value xsitype="CD" code="H"/>

(注意3)下記の特定健診項目に記録されている項目以外については、検査項目コード(JLAC10コード)、検査コード、基準上限値・下限値、食後経過時間、測定値、結果解釈コード、医師の氏名を形式と桁数のチェックのみ行うものとする（チェック対象は要素が存在した時とす）
 ・項目のXMLデータ型が「CD」の測定値
 形式:半角数字(マイナス等記号は不可) 桁数:整数部7桁以内、小数部3桁以内
 ・項目のXMLデータ型が「CD」の測定値
 形式:半角英数字(マイナス等記号は不可) 桁数:2桁以内
 ・項目のXMLデータ型が「CD」の測定値
 形式:半角英数字(マイナス等記号は不可) 桁数:2桁以内
 ・項目のXMLデータ型が「ST」の測定値
 形式:全角文字(半角文字は不可) 桁数:128桁以内

(注意4)下記の条件を満たす場合はNo13～15、20、24～26のチェックを行わない
 ・対象健診年度が平成25年度以降の場合、XMLデータ型がPQの項目に対して、xsitype属性がそれぞれ「PQ」、「CD」である2つのvalue要素が記録された場合のCD(下記の場合)の2番目のvalue要素)
 例)【身長】の場合
 <code code="9N001000000000001" />
 <value xsitype="PQ" value="300.0" unit="cm" />
 <value xsitype="CD" code="H" />

(注意5)
 ・特定健診データファイルの健診実施年月日が平成25年3月31日以前の場合、対象健診年度を平成24年度以前とする。
 ・特定健診データファイルの健診実施年月日が平成25年4月1日以降の場合、対象健診年度を平成25年度以降とする。
 ・特定健診データファイルの健診実施年月日が平成30年3月31日以前の場合、対象健診年度を平成29年度以降とする。
 ・特定健診データファイルの健診実施年月日が平成30年4月1日以降の場合、対象健診年度を平成30年度以降とする。
 ・特定健診データファイルの健診実施年月日が令和2年3月31日以前の場合、対象健診年度を令和元年度以前とする。
 ・特定健診データファイルの健診実施年月日が令和2年4月1日以降の場合、対象健診年度を令和2年度以降とする。
 ・特定健診データファイルの健診実施年月日が令和5年3月31日以前の場合、対象健診年度を令和5年度以前とする。
 ・特定健診データファイルの健診実施年月日が令和5年4月1日以降の場合、対象健診年度を令和6年度以降とする。

(注意6)項目名称については、同一のJLAC10コードの場合、異同期の項目名を統一とする

分類	種別	NO	JLAC10コード (項目コード+結果解釈)	項目名	関連項目	未実施時の 記録可否	データ型 (検査)	XMLデータ 型	最大 文字数	形式 ※6	項目値(コード値) の範囲	入力最小・最大値の 範囲	平成29年度以前 記録不可	平成30年度以降 令和5年度以前 記録不可	令和元年度以前 記録不可	令和2年度以降 記録不可	詳細な健診 必須記録	複数記録不可	コード値
			9N841000000000001	生活機能問診7			コード (半角)	CD	1	N	0~1								0:はい、1:いいえ
			9N846000000000001	生活機能問診8			コード (半角)	CD	1	N	0~1								0:はい、1:いいえ
			9N851000000000001	生活機能問診9			コード (半角)	CD	1	N	0~1								1:はい、0:いいえ
			9N856000000000001	生活機能問診10			コード (半角)	CD	1	N	0~1								1:はい、0:いいえ
			9N861000000000001	生活機能問診11			コード (半角)	CD	1	N	0~1								1:はい、0:いいえ
			9N866000000000001	生活機能問診12			数字 (半角)	PQ	4	NNN	0.0~99.9								
			9N871000000000001	生活機能問診13			コード (半角)	CD	1	N	0~1								1:はい、0:いいえ
			9N876000000000001	生活機能問診14			コード (半角)	CD	1	N	0~1								1:はい、0:いいえ
			9N881000000000001	生活機能問診15			コード (半角)	CD	1	N	0~1								1:はい、0:いいえ
			9N886000000000001	生活機能問診16			コード (半角)	CD	1	N	0~1								0:はい、1:いいえ
			9N891000000000001	生活機能問診17			コード (半角)	CD	1	N	0~1								1:はい、0:いいえ
			9N896000000000001	生活機能問診18			コード (半角)	CD	1	N	0~1								1:はい、0:いいえ
			9N901000000000001	生活機能問診19			コード (半角)	CD	1	N	0~1								0:はい、1:いいえ
			9N906000000000001	生活機能問診20			コード (半角)	CD	1	N	0~1								1:はい、0:いいえ
			9N911000000000001	生活機能問診21			コード (半角)	CD	1	N	0~1								1:はい、0:いいえ
			9N916000000000001	生活機能問診22			コード (半角)	CD	1	N	0~1								1:はい、0:いいえ
			9N921000000000001	生活機能問診23			コード (半角)	CD	1	N	0~1								1:はい、0:いいえ
			9N926000000000001	生活機能問診24			コード (半角)	CD	1	N	0~1								1:はい、0:いいえ
			9N931000000000001	生活機能問診25			コード (半角)	CD	1	N	0~1								1:はい、0:いいえ
情報提供	84		9N950000000000001	情報提供の方法			コード (半角)	CD	1	N	1~3		○						1:付加価値の高い情報提供、2:専門員による対面提供、3:1と2両方実施、※1に当てはまらない場合は出ささない
初期実施	85		9N807000000000001	初期実施			コード (半角)	CD	1	N	1		○						1:健診当日に初期実施、※1に当てはまらない場合は出ささない
後期実施			9N932000000000001	健康状態(後期)			コード (半角)	CD	1	N	1~5				○	※10			1:よい、2:まあよい、3:ふつう、4:あまりよくない、5:よくない
			9N933000000000001	心の健康状態(後期)			コード (半角)	CD	1	N	1~4					○	※10		1:満足、2:やや満足、3:やや不満足、4:不満足
			9N934000000000001	食習慣(後期)			コード (半角)	CD	1	N	1~2					○	※10		1:はい、2:いいえ
			9N935000000000001	口腔機能(咀嚼)(後期)			コード (半角)	CD	1	N	1~2					○	※10		1:はい、2:いいえ
			9N936000000000001	口腔機能(嚥下)(後期)			コード (半角)	CD	1	N	1~2					○	※10		1:はい、2:いいえ
			9N937000000000001	体重変化(後期)			コード (半角)	CD	1	N	1~2					○	※10		1:はい、2:いいえ
			9N938000000000001	運動・転倒(歩行速度)(後期)			コード (半角)	CD	1	N	1~2					○	※10		1:はい、2:いいえ
			9N939000000000001	運動・転倒(転倒)(後期)			コード (半角)	CD	1	N	1~2					○	※10		1:はい、2:いいえ
			9N940000000000001	運動・転倒(運動習慣)(後期)			コード (半角)	CD	1	N	1~2					○	※10		1:はい、2:いいえ
			9N941000000000001	認知機能(物忘れ)(後期)			コード (半角)	CD	1	N	1~2					○	※10		1:はい、2:いいえ
			9N942000000000001	認知機能(年月日)(後期)			コード (半角)	CD	1	N	1~2					○	※10		1:はい、2:いいえ
			9N943000000000001	喫煙(後期)			コード (半角)	CD	1	N	1~3					○	※10		1:吸っている、2:吸っていない、3:やめた
			9N944000000000001	社会参加(外出)(後期)			コード (半角)	CD	1	N	1~2					○	※10		1:はい、2:いいえ
		9N945000000000001	社会参加(付き合い)(後期)			コード (半角)	CD	1	N	1~2					○	※10		1:はい、2:いいえ	
		9N946000000000001	ソーシャルサポート(後期)			コード (半角)	CD	1	N	1~2					○	※10		1:はい、2:いいえ	

※1 「健診結果を実施した医師の氏名」の項目欄は、「医師の診察(判定)」のauthor/assignedAuthor/assignPerson/name要素で判別する。
 ※2 氏名及び性別が読み取れない場合は、チェック対象外とする。
 ※3 性別が不明(性別が不明)である場合、チェック対象外とする。
 ※4 同一の項目(JLAC10コード)が記録されている場合、先頭の項目のみチェックを行う。
 ※5 項目の名称、項目値は、結果解釈author/assignedAuthor/assignPerson/name要素で指定する。
 ※6 対象健診年度が平成29年度以前の場合、チェックを行わない。
 ※7 特定健診検査・問診セッションに記録された場合、未実施での記録を不可とする。
 ※8 小数点を含む形式の場合、小数部3桁以内とする。
 ※9 最大文字数は1桁～2桁でチェックを行う。
 ※10 健康状態(後期)を除き、※3以外、かつ未実施以外の項目が存在する場合のみ、チェックする。
 ※11 下記条件に当てはまる場合は、チェック対象外とする。
 ・対象健診年度が令和2年度以降
 ・検査結果値(検査結果値の先頭桁が「9」)

※ 最新バージョンに伴う支払基金と共通のチェック仕様の変更については、黄色背景、赤字で表示
 ※ 最新バージョンに伴う保険独自のチェック仕様の追加については、黄色背景、赤字で表示（支払基金と共通のチェックを関係自治体としてチェックを行わないことを示す）
 ※ 既設の関係自治体には適用しては、適用せず、赤字で表示（支払基金と共通のチェックを関係自治体としてチェックを行わないことを示す）

●特定健診項目チェックシート

NO	チェック内容	エラーレベル	エラーコード	エラーメッセージ
1	JLAC10コードの項目コード体系ODが誤って記録されている場合、「1.2.392.200119.6.1005」に自動修正を行う	-	-	-
2	XMLデータ型に準拠しないデータ型が設定されている場合、自動修正を行う	-	-	-
3	データ型（属性）が「文字列（全角）」の項目に対し、Linuxで入力された全角記号（、～）が含まれている場合は「value」で判別出来る全角記号を「code」に自動修正を行う	-	-	-
4	項目「JLAC10コード」に重複した「記号」を指定している項目は、以下の条件を満たさない ○：当該項目(JLAC10コード)が必ず存在すること ○：いずれか1つ以上、未実施以外の項目が存在すること(同一グループ内で選定可) ※：同一グループ内で選定可の項目は、HbA1c(No.29-1~2)が必ず1つ以上、未実施以外で存在すること △：いずれか1つ以上、未実施以外の項目が存在すること(同一グループ内で選定可) ただし、関連する項目が20未満又は「L」(入力最小値の範囲外)の場合は除く なお、「No4-3 糖質(自己申告)」のみ未実施以外で記録されている場合は関連する項目が22未満又は「L」(入力最小値の範囲外)であること ▲：いずれか1つ以上、未実施以外の項目が存在すること(同一グループ内で選定可) ただし、対象健診年度が平成24年度以前の場合、No.22-1~4を除き、対象健診年度が平成25年度以降の場合、No.21-1~4を除く(補足資料を参照) ※：関連する項目が未実施又は測定不能以外で存在する場合、原値(No.29-1~2)、原蛋白(No.30-1~2)それぞれにおいて、いずれか1つ以上項目が存在するか、未実施又は測定不能が含まれること(原値(No.29-1~2)、原蛋白(No.30-1~2)の4項目の中で一つ以上未実施又は測定不能が存在すること) ※：関連する項目が存在しない又は関連する項目が未実施又は測定不能で存在する場合、原値(No.29-1~2)、原蛋白(No.30-1~2)それぞれにおいて、いずれか1つ以上、項目が未実施又は測定不能以外で存在すること □：1.当該項目(JLAC10コード)が必ず存在すること 2.関連する項目が「L」(入力最小値)の範囲外で存在すること、以下の条件に反しないこと 1.関連する項目がNo.25-1~4の場合、項目値が2(食後10時間以上)であること 2.関連する項目がNo.25-1~4の場合、項目値が3(食後3.5時間以上10時間未満)又は4(食後3.5時間未満)であること 3.関連する項目がNo.26-1~4の場合、項目値が2(食後10時間以上)であること 4.関連する項目がNo.26-1~4の場合、項目値が3(食後3.5時間以上10時間未満)又は4(食後3.5時間未満)であること 5.関連する項目がNo.26-1~4の場合、項目値が2(食後10時間以上)であること ※：2.4に反しては、以下の条件のいずれかが成立する場合は除く ※：対象健診年度が平成24年度以前の場合、HbA1c(No.29-1~2)が必ず1つ以上、未実施以外で存在する場合、対象健診年度が平成25年度以降の場合、HbA1c(No.29-1~2)が必ず1つ以上、未実施以外で存在すること ※：関連する項目のコードが1(あり)の場合、当該項目が存在すること	O-L2101 O-L2101 O-L2101 O-L2101 L2416 ▲-L2101 L2422 L2482 L2101 O-L2401	○:データファイルの(項目名)が記録されていません。 ○:データファイルの(項目名)が記録されていません。 ○:データファイルの(項目名)が記録されていません。 △:データファイルの(項目名)が記録されていません。 L:自己申告のみ未実施以外で記録されている場合はBMIが22未満又は「L」(入力最小値の範囲外)である必要ありません。 ▲:データファイルの(項目名)が記録されていません。 対:対象健診年度(対象健診年度)においてデータファイルの(項目名)にHbA1cの検査結果が記録されています。 測定不能-検査不能の理由と原値又は原蛋白との関連が誤っています。 データファイルの(項目名)が記録されていません。 データファイルの(項目名)とデータファイルの(項目名)との関連が誤っています。	
5	特定健診検査-同診セッションに記録された場合、同一検査内容の項目が記録されていない又は未実施として記録されている	受付不可	L2425	特定健診検査-同診セッションにおいて、データファイルの(項目名)が記録されていない又は未実施として記録されています。
6	同一検査内容の項目が2つ以上同時に、未実施以外で記録されている	受付不可	L2426	詳細な記録が認められていない項目が記録されています。[項目名]
7	特定健診検査-同診セッションに記録された場合、検査対象者に関するコード値の組み合わせが誤っている	受付不可	L2427	詳細な記録が認められて、データファイルの(項目名)に誤ったコード値が記録されています。[値]
8	平成29年度以前記録不可の項目	受付不可	L2423	対象健診年度が平成29年度以前において、記録が認められていないデータファイルの(項目名)が記録されています。[値]
9	平成30年度以降記録不可の項目	受付不可	L2423	対象健診年度が平成30年度以降において、記録が認められていないデータファイルの(項目名)が記録されています。[値]
8	令和6年度以降記録不可の項目	受付不可	L2423	対象健診年度が令和6年度以降において、記録が認められていないデータファイルの(項目名)が記録されています。[値]
10	令和元年度以前記録不可の項目	受付不可	L2481	対象健診年度が令和元年度以前において、記録が認められていないデータファイルの(項目名)が記録されています。[値]
11	令和2年度以後記録不可の項目	受付不可	L2482	対象健診年度が令和2年度以後において、記録が認められていないデータファイルの(項目名)が記録されています。[値]
12	未実施の記録が不可の項目で未実施(observation 要素のnegationInd属性がtrue)で設定されている	受付不可	L2112	未実施の記録が認められていない項目に未実施が記録されています。[項目名]
13	データ型(属性)に準拠しない項目値が設定されている	受付不可	L2203	データファイルの(項目名)が(形式名)形式で記録されています。[項目名]
14	最大文字数が指定されている項目において、最大文字数を超過している	受付不可	L2202	固定長(OD等)データファイルの(項目名)が(文字数)文字で記録されています。[項目名]
15	形式が指定されている項目において、形式に準拠しない項目値が設定されている	受付不可	L2208	固定長(OD等)データファイルの(項目名)が(形式)形式で記録されています。[項目名]
16	対象健診年度が平成24年度以前の場合、入力最小値-最大値の範囲が指定されている項目において、項目値が範囲外 ※：範囲内とは、「入力最小値」<「記録された値」<「入力最大値」に記録されたこと ※：範囲外とは、「入力最小値」>「記録された値」>「入力最大値」に記録されたこと	受付不可	L2405	データファイルの(項目名)に対し範囲(入力最小値)～(入力最大値)外の値が記録されています。[値]
17	対象健診年度が平成25年度以降の場合、入力最小値-最大値の範囲が指定されている項目において、検査結果値の検査結果データ型の組み合わせが誤っている	受付不可	L2420	データファイルの(項目名)に対し検査結果値の検査結果データ型の組み合わせが誤っています。
18	対象健診年度が平成25年度以降の場合、入力最小値-最大値の範囲が指定されている項目において、検査結果(コード型)の内容が誤っている	受付不可	L2421	データファイルの(項目名)において検査結果(入力最小値)～(入力最大値)外の検査結果(コード型)が記録されています。[値]
19	TCDAセッションコード内に同じ項目(JLAC10コード)が複数記録されている	受付不可	L2106	CDセッションコード(値)内に重複した検査項目コード(値)が存在しています。
20	項目値(コード値)の範囲が指定されている項目において、項目値が範囲外 ※：範囲内とは、「範囲最小値」<「記録された値」<「範囲最大値」に記録されたこと ※：範囲外とは、「範囲最小値」>「記録された値」>「範囲最大値」に記録されたこと	受付不可	L2405	データファイルの(項目名)に対し範囲(下層値)～(上層値)外の値が記録されています。[値]
21	XMLデータ型が指定されている項目において、XMLデータ型が指定されている項目において、検査結果値の検査結果データ型が指定されていない又は、結果コード(OD等)データファイルの(項目名)が(文字数)文字で記録されています。[項目名]	受付不可	L2414	データファイルの(項目名)において検査結果値の検査結果データ型が指定されていない又は、結果コード(OD等)データファイルの(項目名)が(文字数)文字で記録されています。[項目名]
22	XMLデータ型が指定されている項目において、XMLデータ型が指定されている項目において、検査結果値の検査結果データ型が指定されていない又は、結果コード(OD等)データファイルの(項目名)が(文字数)文字で記録されています。[項目名]	受付不可	L2210	データファイルの検査結果値の検査結果データ型が指定されていない又は、結果コード(OD等)データファイルの(項目名)が(文字数)文字で記録されています。[項目名]
23	検査結果値が指定されている項目において、検査結果値の検査結果データ型が指定されていない又は、結果コード(OD等)データファイルの(項目名)が(文字数)文字で記録されています。[項目名]	受付不可	L2109	検査結果値が指定されている項目において、検査結果値の検査結果データ型が指定されていない又は、結果コード(OD等)データファイルの(項目名)が(文字数)文字で記録されています。[項目名]
24	JLAC10コードが重複して記録されている	受付不可	L2102	データファイルに重複した検査項目コード(値)が存在しています。
25	検査項目が全て未実施の項目	受付不可	L2424	対象健診年度が平成25年度以降においてデータファイルの(項目名)に項目コードが記録されています。[項目名]
26	平成29年度以前において、項目値が範囲外	受付不可	L2424	対象健診年度が平成29年度以前においてデータファイルの(項目名)に項目コードが記録されています。[項目名]
27	平成30年度以降において、項目値が範囲外	受付不可	L2424	対象健診年度が平成30年度以降においてデータファイルの(項目名)に項目コードが記録されています。[項目名]
28	令和6年度以降において、項目値が範囲外	受付不可	L2424	対象健診年度が令和6年度以降においてデータファイルの(項目名)に項目コードが記録されています。[項目名]
29	令和元年度以前において、項目値が範囲外	受付不可	L2424	対象健診年度が令和元年度以前においてデータファイルの(項目名)に項目コードが記録されています。[項目名]
27	項目(JLAC10コード)が重複して記録されている	受付不可	L2113	ファイル内に項目名(項目名)が重複して記録されています。

(注意1) 下記の条件を満たす場合はNo12以降のチェックを行わない

- 対象健診年度が平成29年度以前の場合、項目(JLAC10コード)が記録不可
- 対象健診年度が平成30年度以降の場合、項目(JLAC10コード)が記録不可
- 対象健診年度が令和6年度以降の場合、項目(JLAC10コード)が記録不可
- 対象健診年度が令和元年度以前の場合、項目(JLAC10コード)が記録不可
- 対象健診年度が令和2年度以後の場合、項目(JLAC10コード)が記録不可

(注意2) 下記の条件を満たす場合はNo13以降のチェックを行わない

- 未実施の項目(observation 要素のnegationInd属性がtrue)
- 例) <observation classCode="OBS" modCode="EIV" negationInd="true" value="value" xsi:type="PQ" nullFlavor="NI" />
- 測定不能な項目 (value要素のnullFlavor属性がNI)
- 例) <value xsi:type="PQ" nullFlavor="NI" />
- 対象健診年度が平成24年度以前の場合、測定値が入力最大値-最小値の範囲外の項目(value要素のxsi:type属性がCD)が記録されている項目は、HbA1c(No.29-1~2)が必ず1つ以上、未実施以外で存在すること
- ※：範囲内とは、「入力最小値」<「記録された値」<「入力最大値」に記録されたこと
- ※：範囲外とは、「入力最小値」>「記録された値」>「入力最大値」に記録されたこと
- ※：XMLデータ型がPQの項目のみ範囲外の記録が可能
- 例) <value xsi:type="CD" code="H" />

(注意3) 下記の特定健診項目に記録されている項目については、検査項目コード(JLAC10コード)、検査コード、基準上開値・下開値、食後経過時間、測定値、結果解釈コード、医師の氏名を形式と桁数のチェックのみ行うものとする(チェック対象は要素が存在した場合とする)

- 項目のXMLデータ型がPQ(xsi:type="PQ")の測定値
形式:半角数字(マイナス等は不可) 桁数:整数部7桁以内、小数部3桁以内
- 項目のXMLデータ型がCD(xsi:type="CD")の測定値
形式:半角数字(マイナス等は不可) 桁数:2桁以内
- 項目のXMLデータ型がCQ(xsi:type="CQ")の測定値
形式:半角数字(マイナス等は不可) 桁数:2桁以内
- 項目のXMLデータ型がST(xsi:type="ST")の測定値
形式:全角文字(半角文字は不可) 桁数:128桁以内

(注意4) 下記の条件を満たす場合はNo13~15、20~22、25のチェックを行わない

- 対象健診年度が平成25年度以降の場合、XMLデータ型がPQの項目に対して記録された、xsi:type属性がCDであるvalue要素
- 例) <value xsi:type="PQ" value="300.0" unit="cm" />
- 例) <value xsi:type="CD" code="H" />

(注意5)

- 特定健診データファイルの健診実施年月日が平成25年3月31日以前の場合、対象健診年度を平成24年度以前とする。
- 特定健診データファイルの健診実施年月日が平成25年4月1日以後の場合、対象健診年度を平成25年度以降とする。
- 特定健診データファイルの健診実施年月日が平成30年3月31日以前の場合、対象健診年度を平成29年度以前とする。
- 特定健診データファイルの健診実施年月日が平成30年4月1日以後の場合、対象健診年度を平成30年度以降とする。
- 特定健診データファイルの健診実施年月日が令和2年3月31日以前の場合、対象健診年度を令和元年度以前とする。
- 特定健診データファイルの健診実施年月日が令和2年4月1日以後の場合、対象健診年度を令和2年度以降とする。
- 特定健診データファイルの健診実施年月日が令和6年3月31日以前の場合、対象健診年度を令和5年度以前とする。
- 特定健診データファイルの健診実施年月日が令和6年4月1日以後の場合、対象健診年度を令和6年度以降とする。

分類	種別	NO	JLAC10コード (項目コード+結果解釈)	項目名	関連項目	未実施の 記録不可	データ型 (属性)	JLAC10 タイプ	最大 文字数	形式 記号	項目値(コード値) の範囲	入力最小値-最大値の 範囲	平成29年度以前 記録不可	平成30年度以降 記録不可	令和6年度以降 記録不可	令和元年度以前 記録不可	令和2年度以後 記録不可	詳細な記録 必須項目	複数記録不可	コード値				
血液検査	○	22	3C015161602399911	血清クレアチニン(対象者)		※7	コード (半角)	CD	1	N	0~1		○	-	-	-	○1	-	1:検査結果による血清クレアチニン検査対象者 ※詳細な記録の項目として記録しない場合で、値を出力させる場合は「(t)0」を入力する					
		23	3C015161002399949	血清クレアチニン(算出値)		※7	文字列 (全角)	ST	128				○	-	-	-	-	○1	-					
			3C020000002327101	血清尿酸(可視分光光度法(フリンク-ヘルオキシターゼ法))				数字 (半角)	PQ	4	NNN	0.0~99.9		-	-	-	-	-	-	-				
			3C020000002399901	血清尿酸(その他)				数字 (半角)	PQ	4	NNN	0.0~99.9		-	-	-	-	-	-	-	-			
			3A010000002327101	尿蛋白(可視分光光度法(セフレン法))				数字 (半角)	PQ	4	NNN	0.0~99.9		-	-	-	-	-	-	-	-			
			3A010000002399901	尿蛋白(その他)				数字 (半角)	PQ	4	NNN	0.0~99.9		-	-	-	-	-	-	-	-	-		
			3A015000002327101	アルブミン(可視分光光度法(BCG法、BCP改良法))				数字 (半角)	PQ	4	NNN	0.0~99.9		-	-	-	-	-	-	-	-	-		
			3A015000002399901	アルブミン(その他)				数字 (半角)	PQ	4	NNN	0.0~99.9		-	-	-	-	-	-	-	-	-		
			3A016000002327102	A/G				数字 (半角)	PQ	5	NNNN	0.0~99.99		-	-	-	-	-	-	-	-	-		
			5C095000002302301	血清アミリン(エンザイム/アッセイ(EIA))				数字 (半角)	PQ	5	NNNN	0.0~999.9		-	-	-	-	-	-	-	-	-		
			5C095000002399901	血清アミリン(その他)				数字 (半角)	PQ	5	NNNN	0.0~999.9		-	-	-	-	-	-	-	-	-		
			□	9N141000000000011	採血時間(未検)	採血時間(未検) (No.15-1~2) 採血時間(未検) (No.25-1~4) 採血時間(未検) (No.26-1~4)	不可	コード (半角)	CD	1	N	2~4										2:血糖10時間以上 3:血糖5時間以上10時間未満 4:血糖3時間未満		
		血糖検査	○	25-1	3D010000001926101	空腹時血糖(電位差法(フドウ糖酸化酵素電極法))			数字 (半角)	PQ	4	NNNN	0~9999	20~600	-	-	-	-	-	-	-	-		
				25-2	3D010000002227101	空腹時血糖(可視分光光度法(フドウ糖酸化酵素法))			数字 (半角)	PQ	4	NNNN	0~9999	20~600	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
				25-3	3D010000001927201	空腹時血糖(紫外分光光度法(ヘキソキナーゼ法、グルコキナーゼ法、フドウ糖脱水素酵素法))				数字 (半角)	PQ	4	NNNN	0~9999	20~600	-	-	-	-	-	-	-	-	-
25-4	3D010000001999901			空腹時血糖(その他)				数字 (半角)	PQ	4	NNNN	0~9999	20~600	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
26-1	3D010129901926101			随時血糖(電位差法(フドウ糖酸化酵素電極法))				数字 (半角)	PQ	4	NNNN	0~9999	20~1000#6	#6	-	-	-	-	-	-	-	-		
26-2	3D010129902227101			随時血糖(可視分光光度法(フドウ糖酸化酵素法))				数字 (半角)	PQ	4	NNNN	0~9999	20~1000#6	#6	-	-	-	-	-	-	-	-		
26-3	3D010129901927201			随時血糖(紫外分光光度法(ヘキソキナーゼ法、グルコキナーゼ法、フドウ糖脱水素酵素法))				数字 (半角)	PQ	4	NNNN	0~9999	20~1000#6	#6	-	-	-	-	-	-	-	-	平成30年度以降のチェック	
26-4	3D010129901999901			随時血糖(その他)				数字 (半角)	PQ	4	NNNN	0~9999	20~1000#6	#6	-	-	-	-	-	-	-	-		
27-1	3D045000001906202			HbA1c(免疫学的方法(ラテックス凝集法)等)(JDS値)				数字 (半角)	PQ	4	NNN	0.0~99.9	3.0~20.0	-	○	○	-	-	-	-	-	-		
27-2	3D045000001920402			HbA1c(HPLC(不安定分離除去HPLC法))(JDS値)				数字 (半角)	PQ	4	NNN	0.0~99.9	3.0~20.0	-	○	○	-	-	-	-	-	-		
27-3	3D045000001927102			HbA1c(酵素法)(JDS値)				数字 (半角)	PQ	4	NNN	0.0~99.9	3.0~20.0	-	○	○	-	-	-	-	-	-		
27-4	3D045000001999902			HbA1c(その他)(JDS値)				数字 (半角)	PQ	4	NNN	0.0~99.9	3.0~20.0	-	○	○	-	-	-	-	-	-		
28-1	3D046000001906202			HbA1c(免疫学的方法(ラテックス凝集法)等)(NGSP値)				数字 (半角)	PQ	4	NNN	0.0~99.9	3.0~20.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
28-2	3D046000001920402			HbA1c(HPLC(不安定分離除去HPLC法))(NGSP値)				数字 (半角)	PQ	4	NNN	0.0~99.9	3.0~20.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
28-3	3D046000001927102			HbA1c(酵素法)(NGSP値)				数字 (半角)	PQ	4	NNN	0.0~99.9	3.0~20.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
28-4	3D046000001999902			HbA1c(その他)(NGSP値)				数字 (半角)	PQ	4	NNN	0.0~99.9	3.0~20.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
				3D010129901926101	随時血糖(電位差法(フドウ糖酸化酵素電極法))				数字 (半角)	PQ	4	NNNN	0~9999		-	-	-	-	-	-	-	-	-	
				3D010129902227101	随時血糖(可視分光光度法(フドウ糖酸化酵素法))				数字 (半角)	PQ	4	NNNN	0~9999		-	-	-	-	-	-	-	-	-	
				3D010129901927201	随時血糖(紫外分光光度法(ヘキソキナーゼ法、グルコキナーゼ法、フドウ糖脱水素酵素法))				数字 (半角)	PQ	4	NNNN	0~9999		-	-	-	-	-	-	-	-	-	平成29年度以前のチェック
				3D010129901999901	随時血糖(その他)				数字 (半角)	PQ	4	NNNN	0~9999		-	-	-	-	-	-	-	-	-	
尿検査	+	29-1	1A020000000191111	尿糖(試験紙法(機械読み取り))	測定不能-検査不能 理由の理由		コード																	

※ 最新バージョンに伴う支払基金と共通のチェック仕様の変更については、黄色網掛け、赤字で表示
 ※ 最新バージョンに伴う医療従事者のチェック仕様の変更については、黄色網掛け、青字で表示（支払基金との共通チェックを関係職員としてチェックを行わないことを示す）
 ※ 既存の関係職員に適用しては、網掛けなし、青字で表示（支払基金との共通チェックを関係職員としてチェックを行わないことを示す）

●特定健診項目チェックシート

NO	チェック内容	エラーレベル	エラーコード	エラーメッセージ
1	JLAC10コードの項目コード体系ODが誤って記録されている場合、「1.2.392.200119.6.1005」に自動補正を行う	-	-	-
2	XMLデータ型に準拠しないデータ型が設定されている場合、自動補正を行う	-	-	-
3	データ型（属性）が「文字列（全角）」の項目に対し、Linuxで入力された全角記号（～、～）が含まれている場合は「#」で判別出来る全角記号を「#」に自動補正を行う。	-	-	-
4	項目「JLAC10コード」の項目値が「0」である場合、以下の条件を満たさない ○：当該項目(JLAC10コード)が必ず存在すること ○：いずれか1つ以上、未実施以外の項目が存在すること(同一グループ内で選可) ※：JLAC10コードの項目値が「0」である場合、以下の条件を満たさない △：いずれか1つ以上、未実施以外の項目が存在すること(同一グループ内で選可) △：関連する項目が2未満又は「L」(入力最小値の範囲外)の場合は除く ※：「No4-3 腫瘍(自己申告)」のみ未実施以外で記録されている場合は関連する項目値が2未満又は「L」(入力最小値の範囲外)であること △：いずれか1つ以上、未実施以外の項目が存在すること(同一グループ内で選可) △：ただし、対象健診年度が平成24年度以前の場合、NO.22-1-4を除き、対象健診年度が平成25年度以降の場合、NO.21-1-4を除き(補正資料を参照)	○:L2101 ○:L2101 △:L2101 L2416 △:L2101 L2422	○:データファイルの(項目名)が記録されていません。 ○:データファイルの(同一項目名)が記録されていません。 △:データファイルの(同一項目名)が記録されていません。 腫瘍(自己申告)のみ未実施以外で記録されている場合はBMIが2未満又は「L」(入力最小値の範囲外)である必要があります。 △:データファイルの(同一項目名)が記録されていません。 対象健診年度が(対象健診年度)においてデータファイルの(項目名)に(HbA1c)の結果が記録されています。	
5	関連する項目が未実施又は測定不能以外で存在する場合、原簿(N0.29-1-2)、原簿白(N0.30-1-2)それぞれにおいて、いずれか1つ以上項目が存在するか、 * 未実施又は測定不能が含まれること(原簿(N0.29-1-2)、原簿白(N0.30-1-2)の4項目の中で一つ以上未実施又は測定不能が存在すること)	受付不可	L2482	測定不能・検査未実施の理由と原簿又は原簿白との関連が誤っています。
6	関連する項目が存在しない又は関連する項目が未実施又は測定不能で存在する場合、原簿(N0.29-1-2)、原簿白(N0.30-1-2)それぞれにおいて、いずれか1つ以上、項目が未実施又は測定不能以外で存在すること		L2101	データファイルの(項目名)が記録されていません。
7	○：1.当該項目(JLAC10コード)が必ず存在すること ※：関連する項目が1つ以上、未実施以外で存在する場合、以下の条件を満たさないこと 1.関連する項目がN025-1-1～4の場合、項目値が2(食後10時間以上)であること 2.関連する項目がN025-1-4の場合、項目値が2(食後10時間以上)であること 3.関連する項目がN013-4～6の場合、項目値が3(食後3.5時間以上10時間未満)又は4(食後3.5時間未満)であること 4.関連する項目がN026-1-4～6の場合、項目値が3(食後3.5時間以上10時間未満)又は4(食後3.5時間未満)であること △：2.4に当てはまる、以下の条件のいずれかが成立する場合は除く ※：対象健診年度が平成24年度以前の場合、HbA1c(N0.29-1-2)が「L」(入力最小値)以上、未実施以外で存在する場合 ※：対象健診年度が平成25年度以降の場合、HbA1c(N0.28-1-4)が「L」(入力最小値)以上、未実施以外で存在する場合 ※：関連する項目のコードが「L」(あり)の場合、当該項目が存在すること		□:L2401	□:データファイルの(項目名)とデータファイルの(項目名)との関連が誤っています。
8	特定健診検査・問診セッションに記録された場合、同一検査内容のいずれかが記録されていない又は未実施として記録されている	受付不可	L2425	詳細な健診において、データファイルの(項目名)が記録されていない又は未実施として記録されています。
9	同一検査内容のものが2つ以上同時に、未実施以外で記録されている	受付不可	L2426	詳細な健診において、データファイルの(項目名)が記録されている項目。
10	特定健診検査・問診セッションに記録された場合、検査対象者に関するコード値の組み合わせが誤っている	受付不可	L2427	詳細な健診において、データファイルの(項目名)に誤ったコード値が記録されています。[値]
11	平成29年度以前記録不可の項目	受付不可	L2423	対象健診年度が平成29年度以前において、記録が認められていないデータファイルの(項目名)が記録されています。[値]
12	平成30年度以降記録不可の項目	受付不可	L2423	対象健診年度が平成30年度以降において、記録が認められていないデータファイルの(項目名)が記録されています。[値]
13	令和6年度以降記録不可の項目	受付不可	L2423	対象健診年度が令和6年度以降において、記録が認められていないデータファイルの(項目名)が記録されています。[値]
14	令和元年度以前記録不可の項目	受付不可	L2491	対象健診年度が令和元年度以前において、記録が認められていないデータファイルの(項目名)が記録されています。[値]
15	令和2年度以後記録不可の項目	受付不可	L2492	対象健診年度が令和2年度以後において、記録が認められていないデータファイルの(項目名)が記録されています。[値]
16	未実施の記録が不可の項目で未実施(observation 要素のnegationInd属性が「true」)で設定されている	受付不可	L2112	未実施の記録が認められていない項目に未実施が記録されています。[項目名]
17	データ型「属性」に準拠しない項目値が設定されている	受付不可	L2203	データファイルの(項目名)が(形式名)形式で記録されています。[項目名]
18	最大文字数が指定されている項目において、最大文字数を超過している	受付不可	L2202	固定長(0等)データファイルの(項目名)が(文字数)文字で記録されています。[項目名]
19	形式が指定されている項目において、形式に準拠しない項目値が設定されている	受付不可	L2208	(項目名)に指定された形式が記録されています。[値]
20	形式が指定されている項目において、形式に準拠しない項目値が設定されている	受付不可	L2405	データファイルの(項目名)に対し範囲(入力最小値)～(入力最大値)外の値が記録されています。[値]
21	対象健診年度が平成24年度以前の場合、入力最小・最大値の範囲が指定されている項目において、項目値が範囲外 ※：範囲内とは、「入力最小値」<「記録された値」<「入力最大値」に記録された値のこと ※：XMLデータ型が「PQ」の項目のみ範囲外の記録が可能	受付不可	L2420	データファイルの(項目名)に対し検査結果の検査結果データ型の組み合わせが誤っています。
22	対象健診年度が平成25年度以降の場合、入力最小・最大値の範囲が指定されている項目において、検査結果値の検査結果データ型の組み合わせが誤っている	受付不可	L2421	データファイルの(項目名)において範囲(入力最小値)～(入力最大値)外の記録が対応するコード値が誤っています。[値]
23	対象健診年度が平成25年度以降の場合、入力最小・最大値の範囲が指定されている項目において、検査結果(コード型)の内容が誤っている	受付不可	L2106	CD(検査結果コード)内に重複した検査項目コード(値)が存在しています。
24	項目値(コード値)の範囲が指定されている項目において、項目値が範囲外	受付不可	L2405	データファイルの(項目名)に対し範囲(下層値)～(上層値)外の値が記録されています。[値]
25	※：範囲内とは、「範囲最小値」<「記録された値」<「範囲最大値」に記録された値のこと		L2414	データファイルの(項目名)において基準値の範囲外の記録値に対応する有効な結果解釈コードが記録されています。又は結果解釈コードの内容が誤っています。
26	XMLデータ型が「PQ」かつ基準値(referenceRange)が指定されている項目において、基準値に形式に準拠しない項目値が設定されている	受付不可	L2210	データファイルの検査結果の基準値に指定された形式が記録されています。
27	検査結果データ型が「CD」かつ基準値(referenceRange)が指定されている項目において、基準値に形式に準拠しない項目値が設定されている	受付不可	L2110	特定健診データファイル内の検査結果データ型に指定されたコードが入力されています。[値]
28	JLAC10コードが存在しない項目が存在している	受付不可	L2109	特定健診データファイル内のJLAC10コードが入力されています。[項目名]
29	検査項目が全て未実施の項目	受付不可	L2102	データファイルに実施された検査項目が記録されています。
30	平成29年度以前において、項目値が範囲外	受付不可	L2424	対象健診年度が平成29年度以前においてデータファイルの(項目名)に誤ったコード値が記録されています。[値]
31	平成30年度以降において、項目値が範囲外	受付不可	L2424	対象健診年度が平成30年度以降においてデータファイルの(項目名)に誤ったコード値が記録されています。[値]
32	令和6年度以降において、項目値が範囲外	受付不可	L2424	対象健診年度が令和6年度以降においてデータファイルの(項目名)に誤ったコード値が記録されています。[値]
33	項目にJLAC10コードが重複して記録されている	受付不可	L2113	ファイル内に項目名、項目コードが重複して記録されています。

(注意1)下記の条件を満たす場合はNo12以降のチェックを行わない

- ・対象健診年度が平成29年度以前の場合、項目(JLAC10コード)が記録不可
- ・対象健診年度が平成30年度以降の場合、項目(JLAC10コード)が記録不可
- ・対象健診年度が令和6年度以降の場合、項目(JLAC10コード)が記録不可
- ・対象健診年度が令和元年度以前の場合、項目(JLAC10コード)が記録不可
- ・対象健診年度が令和2年度以後の場合、項目(JLAC10コード)が記録不可

(注意2)下記の条件を満たす場合はNo13以降のチェックを行わない

- ・未実施の項目(observation 要素のnegationInd属性が「true」)
 例) <observation classCode="OBS" modCode="EIV" negationInd="true" />
 ・測定不能な項目(value要素のnullFlavor属性が「NI」)
 例) <value xsi:type="PQ" nullFlavor="NI" />
 ・対象健診年度が平成24年度以前の場合、測定値が入力最大値・最小値の範囲外の項目(value要素のxsi:type属性が「CD」code属性が「H」又は「L」)
 ※：範囲内とは、「入力最小値」<「記録された値」<「入力最大値」に記録された値のこと
 ※：XMLデータ型が「PQ」の項目のみ範囲外の記録が可能

(注意3)下記の特定健診項目に記録されている項目以外については、検査項目コード(JLAC10コード)、検査法コード、基準上層値・下層値、食後経過時間、測定値、結果解釈コード、医師の氏名を形式と桁数のチェックのみ行うものとする(チェック対象は要素が存在した場合とする)

- ・項目のXMLデータ型が「PQ」(xsd:type="PQ")の測定値
 形式:半角数字(マイナス等記号は不可)桁数:整数部7桁以内、小数部3桁以内
- ・項目のXMLデータ型が「CD」(xsd:type="CD")の測定値
 形式:半角数字(マイナス等記号は不可)桁数:2桁以内
- ・項目のXMLデータ型が「CO」(xsd:type="CO")の測定値
 形式:半角数字(マイナス等記号は不可)桁数:2桁以内
- ・項目のXMLデータ型が「ST」(xsd:type="ST")の測定値
 形式:全角文字(半角文字は不可)桁数:128桁以内

(注意4)下記の条件を満たす場合はNo13～15、20～22、27のチェックを行わない

- ・対象健診年度が平成25年度以降の場合、XMLデータ型の項目に対して記録された、xsi:type属性が「CD」であるvalue要素
 例) <value xsi:type="CD" code="H" />

(注意5)

- ・特定健診データファイルの健診実施年月日が平成25年3月31日以前の場合、対象健診年度を平成24年度以前とする。
- ・特定健診データファイルの健診実施年月日が平成25年4月1日以後の場合、対象健診年度を平成25年度以降とする。
- ・特定健診データファイルの健診実施年月日が平成30年3月31日以前の場合、対象健診年度を平成29年度以前とする。
- ・特定健診データファイルの健診実施年月日が平成30年4月1日以後の場合、対象健診年度を平成30年度以降とする。
- ・特定健診データファイルの健診実施年月日が令和2年3月31日以前の場合、対象健診年度を令和元年度以前とする。
- ・特定健診データファイルの健診実施年月日が令和2年4月1日以後の場合、対象健診年度を令和2年度以降とする。
- ・特定健診データファイルの健診実施年月日が令和6年3月31日以前の場合、対象健診年度を令和5年度以前とする。
- ・特定健診データファイルの健診実施年月日が令和6年4月1日以後の場合、対象健診年度を令和6年度以降とする。

分類	種別	NO	JLAC10コード (項目コード+結果値)	項目名	関連項目	未実施の 記録不可	データ型 (属性)	桁数/単 位数	最大 文字数	形式 名	項目値(範囲)	入力最小・最大値の 範囲	平成29年度以前 記録不可	平成30年度以降 記録不可	令和6年度以降 記録不可	令和元年度以前 記録不可	令和2年度以後 記録不可	詳細な健診 必須項目	複数記録不可	コード値
		9N2911608000000049		子宮頸部検査(所見)			文字列 (全角)	ST	128											
		9N2916070000000011		子宮内診(所見の有無)			コード (半角)	CO	1	N	1~2									1:所見あり, 2:所見なし
		9N2916080000000049		子宮内診(所見)			文字列 (全角)	ST	128											
		7A021165008543311		子宮頸部検査(細胞診検体材料)(日毎分)			コード (半角)	CO	1	N	1~7									1:class II, 2:class III, 3:class IIIa, 4:class IIIb, 5:class IV, 6:class V, 7:検体不備
		7A021165108543311		子宮頸部検査(細胞診検体材料)(ヘセス分)			コード (半角)	CO	1	N	1~8									1:neapth, 2:ASC-US, 3:ASC-H, 4:LSIL, 5:HSIL, 6:AGC/AIS, 7:cervicoma等, 8:検体不備
		7A021165208543311		子宮頸部検査(細胞診検体材料)(ヘセスシステム200)			コード (半角)	CO	2	NN	1~10									1:NLM, 2:ASC-US, 3:ASC-H, 4:LSIL, 5:HSIL, 6:SCC, 7:AGC, 8:AS, 9:Adenocarcinoma, 10:other
		7A022000008543311		子宮頸部検査(細胞診検体材料)			コード (半角)	CO	1	N	1~4									1:腫性, 2:腫瘍性, 3:腫瘍, 4:検体不備
		927711607000000011		直腸肛門機能(2項目以上)(所見の有無)			コード (半角)	CO	1	N	1~2									1:所見あり, 2:所見なし
		927711608000000049		直腸肛門機能(2項目以上)(所見)			文字列 (全角)	ST	128											
		927701607000000011		直腸肛門機能(1項目)(所見の有無)			コード (半角)	CO	1	N	1~2									1:所見あり, 2:所見なし
		927701608000000049		直腸肛門機能(1項目)(所見)			文字列 (全角)	ST	128											
		1B030000001599811		尿沉澱			コード (半角)	CO	1	N	1~2									1:腫性, 2:腫瘍性
		5D050000002399811		PSA(数値検体検査)			コード (半角)	CO	1	N	1~2									1:腫性, 2:腫瘍性
		9C3100000000000001		聴覚検査(努力聴覚)			数値 (半角)	PQ	4	NNN	0.0~99.9									
		9C3200000000000001		聴覚検査(1秒音)			数値 (半角)	PQ	5	NNNN	0.0~999.9									
		9C3300000000000002		聴覚検査(1秒音)			数値 (半角)	PQ	5	NNNN	0.0~999.9									
		9C3800000000000002		聴覚検査(NVC)			数値 (半角)	PQ	5	NNNN	0.0~999.9									
		9E1601621000000001		視力(右)			数値 (半角)	PQ	4	NNN	0.0~9.99									
		9E1601625000000001		視力(右:矯正)			数値 (半角)	PQ	4	NNN	0.0~9.99									
		9E1601622000000001		視力(左)			数値 (半角)	PQ	4	NNN	0.0~9.99									
		9E1601626000000001		視力(左:矯正)			数値 (半角)	PQ	4	NNN	0.0~9.99									
		9D1001631000000011		聴力(右:1000Hz)			コード (半角)	CO	1	N	1~2									1:所見あり, 2:所見なし
		9D1001632000000011		聴力(右:4000Hz)			コード (半角)	CO	1	N	1~2									1:所見あり, 2:所見なし
		9D1001635000000011		聴力(左:1000Hz)			コード (半角)	CO	1	N	1~2									1:所見あり, 2:所見なし
		9D1001638000000011		聴力(左:4000Hz)			コード (半角)	CO	1	N	1~2									1:所見あり, 2:所見なし
		9D1001640000000011		聴力(検査方法)			コード (半角)	CO	1	N	1~2									1:0-シフトあり, 2:その他
		9D1001609000000049		聴力(その他の所見)			文字列 (全角)	ST	128											
		9E1001660000000011		眼底検査(キースタック分)			コード (半角)	CO	1	N	1~6									1:0, 2:1, 3:IIa, 4:IIb, 5:III, 6:IV
		9E1001661000000011		眼底検査(シェイ分:H)			コード (半角)	CO	1	N	1~5									1:0, 2:1, 3:2, 4:3, 5:4
		9E1001662000000011		眼底検査(シェイ分:S)			コード (半角)	CO	1	N	1~5									1:0, 2:1, 3:2, 4:3, 5:4
		9E1001663000000011		眼底検査(SCOTT分)			コード (半角)	CO	1	N	1~9									1:1 (a), 2:1 (b), 3:II, 4:III (a), 5:III (b), 6:IV, 7:V (a), 8:V (b), 9:VI
		9E1001666000000011		眼底検査(Wong-Mitchell分)			コード (半角)	CO	1	N	1~4									1:所見なし, 2:軽度, 3:中等度, 4:重度
		9E1001665000000011		眼底検査(改良Oviss分)			コード (半角)	CO	1	N	1~4									1:腫瘍なし, 2:単純腫瘍, 3:増殖膜腫瘍, 4:増殖膜腫瘍
		9E1001609000000049		眼底検査(その他の所見)			文字列 (全角)	ST	128											
		9E1001616000000011		眼底検査(対象者)			コード (半角)	CO	1	N	0~1									1:検査結果による眼底検査対象者 ※詳細な健診の項目として網膜は、値を出現させるとは0に「L」を入力する
		9E1001610000000049		眼底検査(実施理由)			文字列 (全角)	ST	128											
		9E1051621000000001		屈折検査(右)			数値 (半角)	PQ	3	NNN	0~999									
		9E1051622000000001		屈折検査(左)			数値 (半角)	PQ	3	NNN	0~999									
		5C070000002306201		CRP(可視光線法(ラテックス凝集法))			数値 (半角)	PQ												

- ※ 最新バージョンに伴う支払基金と共通のチェック仕様の変更については、黄色網掛け、赤字で表示
- ※ 最新バージョンに伴う関係自治体のチェック仕様の変更については、黄色網掛け、青字で表示（取消後は「支払基金と共通のチェックを関係自治体としてチェックを行わない」ことを示す）
- ※ 既存の関係自治体に関しては、網掛けなし、青字で表示（取消後は「支払基金と共通のチェックを関係自治体としてチェックを行わない」ことを示す）

●特定健診項目チェックシート

NO	チェック内容	エラーレベル	エラーコード	エラーメッセージ
1	JLAC10コードの項目コード体系ODが誤って記録されている場合、「1.2.392.200119.6.1005」に自動補正を行う	-	-	-
2	XMLデータ型に準拠しないデータ型が設定されている場合、自動補正を行う	-	-	-
3	データ型(属性)が「文字列(全角)」の項目に対し、Linuxで入力された全角記号(、～)が含まれている場合はWindowsで判別出来る全角記号(、～)に自動補正を行う	-	-	-
4	項目(JLAC10コード)に対し個別下記条件のいずれかを満たさない ○：当該項目(JLAC10コード)が必ず存在すること ○：いずれか1つ以上、未実施以外の項目が存在すること(同一グループ内で選定可) ※：同一グループ内で選定可 △：いずれか1つ以上、未実施以外の項目が存在すること(同一グループ内で選定可) ただし、関連する項目値が20未満又は「L」(入力最小値の範囲外)の場合は除く なお、「No4-3 腫瘍(自己申告)」のみ未実施以外で記録されている場合は関連する項目値が22未満又は「L」(入力最小値の範囲外)であること ▲：いずれか1つ以上、未実施以外の項目が存在すること(同一グループ内で選定可) ただし、対象健診年度が平成24年度以前の場合、NO.2-1～4を除き、対象健診年度が平成25年度以降の場合、NO.2-1～4を除く補正資料を参照 ○：1.当該項目(JLAC10コード)が必ず存在すること なお、関連する項目がいずれか1つ以上、未実施以外で存在する場合、以下の条件に反しないこと 1.関連する項目がNO.15-1～4の場合、項目値が2(食後10時間以上)であること 2.関連する項目がNO.25-1～4の場合、項目値が2(食後10時間以上)であること 3.関連する項目がNO.13-4～6の場合、項目値が3(食後3.5時間以上10時間未満)又は4(食後3.5時間未満)であること 4.関連する項目がNO.26-1～4の場合、項目値が3(食後3.5時間以上10時間未満)であること ただし、2と4に反しては、以下の条件のいずれかが成立する場合は除く -対象健診年度が平成24年度以前の場合、HbA1c(NO.28-1～4)がいずれか1つ以上、未実施以外で存在する場合 -対象健診年度が平成25年度以降の場合、HbA1c(NO.28-1～4)がいずれか1つ以上、未実施以外で存在する場合 ■：関連する項目のコードが「あり」の場合、当該項目が存在すること	○:L2101 ○:L2101 △:L2101 L2416 ▲:L2101 L2422 L2482 L2101 □:L2401 ■:L2401	○:データファイルの(項目名)が記録されていません。 ○:データファイルの(同一項目名)が記録されていません。 △:データファイルの(同一項目名)が記録されていません。 腫瘍(自己申告)のみ未実施以外で記録されている場合はBMIが22未満又は「L」(入力最小値の範囲外)である必要があります。 ▲:データファイルの(同一項目名)が記録されていません。 対象健診年度が(対象健診年度)においてデータファイルの(項目名)にHbA1cの検査結果が記録されています。 測定不能-検査不能の理由と詳細又は測定不能との関連が誤っています。 データファイルの(項目名)が記録されていません。 □:データファイルの(項目名)とデータファイルの(項目名)との関連が誤っています。 ■:データファイルの(項目名)とデータファイルの(項目名)との関連が誤っています。	
5	特定健診検査-同診セッションに記録された場合、同一検査内容の項目が記録されていない又は未実施として記録されている	受付不可	L2425	詳細な健診において、データファイルの(項目名)が記録されていない又は未実施として記録されています。
6	同一検査内容の項目が2つ以上同時に、未実施以外で記録されている	受付不可	L2426	同時間記録が認められない項目が記録されています。[項目名]
7	特定健診検査-同診セッションに記録された場合、検査対象者に関するコード値の組み合わせが誤っている	受付不可	L2427	詳細な健診において、データファイルの(項目名)に誤ったコード値が記録されています。[値]
8	平成29年度以前記録不可の項目	受付不可	L2423	対象健診年度が平成29年度以前において、記録が認められていないデータファイルの(項目名)が記録されています。[値]
9	平成30年度以降記録不可の項目	受付不可	L2423	対象健診年度が平成30年度以降において、記録が認められていないデータファイルの(項目名)が記録されています。[値]
8	令和6年度以降記録不可の項目	受付不可	L2423	対象健診年度が令和6年度以降において、記録が認められていないデータファイルの(項目名)が記録されています。[値]
10	令和元年度以前記録不可の項目	受付不可	L2481	対象健診年度が令和元年度以前において、記録が認められていないデータファイルの(項目名)が記録されています。[値]
11	令和2年度以降記録不可の項目	受付不可	L2482	対象健診年度が令和2年度以降において、記録が認められていないデータファイルの(項目名)が記録されています。[値]
12	未実施の記録が不可の項目で未実施(observation 要素のnegationInd属性が「true」)で設定されている	受付不可	L2112	未実施の記録が認められていない項目に未実施が記録されています。[項目名]
13	データ型(属性)に準拠しない項目値が設定されている	受付不可	L2203	データファイルの(項目名)が(形式名)形式で記録されていません。[値]
14	最大文字数が指定されている項目において、最大文字数を超過している	受付不可	L2202	固定長(固定)データファイルの(項目名)が(文字数)文字で記録されていません。[値] 可変長(可変)データファイルの(項目名)が(文字数)文字で記録されていません。[値]
15	形式が指定されている項目において、形式に準拠しない項目値が設定されている	受付不可	L2208	(項目名)に指定された形式が記録されています。[値]
16	対象健診年度が平成24年度以前の場合、入力最小-最大値の範囲が指定されている項目において、項目値が範囲外 ※：範囲内とは、「入力最小値」<「記録された値」<「入力最大値」に記録された値のこと ※：XMLデータ型が「PQ」の項目のみ範囲外の記録が可能	受付不可	L2405	データファイルの(項目名)に対し範囲「(入力最小値)～(入力最大値)」外の値が記録されています。[値]
17	対象健診年度が平成25年度以降の場合、入力最小-最大値の範囲が指定されている項目において、検査結果値の検査結果データ型の組み合わせが誤っている	受付不可	L2420	データファイルの(項目名)に対し検査結果値の検査結果データ型の組み合わせが誤っています。
18	対象健診年度が平成25年度以降の場合、入力最小-最大値の範囲が指定されている項目において、検査結果(コード型)の内容が誤っている	受付不可	L2421	データファイルの(項目名)において(入力最小値)～(入力最大値)外の記録値に対応するコード値が誤っています。[値]
19	TCDAセッションコード内に同じ項目(JLAC10コード)が複数記録されている	受付不可	L2106	CDセッションコード(値)内に重複した検査項目コード(値)が存在します。
20	項目値(コード値)の範囲が指定されている項目において、項目値が範囲外 ※：範囲内とは、「範囲最小値」<「記録された値」<「範囲最大値」に記録された値のこと	受付不可	L2405	データファイルの(項目名)に対し範囲「(下限値)～(上限値)」外の値が記録されています。[値]
21	XMLデータ型が「CD」かつ基準値(referenceRange)が指定されている項目において、基準値の範囲外で結果解釈コード(interpretationCode)が指定されていない 又は、結果解釈コードの内容が誤っている	受付不可	L2414	データファイルの(項目名)において基準値の範囲外の記録値に対応する有効な結果解釈コードが記録されていません。又は結果解釈コードの内容が誤っています。
22	XMLデータ型が「PQ」かつ基準値(referenceRange)が指定されている項目において、基準値に形式に準拠しない項目値が設定されている	受付不可	L2210	データファイルの検査結果値に指定された形式が記録されています。
23	一意性キーコードが重複して記録されている	受付不可	L2110	特定健診データファイル内の一意性キーグループに同じコードが入力されています。[値]
24	JLAC10コードが存在しない項目が存在している	受付不可	L2109	特定健診データファイルのJLAC10コードが不正な項目に入力されています。[値]
25	検査項目が全て未実施の項目	受付不可	L2102	データファイルに実施された検査項目が記録されていません。
26	平成29年度以前において、項目値が範囲外	受付不可	L2424	対象健診年度が平成29年度以前においてデータファイルの(項目名)に誤ったコード値が記録されています。[値]
27	平成30年度以降において、項目値が範囲外	受付不可	L2424	対象健診年度が平成30年度以降においてデータファイルの(項目名)に誤ったコード値が記録されています。[値]
28	令和6年度以降において、項目値が範囲外	受付不可	L2424	対象健診年度が令和6年度以降においてデータファイルの(項目名)に誤ったコード値が記録されています。[値]
27	項目(JLAC10コード)が重複して記録されている	受付不可	L2113	ファイル内に(項目名)の項目コードが複数記録されています。

(注意1) 下記の条件を満たす場合はNo12以降のチェックを行わない

- ・対象健診年度が平成29年度以前の場合、項目(JLAC10コード)が記録不可
- ・対象健診年度が平成30年度以降の場合、項目(JLAC10コード)が記録不可
- ・対象健診年度が令和6年度以降の場合、項目(JLAC10コード)が記録不可
- ・対象健診年度が令和元年度以前の場合、項目(JLAC10コード)が記録不可
- ・対象健診年度が令和2年度以後の場合、項目(JLAC10コード)が記録不可

(注意2) 下記の条件を満たす場合はNo13以降のチェックを行わない

- ・未実施の項目(observation 要素のnegationInd属性が「true」)
例) <observation classCode="OBS" modCode="EIV" negationInd="true" value="xsi:type="PQ" nullFlavor="NI" />
・測定不能な項目 (value要素のnullFlavor属性が「NI」)
例) <value xsi:type="PQ" nullFlavor="NI" />
・対象健診年度が平成24年度以前の場合、測定値が入力最大値-最小値の範囲外の項目(value要素のxsi:type属性が「CD」&code属性が「H」又は「L」)
※：範囲内とは、「入力最小値」<「記録された値」<「入力最大値」に記録された値のこと
※：XMLデータ型が「PQ」の項目のみ範囲外の記録が可能
例) <value xsi:type="PQ" code="H" />

(注意3) 下記の特定健診項目に記録されている項目以外については、検査項目コード(JLAC10コード)、検査法コード、基準上開値・下開値、食後経過時間、測定値、結果解釈コード、医師の氏名を形式と桁数のチェックのみ行うものとする(チェック対象は要素が存在した場合とする)

- ・項目のXMLデータ型が「PQ」(xsd:type="PQ")の測定値
形式:半角数字(マイナス等記号は不可) 桁数:整数部7桁以内、小数部3桁以内
- ・項目のXMLデータ型が「CD」(xsd:type="CD")の測定値
形式:半角数字(マイナス等記号は不可) 桁数:2桁以内
- ・項目のXMLデータ型が「CO」(xsd:type="CO")の測定値
形式:半角数字(マイナス等記号は不可) 桁数:2桁以内
- ・項目のXMLデータ型が「ST」(xsd:type="ST")の測定値
形式:全角文字(半角文字は不可) 桁数:128桁以内

(注意4) 下記の条件を満たす場合はNo13～15、24～22、25のチェックを行わない

- ・対象健診年度が平成25年度以降の場合、XMLデータ型が「PQ」の項目に対して記録された、xsi:type属性が「CD」であるvalue要素
例) <value xsi:type="PQ" code="H" />

(注意5)

- ・特定健診データファイルの健診実施年月日が平成25年3月31日以前の場合、対象健診年度を平成24年度以前とする。
- ・特定健診データファイルの健診実施年月日が平成25年4月1日以後の場合、対象健診年度を平成25年度以降とする。
- ・特定健診データファイルの健診実施年月日が平成30年3月31日以前の場合、対象健診年度を平成30年度以前とする。
- ・特定健診データファイルの健診実施年月日が平成30年4月1日以後の場合、対象健診年度を平成30年度以降とする。
- ・特定健診データファイルの健診実施年月日が令和2年3月31日以前の場合、対象健診年度を令和元年度以前とする。
- ・特定健診データファイルの健診実施年月日が令和2年4月1日以後の場合、対象健診年度を令和2年度以降とする。
- ・特定健診データファイルの健診実施年月日が令和6年3月31日以前の場合、対象健診年度を令和5年度以前とする。
- ・特定健診データファイルの健診実施年月日が令和6年4月1日以後の場合、対象健診年度を令和6年度以降とする。

分類	種別	NO	JLAC10コード (項目コード+結果項目)	項目名	関連項目	未実施の 記録不可	データ型 (属性)	JLAC10 形式	最大 文字数	形式 桁数	項目(コード)値 の範囲	入力最小-最大値の 範囲	平成29年度以前 記録不可	平成30年度以降 記録不可	令和6年度以降 記録不可	令和元年度以前 記録不可	令和2年度以降 記録不可	詳細な健診 必須記録	複数記録不可	コード値
健康情報	健康状態(後期)	9N9320000000000011	健康状態(後期)	コード (全角)	CD	1	N	1-5							※10				1:はい、2:まあいい、3:うつ、4:あまりよくない、5:よくない	
		9N9330000000000011	心の健康状態(後期)	コード (全角)	CD	1	N	1-4								※10				1:満足、2:やや満足、3:やや不満、4:不満
		9N9340000000000011	食習慣(後期)	コード (全角)	CD	1	N	1-2								※10				1:はい、2:いいえ
		9N9350000000000011	口呼吸機(喫煙)(後期)	コード (全角)	CD	1	N	1-2								※10				1:はい、2:いいえ
		9N9360000000000011	口呼吸機(喫煙)(後期)	コード (全角)	CD	1	N	1-2								※10				1:はい、2:いいえ
		9N9370000000000011	検査実施(後期)	コード (全角)	CD	1	N	1-2								※10				1:はい、2:いいえ
		9N9380000000000011	運動-転倒(歩行速度)(後期)	コード (半角)	CD	1	N	1-2								※10				1:はい、2:いいえ
		9N9390000000000011	運動-転倒(転倒)(後期)	コード (半角)	CD	1	N	1-2								※10				1:はい、2:いいえ
		9N9400000000000011	運動-転倒(運動習慣)(後期)	コード (半角)	CD	1	N	1-2								※10				1:はい、2:いいえ
		9N9410000000000011	認知機能(物忘れ)(後期)	コード (全角)	CD	1	N	1-2								※10				1:はい、2:いいえ
		9N9420000000000011	認知機能(年月日)(後期)	コード (全角)	CD	1	N	1-2								※10				1:はい、2:いいえ
		9N9430000000000011	喫煙(後期)	コード (全角)	CD	1	N	1-3								※10				1:吸っている、2:吸っていない、3:やめた
		9N9440000000000011	社会参加(外出)(後期)	コード (全角)	CD	1	N	1-2								※10				1:はい、2:いいえ
		9N9450000000000011	社会参加(付き合い)(後期)	コード (全角)	CD	1	N	1-2								※10				1:はい、2:いいえ
		9N9460000000000011	ソーシャルサポート(後期)	コード (全角)	CD	1	N	1-2								※10				1:はい、2:いいえ

※1 「健康診断を実施した医師の氏名」の項目有無は、「医師の診断(特定)」のauthor/assignedAuthor/assignedPerson/name要素で判別する。

※2 数値型以外で小数部を、チェック対象とする。

※3 複数属性(属性番号の先頭2桁が「39」)である場合、チェック対象外とする。

※4 同一属性、JLAC10コードが重複している場合、属性の最初から後ろまでチェックする。

※5 「医師の氏名」の項目は、診断書見本等のauthor/assignedAuthor/assignedPerson/name要素で設定する。

※6 検査結果値(検査結果値)の項目は、検査結果値(検査結果値)の項目に「検査結果値(検査結果値)」の属性を付与して記録する。

※7 検査結果値(検査結果値)の項目は、検査結果値(検査結果値)の項目に「検査結果値(検査結果値)」の属性を付与して記録する。

※8 小数点を半角形式の場合、小数点以下は省略可能

※9 最大文字数は同一属性でチェックを行う。

※10 複数属性(属性番号の先頭2桁が「39」)以外、かつ未実施以外の項目が存在する場合のみ、チェックする。

※11 下記条件すべてを満たす場合、チェック対象外とする

- ・対象健診年度が令和2年度以降
- ・後期高齢者(後期高齢者の先頭2桁が「39」)

【現状の補正処理】
JLAC10コードに紐づくXMLデータ型と、ファイルに入力されたvalue要素のxsi:type属性が異なる場合は、ファイルの入力値を、JLAC10コードを元に取得したXMLデータ型に補正する。
例) JLAC10コードを元に取得したXMLデータ型:PQ
【補正前】
<value xsi:type="CD" value="100"/>
↓
【補正後】
<value xsi:type="PQ" value="100"/>
※補正前の値が「AA」などの不正な値でも補正を行う。
【追加する補正処理】
XMLデータ型が「PQ」で、コード属性が「H」or「L」のものは、xsi:typeを「CD」に補正する。
【補正前】
<value xsi:type="PQ" code="H" />
↓
【補正後】
<value xsi:type="CD" code="H" />

- ※ 最新バージョンに伴う支払基金と共通のチェック仕様の変更については、黄色網掛け、赤字で表示
- ※ 最新バージョンに伴う国保独自のチェック仕様の変更については、黄色網掛け、青字で表示（取消線は「支払基金と共通チェックを国保独自仕様としてチェックを行わない」ことを示す）
- ※ 既存の国保独自仕様に関しては、網掛けなし、青字で表示（取消線は「支払基金と共通チェックを国保独自仕様としてチェックを行わない」ことを示す）

●特定保健指導データファイル

区分	チェック内容	エラーコード	エラーメッセージ
1次チェック	・特定保健指導データファイルのファイル名が命名規則に準拠していない、又はファイル名の“種別”がルートフォルダ名の“種別”と一致していない場合は「受付不可」とする。エラーの場合は以降のチェックを行わない	L 2701	データファイルのファイル名が誤っています。[ファイル名] [(桁数)桁目が(エラー理由)]
	・対となる特定保健指導決済情報ファイルが存在しない場合は「受付不可」とする。エラーの場合は以降のチェックを行わない	L 2704	データファイル[ファイル名]に対応する決済情報ファイルがありません。
	・文字コードが不正（UTF8以外）、又はXMLファイルとして認識できない場合は「受付不可」とする。エラーの場合は以降のチェックを行わない	L 2802	データファイルがシステムに取り込めません。[ファイル名]
	・ルートタグが誤っている場合、以降のチェックを行わない	L 2806	データファイルのルートタグの記録が誤っています。誤[値]正[正常値]
	・名前空間（ルート要素に設定されるxmlns属性、xmlns:xsi属性、xsi:schemaLocation属性の各設定値）が「電子的な標準様式の仕様」に準拠していない場合は自動補正を行う	-	-
	・モード（形式）が「全角文字又は半角英数」、及び「全角文字」の項目に対し、Linuxで入力された全角記号（、～）が含まれている場合はWindowsで判別出来る全角記号（、～）に自動補正を行う。	-	-
	・各項目のチェックを実施する前に報告区分、保健指導区分のチェックを行い、エラーの場合は以降のチェックを行わない	-	-
	・各項目のチェック可否が「○」の場合、要素及び項目値が存在しないときは「受付不可」とする	L 2101	[項目名]が記録されていません。
	・各項目のチェック可否が「○」又は「△」の場合、モード（形式）が誤っているときは「受付不可」とする	L 2203	[項目名]が(形式名)形式で記録されていません。[値]
	・各項目のチェック可否が「○」又は「△」の場合、最大文字数を超過している、又はデータ形式が固定でかつ最大文字数に満たしていないときは「受付不可」とする（一部例外あり）	L 2202	固定長：(項目名)が(文字数)文字で記録されていません。[値] 可変長：(項目名)が(文字数)文字以内で記録されていません。[値]
・各項目のチェック可否が「X」の場合、要素が存在するときは「受付不可」とする	L 2114	[項目名]が記録されています。[値]	
2次チェック	・特定保健指導データのXML形式構造定義ファイル（XMLスキーマファイル）に準拠していない場合は「受付不可」とする（なお、受付エラー連絡書には参考としてエラーメッセージを最大3つまで表示する）	L 2803	データファイルのスキーマチェックでエラーが発生しました。[ファイル名]このエラーを修正するためにはシステム開発者にご相談ください。 参照メッセージ[エラーメッセージ]
	・各項目の2次チェック内容の条件を満たしていない場合は「受付不可」とする	下記参照	

ファイルの記録内容	項目(要素)名称	モード(形式)	最大文字数	データ形式	チェック可否 ※1							コード値(国保取扱いのみ)	2次チェック内容(補足説明など)	エラーレベル	エラーコード	エラーメッセージ	
					初回請求時	最終請求時	途中終了時	初回未完了時(報告区分:25)	積率的支援(保健指導区分:1)	動機づけ支援(保健指導区分:2)	動機づけ支援相当(保健指導区分:3)						積率的支援(保健指導区分:1)
報告区分	報告区分	半角英数	2	固定	○	○	○	○	○	○	○	○	21: 特定保健指導情報(開始時) 22: 特定保健指導情報(実績評価時=集合契約の場合の最終決済時) 23: 特定保健指導情報(途中終了時=利用停止等) 24: その他(チェック可否については初回請求・積率的支援と同じ) 25: 特定保健指導情報(初回未完了)	・左記のコード値のいずれかであること ・25: 特定保健指導(初回未完了)のとき、利用券整理番号の3桁目が「5」であること ・対象健診年度が平成29年度以前において「25: 特定保健指導(初回未完了)」が記録されていないこと	受付不可	L 2301	データファイルの報告区分に誤ったコード値が記録されています。[値]
	ファイル作成日	半角日付(YYYYMMDD)	8	固定	○	○	○	○	○	○	○	○	・未来日付(システム日付の翌日以降の日付)でないこと	受付不可	L 2428	データファイルの報告区分が25: 特定保健指導(初回未完了)の場合、利用券(セット券)整理番号の3桁目は5: セット券である必要があります。	
整理番号	整理番号1	半角英数	64	固定	×	×	×	×	×	×	×	※、OIDが1, 2, 392, 200119, 6, 202の場合	受付不可	L 2424	対象健診年度が平成29年度以前においてデータファイルの報告区分に誤ったコード値が記録されています。[値]		
	整理番号2	半角英数	64	固定	×	×	×	×	×	×	×	※、OIDが1, 2, 392, 200119, 6, 203の場合	受付不可	L 2408	データファイルのファイル作成日に未来日が記録されています。[値]		
	整理番号3	半角英数	64	固定	×	×	×	×	×	×	×	※、OIDが1, 2, 392, 200119, 6, 900の場合	受付不可	L 2114	データファイルの詳細な健診の項目コードが記録されています。[値] データファイルの詳細な健診の単価金額が記録されています。[値] データファイルの詳細な窓口負担金額(詳細な健診)が記録されています。[値]		
	整理番号4	半角英数	64	固定	×	×	×	×	×	×	×	※、OIDが1, 2, 392, 200119, 6, 18010の場合					
	整理番号5	半角英数	64	固定	×	×	×	×	×	×	×	※、OIDが1, 2, 392, 200119, 6, 18020の場合					
整理番号5チェックコード	半角英数	2	固定	×	×	×	×	×	×	×	※、OIDが1, 2, 392, 200119, 6, 21010の場合						
利用者情報	保険者番号	半角英数	8	固定	○	○	○	○	○	○	○	・決済情報ファイルの利用者情報の当該項目と同じであること ※・先頭2桁が「67」の場合、先頭2桁を「00」に置き換えた保険者番号と比較する				受付不可	L 2401
特定保健指導情報ファイル作成機関情報	被保険者証等記号	全角文字又は半角英数	20	可変	△	△	△	△	△	△	△						
	被保険者証等番号	全角文字又は半角英数	20	可変	△	△	△	△	△	△	△						
	被保険者証等校番号	半角英数	2	固定	○	○	○	○	○	○	○						
	氏名	全角カタカナ	20	可変	○	○	○	○	○	○	○						
	生年月日	半角日付(YYYYMMDD)	8	固定	○	○	○	○	○	○	○						
	男女区分	半角英数	1	固定	○	○	○	○	○	○	○						
	郵便番号	半角英数(999-9999)	8	固定	○	○	○	○	○	○	○						
特定保健指導情報ファイル作成機関情報	ファイル作成日	半角日付(YYYYMMDD)	8	固定	○	○	○	○	○	○							
	特定健診機関番号	半角英数	10	固定	○	○	○	○	○	○							
	名称	全角文字	20	可変	○	○	○	○	○	○							
	郵便番号	半角英数(999-9999)	8	固定	△	△	△	△	△	△							
	所在地	全角文字	40	可変	△	△	△	△	△	△							
	電話番号	半角英数(tel:9999999999)	15	可変	△	△	△	△	△	△							
受診券・利用券情報	特定健診受診券整理番号	半角英数	11	固定	△	△	△	△	△	△	△	※・本項目はチェックしない					
	特定健診受診券発行保険者番号	半角英数	8	固定	△	△	△	△	△	△	△	※・本項目はチェックしない					
保健指導実施情報	利用券発行保険者番号	半角英数	11	固定	○	○	○	○	○	○	○						
	利用券有効期限	半角日付(YYYYMMDD)	8	固定	○	○	○	○	○	○	○						
	保健指導実施時のプログラム種別	半角英数	3	固定	○	○	○	○	○	○	○	・100であること	受付不可	L 2301	データファイルの保健指導実施時のプログラム種別に誤ったコード値が記録されています。[値]		
	保健指導実施年月日	半角日付(YYYYMMDD)	8	固定	○	○	○	○	○	○	○	・ファイル作成日の翌日以降の日付でないこと	受付不可	L 2410	データファイルの(項目名)[値]にファイル作成日[値]より未来日が記録されています。		
保健指導結果情報	保健指導実施機関番号	半角英数	10	固定	○	○	○	○	○	○	○	・決済情報ファイルの利用者情報の当該項目と同じであること	受付不可	L 2401	データファイルの保健指導実施機関番号[値]と決済情報ファイルの利用者の保健指導実施機関番号[値]との関連が誤っています。		
	保健指導実施機関名称	全角文字	20	可変	○	○	○	○	○	○	○						
	保健指導実施機関郵便番号	半角英数(999-9999)	8	固定	○	○	○	○	○	○	○						
	保健指導実施機関所在地	全角文字	40	可変	○	○	○	○	○	○	○						
	保健指導実施機関電話番号	半角英数(tel:9999999999)	15	可変	○	○	○	○	○	○	○						
CDAセッションのコード	CD Aセッションのコード	半角英数	5	固定	○	○	○	○	○	○	○	90010: 指導共通情報セッション 90020: 指導初回3情報セッション 90030: 指導初回情報セッション 90040: 継続支援情報セッション 90050: 中間評価情報セッション 90060: 最終評価情報セッション 90070: 指導集計情報セッション 90080: 指導機関情報セッション	※・特定保健指導項目チェックシートを参照	受付不可			
	指導情報	保健指導区分															

※1. チェック可否の意味は下記のとおり
 ○: あり(要素及び項目値が存在すること) ×: なし(要素が存在しないこと) △: 任意(要素と項目値が存在する場合チェックする) -: チェックしない

※ 最新バージョンに伴う支払基金と共通のチェック仕様の変更については、黄色網掛け、赤字で表示
 ※ 最新バージョンに伴う国保費目的のチェック仕様の変更については、青色網掛け、青字で表示（取消時は「支払基金との共通チェックを国保費目仕様としてチェックを行わない」ことを示す）
 ※ 既存の国保費目仕様に関しては、網掛けなし、青字で表示（取消時は「支払基金との共通チェックを国保費目仕様としてチェックを行わない」ことを示す）

●特定保健指導項目チェックシート(第三期以前(令和5年度以前実施分))

NO	チェック内容	エラーレベル	エラーコード	エラーメッセージ
1	データ型(属性)が文字列(全角)の項目に対し、Linuxで入力された全角記号(、～)が含まれている場合はWindowsで判別出来る全角記号(、～)に自動補正を行う。	-	-	-
2	セクションコードに対し種別(下記参照)の条件を満たさない ○:当該項目が当該報告区分の時に当該セクション内に項目が存在すること □:当該項目が当該報告区分の時に当該セクション内に項目が存在すること。ただし、■が存在する場合は除く ■:当該項目が当該報告区分の時に当該セクション内に項目が存在すること。ただし、□が存在する場合は除く	受付不可	L2101 L2113	○:データファイルに必須の(セクション)種別が登録されていません。 □:データファイルの(種別)属性が登録されていません。 ■:データファイルの(種別)属性が登録されています。(セクションコード)
3	保健指導項目に対し種別(下記参照)の条件を満たさない ○:当該項目が当該報告区分の時に当該セクション内に項目が存在すること(※1参照) □:当該項目が当該報告区分の時に当該セクション内に項目が存在すること。ただし、■が存在する場合は除く ■:当該項目が当該報告区分の時に当該セクション内に項目が存在すること。ただし、□が存在する場合は除く	受付不可	○:L2101 □:L2101 ■:L2101	○:データファイルの(項目名)が登録されていません。 □:データファイルの(項目名)が登録されていません。 ■:データファイルの(項目名)が登録されていません。
4	保健指導項目が重複して登録されている	受付不可	L2105	重複が許されない項目が複数登録されています。(項目名)
5	1.特定保健指導データファイル内で保健指導項目コードが重複して登録されている。	受付不可	L2107	特定保健指導結果報告項目に重複した保健指導項目コードが登録されています。
6	データ型(属性)に準拠しない項目値が設定されている	受付不可	L2203	データファイルの(項目名)が(形式名)形式で登録されていません。(値)
7	XMLデータ型に準拠しないデータ型が設定されている	受付不可	L2206	(項目名)に属したXMLデータ型が登録されています。(値)正(値)
8	最大文字数が指定されている項目において、最大文字数を超えている	受付不可	L2202	固定長(CD等):データファイルの(項目名)が(文字数)文字で登録されていません。(値) 可変長(ST等):データファイルの(項目名)が(文字数)文字以内で登録されていません。(値)
9	形式が指定されている項目において、形式に準拠しない項目値が設定されている	受付不可	L2208	データファイルの(項目名)に対し(下欄)～(上欄)外の値が登録されています。(値)
10	上欄・下欄が指定されている項目において、項目値が範囲外 ※:範囲内とは、「範囲最小値」≦「登録された値」≦「範囲最大値」に記録された値のこと 項目値(コード値)の範囲が指定されている項目において、項目値が範囲外 ※:範囲内とは、「下欄値(20ポイント、160ポイント)」≦「登録された値」≦「上欄値」に記録された値のこと	受付不可	L2405	データファイルの(項目名)に対し(下欄)～(上欄)外の値が登録されています。(値)
11	項目値(コード値)の範囲が指定されている項目において、項目値が範囲外 ※:範囲内とは、「下欄値(20ポイント、160ポイント)」≦「登録された値」≦「上欄値」に記録された値のこと	受付不可	L2405	データファイルの(項目名)に対し(下欄)～(上欄)外の値が登録されています。(値)
12	平成29年度以前において、記録不可のセクションが設定されている	受付不可	L2423	対象健康年度が平成29年度以前において、記録が認められていないデータファイルの(項目名)が登録されています。
13	平成29年度以前において、記録不可の項目が設定されている	受付不可	L2423	対象健康年度が平成29年度以前において、記録が認められていないデータファイルの(項目名)が登録されています。
14	平成30年度以降令和5年度以前において、記録不可の項目が設定されている	受付不可	L2423	対象健康年度が平成30年度以降令和5年度以前において、記録が認められていないデータファイルの(項目名)が登録されています。
15	平成29年度以前において、記録不可の項目値(コード値)が設定されている	受付不可	L2424	対象健康年度が平成29年度以前において、記録が認められていないデータファイルの(項目名)に属したコード値が登録されています。(値)
16	平成30年度以降において、記録必須の項目が設定されていない	受付不可	L2430	対象健康年度が平成30年度以降においてデータファイルの(項目名)が登録されていません。
17	同一セクション内に重複した項目コードが登録されている	受付不可	L2301 L2314	データファイルの(項目名)に属したコード値が登録されています。(値) ファイル内のセクション・セクションに項目名・項目コードが重複登録されています。

(注意1)下記の保健指導項目以外についてはチェックを行わない
 (注意2)特定保健指導データファイルの利用管理番号の先頭2桁が「13」未満の場合、対象健康年度を平成24年度以前とする。
 特定保健指導データファイルの利用管理番号の先頭2桁が「13」以上の場合、対象健康年度を平成25年度以降とする。
 ※特定保健指導データファイルの利用管理番号が取得できなかった場合、対象健康年度を平成25年度以降とする。
 ※平成29年度以前と平成30年度以降との年度判定方法
 特定保健指導データファイルの利用管理番号の先頭2桁が「18」未満の場合、対象健康年度を平成29年度以前とする。
 特定保健指導データファイルの利用管理番号の先頭2桁が「18」以上の場合、対象健康年度を平成30年度以降とする。
 ※特定保健指導データファイルの利用管理番号が不正な値又は取得出来なかった場合、平成30年度以降の対象健康年度と判定する。
 ※令和5年度以前の年度判定方法
 特定保健指導データファイルの利用管理番号の先頭2桁が「23」以下の場合、対象健康年度を令和5年度以前とする。
 特定保健指導データファイルの利用管理番号の先頭2桁が数値かつ現在の西暦の下二桁を超過した値の場合、対象健康年度を令和5年度以前とする。
 ※利用管理番号は、記録されなかった場合は対象健康年度を令和6年度以降と判定する。
 (注意3)項目名称については、同一の項目コードの場合、第四期以降の項目名で統一する

番号	セクションコード	セクション名	初回請求時(報告区分:21)			最終請求時(報告区分:22)			項目コード	項目名	初回請求時(報告区分:25)	平成29年度以前記録不可	平成30年度以降令和5年度以前記録不可	データ型(属性)	XMLデータ型	最大文字数	形式#4	項目値(コード値)の範囲	上欄・下欄の範囲	単位	XMLパターン(※1)	備考
			種別	動作	動作	種別	動作	動作														
1507								1032001032	中間評価時の体重				数字(半角)	PQ	5		0-999.9		kg	1		
1508								1032001033	中間評価時の収縮期血圧				数字(半角)	PQ	3		0-999		mm[Hg]	1		
1509								1032001034	中間評価時の拡張期血圧				数字(半角)	PQ	3		0-999		mm[Hg]	1		
								1032001044	中間評価時の腰痛・体重の改善			○	○	数字(半角)	CD	1		0-2		1	平成29年度以前は平成30年度以降令和5年度以前に設定されている場合エラー-L2423とする	
1510								1032001042	中間評価時の生活習慣の改善(栄養・食生活)					コード(半角)	CD	1		0-2		1	0:変化なし、1:改善、2:悪化	
1511								1032001041	中間評価時の生活習慣の改善(身体活動)					コード(半角)	CD	1		0-2		1	0:変化なし、1:改善、2:悪化	
1512								1032001043	中間評価時の生活習慣の改善(喫煙)					コード(半角)	CD	1		1-4		1	1:禁煙継続、2:非継続、3:非喫煙、4:禁煙の意志なし	
								1032001045	中間評価時の生活習慣の改善(休養)			○	○	コード(半角)	CD	1		0-9		1	平成29年度以前は任意項目(空白)として必須チェックは行わず、平成30年度以降は記録必須項目(○)とする。なお、記録されていない場合エラー-L2432とする	
								1032001046	中間評価時の生活習慣の改善(その他の生活習慣)			○	○	コード(半角)	CD	1		0-9		1	平成29年度以前は任意項目(空白)として必須チェックは行わず、平成30年度以降は記録必須項目(○)とする。なお、記録されていない場合エラー-L2432とする	
									保健指導機関番号	○	○	○	-	数字(半角)		10				5	平成29年度以前は任意項目(空白)として必須チェックは行わず、平成30年度以降は記録必須項目(○)とする。なお、記録されていない場合エラー-L2432とする	
									保健指導機関名称	○	○	○	-	文字列(全角)		20				6	平成29年度以前は任意項目(空白)として必須チェックは行わず、平成30年度以降は記録必須項目(○)とする。なお、記録されていない場合エラー-L2432とする	
1513								1032001090	中間評価情報	○	○	○	-	文字列(全角)	ST	256				1	平成29年度以前に設定されている場合エラー-L2423とする	
1411	90040	継続支援情報(支援A1情報)							支援A1の実施日付					年月日(半角)		8				3	YYYYMMDD形式	
1412									支援A1の支援形態					コード(半角)	1		1,3,4,6			2	1:個別支援A、3:グループ支援、4:電話A、6:電子メール支援A	
1413								1032100013	支援A1の実施時間					数字(半角)	3		0-999		min	1		
1414								1032100014	支援A1の実施ポイント					数字(半角)	INT	4		0-9999		1		
1415									支援A1の実施者					コード(半角)	1		1-4		4	1:医師、2:保健師、3:管理栄養士、4:その他		
									保健指導機関番号	○	○	○	-	数字(半角)	10					5	平成29年度以前は任意項目(空白)として必須チェックは行わず、平成30年度以降は記録必須項目(○)とする。なお、記録されていない場合エラー-L2432とする	
									保健指導機関名称	○	○	○	-	文字列(全角)	20					6	平成29年度以前は任意項目(空白)として必須チェックは行わず、平成30年度以降は記録必須項目(○)とする。なお、記録されていない場合エラー-L2432とする	
1416								1032100090	支援A1情報	○	○	○	-	文字列(全角)	ST	256				1	平成29年度以前に設定されている場合エラー-L2423とする	
1421	90040	継続支援情報(支援A2情報)							支援A2の実施日付					年月日(半角)		8				3	YYYYMMDD形式	
1422									支援A2の支援形態					コード(半角)	1		1,3,4,6			2	1:個別支援A、3:グループ支援、4:電話A、6:電子メール支援A	
1423								1032100013	支援A2の実施時間					数字(半角)	3		0-999		min	1		
1424								1032100014	支援A2の実施ポイント					数字(半角)	INT	4		0-9999		1		
1425									支援A2の実施者					コード(半角)	1		1-4		4	1:医師、2:保健師、3:管理栄養士、4:その他		
									保健指導機関番号	○	○	○	-	数字(半角)	10					5	平成29年度以前は任意項目(空白)として必須チェックは行わず、平成30年度以降は記録必須項目(○)とする。なお、記録されていない場合エラー-L2432とする	
									保健指導機関名称	○	○	○	-	文字列(全角)	20					6	平成29年度以前は任意項目(空白)として必須チェックは行わず、平成30年度以降は記録必須項目(○)とする。なお、記録されていない場合エラー-L2432とする	
1426								1032100090	支援A2情報	○	○	○	-	文字列(全角)	ST	256				1	平成29年度以前に設定されている場合エラー-L2423とする	
1431	90040	継続支援情報(支援A3情報)							支援A3の実施日付					年月日(半角)		8				3	YYYYMMDD形式	
1432									支援A3の支援形態					コード(半角)	1		1,3,4,6			2	1:個別支援A、3:グループ支援、4:電話A、6:電子メール支援A	
1433								1032100013	支援A3の実施時間					数字(半角)	3		0-999		min	1		
1434								1032100014	支援A3の実施ポイント					数字(半角)	INT	4		0-9999		1		
1435									支援A3の実施者					コード(半角)	1		1-4		4	1:医師、2:保健師、3:管理栄養士、4:その他		
									保健指導機関番号	○	○	○	-	数字(半角)	10					5	平成29年度以前は任意項目(空白)として必須チェックは行わず、平成30年度以降は記録必須項目(○)とする。なお、記録されていない場合エラー-L2432とする	
									保健指導機関名称	○	○	○	-	文字列(全角)	20					6	平成29年度以前は任意項目(空白)として必須チェックは行わず、平成30年度以降は記録必須項目(○)とする。なお、記録されていない場合エラー-L2432とする	
1436								1032100090	支援A3情報	○	○	○	-	文字列(全角)	ST	256				1	平成29年度以前に設定されている場合エラー-L2423とする	
1441	90040	継続支援情報(支援A4情報)							支援A4の実施日付					年月日(半角)		8				3	YYYYMMDD形式	
1442									支援A4の支援形態					コード(半角)	1		1,3,4,6			2	1:個別支援A、3:グループ支援、4:電話A、6:電子メール支援A	
1443								1032100013	支援A4の実施時間					数字(半角)	3		0-999		min	1		
1444								1032100014	支援A4の実施ポイント					数字(半角)	INT	4		0-9999		1		
1445									支援A4の実施者					コード(半角)	1		1-4		4	1:医師、2:保健師、3:管理栄養士、4:その他		
									保健指導機関番号	○	○	○	-	数字(半角)	10					5	平成29年度以前は任意項目(空白)として必須チェックは行わず、平成30年度以降は記録必須項目(○)とする。なお、記録されていない場合エラー-L2432とする	
									保健指導機関名称	○	○	○	-	文字列(全角)	20					6	平成29年度以前は任意項目(空白)として必須チェックは行わず、平成30年度以降は記録必須項目(○)とする。なお、記録されていない場合エラー-L2432とする	
1446								1032100090	支援A4情報	○	○	○	-	文字列(全角)	ST	256				1	平成29年度以前に設定されている場合エラー-L2423とする	
1451	90040	継続支援情報(支援B1情報)							支援B1の実施日付					年月日(半角)		8				3	YYYYMMDD形式	
1452									支援B1の支援形態					コード(半角)	1		2,5,7			2	2:個別支援B、5:電話B、7:電子メール支援B	
1453								1032200013	支援B1の実施時間					数字(半角)	3		0-999		min	1		
1454								1032200014	支援B1の実施ポイント					数字(半角)	INT	4		0-9999		1		
1455									支援B1の実施者					コード(半角)	1		1-4		4	1:医師、2:保健師、3:管理栄養士、4:その他		
									保健指導機関番号	○	○	○	-	数字(半角)	10					5	平成29年度以前は任意項目(空白)として必須チェックは行わず、平成30年度以降は記録必須項目(○)とする。なお、記録されていない場合エラー-L2432とする	
									保健指導機関名称	○	○	○	-	文字列(全角)	20					6	平成29年度以前は任意項目(空白)として必須チェックは行わず、平成30年度以降は記録必須項目(○)とする。なお、記録されていない場合エラー-L2432とする	
1456								1032200090	支援B1情報	○	○	○	-	文字列(全角)	ST	256				1	平成29年度以前に設定されている場合エラー-L2423とする	
1461	90040	継続支援情報(支援B2情報)							支援B2の実施日付					年月日(半角)		8				3	YYYYMMDD形式	
1462									支援B2の支援形態					コード(半角)	1		2,5,7			2	2:個別支援B、5:電話B、7:電子メール支援B	
1463								1032200013	支援B2の実施時間					数字(半角)	3		0-999		min	1		
1464								1032200014	支援B2の実施ポイント			</										

※ 最新バージョンに伴う支払基金と共通のチェック仕様の変更については、黄色網掛け、赤字で表示
 ※ 最新バージョンに伴う国保独自のチェック仕様の変更については、青色網掛け、青字で表示（取消時は「支払基金との共通チェックを国保独自仕様としてチェックを行わない」ことを示す）
 ※ 既存の国保独自仕様に関しては、網掛けなし、青字で表示（取消時は「支払基金との共通チェックを国保独自仕様としてチェックを行わない」ことを示す）

●特定保健指導項目チェックシート（第三期以前（令和5年度以前実施分））

NO	チェック内容	エラーレベル	エラーコード	エラーメッセージ
1	データ型(属性)が文字列(全角)の項目に対し、Linuxで入力された全角記号(、～)が含まれている場合はWindowsで判別出来る全角記号(、～)に自動補正を行う。	-	-	-
2	セクションコードに対し種別(下記参照)の条件を満たさない ○：当該項目が当該報告区分の時に当該セクション内に項目が存在すること □：当該項目が当該報告区分の時に当該セクション内に項目が存在すること。ただし、■が存在する場合は除く △：当該項目が当該報告区分の時に当該セクション内に項目が存在すること。ただし、□が存在する場合は除く	受付不可	L2101 L2113	○:データファイルに必須の(セクション名)セクションコードが記録されていません。 □:データファイルの同一セクション名が重複して記録されています。 △:記録が認められていないデータファイルの項目が記録されています。(セクションコード)
3	保健指導項目に対し種別(下記参照)の条件を満たさない ○：当該項目が当該報告区分の時に当該セクション内に項目が存在すること(※1参照) □：当該項目が当該報告区分の時に当該セクション内に項目が存在すること。ただし、■が存在する場合は除く △：当該項目が当該報告区分の時に当該セクション内に項目が存在すること。ただし、□が存在する場合は除く	受付不可	○:L2101 □:L2101 □:L2101 ■:L2101	○:データファイルの(項目名)が記録されていません。 □:データファイルの同一(項目名)が重複して記録されています。 □:データファイルの(項目名)が記録されていません。 ■:データファイルの(項目名)が記録されていません。
4	複数記録が許されない項目が複数記録されている。	受付不可	L2105	重複が許されない項目が複数記録されています。(項目名)
5	1.特定保健指導データファイル内保健指導項目コードが重複して記録されている。	受付不可	L2107	特定保健指導結果情報内に重複した保健指導事項コード(項目名)が存在します。
6	データ型(属性)に準拠しない項目値が設定されている。	受付不可	L2203	データファイルの(項目名)が(形式名)形式で記録されていません。(値)
7	XMLデータ型に準拠しないデータ型が設定されている。	受付不可	L2206	(項目名)に属したXMLデータ型が記録されています。属(値)正(値)
8	最大文字数が指定されている項目において、最大文字数を超過している。	受付不可	L2202	固定長(CD等):データファイルの(項目名)が(文字数)文字で記録されていません。(値) 可変長(SI等):データファイルの(項目名)が(文字数)文字以内で記録されていません。(値)
9	形式が指定されている項目において、形式に準拠しない項目値が設定されている。	受付不可	L2208	
10	上限・下限が指定されている項目において、項目値が範囲外 ※ 範囲内とは、「範囲最小値」≦「記録された値」≦「範囲最大値」に記録された値のこと	受付不可	L2405	データファイルの(項目名)に対し範囲(下限値)～(上限値)外の値が記録されています。(値)
11	項目値(コード値)の範囲が指定されている項目において、項目値が範囲外 ※ 範囲内とは、「下限値(20ポイント、160ポイント)」≦「記録された値」≦「上限値」に記録された値のこと	受付不可	L2405	データファイルの(項目名)に対し範囲(下限値)～(上限値)外の値が記録されています。(値)
12	平成29年度以前において、記録不可のセクションが設定されている。	受付不可	L2423	対象健診年度が平成29年度以前において、記録が認められていないデータファイルの(項目名)が記録されています。
13	平成29年度以前において、記録不可の項目が設定されている。	受付不可	L2423	対象健診年度が平成29年度以前において、記録が認められていないデータファイルの(項目名)が記録されています。
14	平成30年度以降令和5年度以前において、記録不可の項目が設定されている。	受付不可	L2423	対象健診年度が平成30年度以降令和5年度以前において、記録が認められていないデータファイルの(項目名)が記録されています。
15	平成29年度以前において、記録不可の項目値(コード値)が設定されている。	受付不可	L2424	対象健診年度が平成29年度以前において記録が認められていないデータファイルの(項目名)に属したコード値が記録されています。(値)
16	平成30年度以降において、記録必須の項目が設定されていない	受付不可	L2430	対象健診年度が平成30年度以降においてデータファイルの(項目名)が記録されていません。
17	属したコード値が設定されている	受付不可	L2301	データファイルの(項目名)に属したコード値が記録されています。(値)
17	同一セクション内に重複した項目コードが記録されている	受付不可	L2114	ファイル内のセクション名(セクション)に項目名(項目)の項目コードが重複して記録されています。

(注意1)下記の保健指導項目以外についてはチェックを行わない
 (注意2) 特定保健指導データファイルの利用券整理番号の先頭2桁が「13」未満の場合、対象健診年度を平成24年度以前とする。
 特定保健指導データファイルの利用券整理番号の先頭2桁が「13」以上の場合、対象健診年度を平成25年度以降とする。
 ※ 特定保健指導データファイルの利用券整理番号が取得できなかった場合、対象健診年度を平成25年度以降とする。
 ※ 平成29年度以前と平成30年度以降との年度判定方法
 特定保健指導データファイルの利用券整理番号の先頭2桁が「18」未満の場合、対象健診年度を平成29年度以前とする。
 特定保健指導データファイルの利用券整理番号の先頭2桁が「18」以上の場合、対象健診年度を平成30年度以降とする。
 ※ 特定保健指導データファイルの利用券整理番号が不正な値又は取得出来なかった場合、平成30年度以降の対象健診年度と判定する。
 ※ 令和5年度以前の年度判定方法
 特定保健指導データファイルの利用券整理番号の先頭2桁が「23」以下の場合、対象健診年度を令和5年度以前とする。
 特定保健指導データファイルの利用券整理番号の先頭2桁が「23」以上の場合、対象健診年度を令和5年度以降とする。
 ※ 利用券整理番号は、記録されなかった場合は対象健診年度を令和6年度以降と判定する。
 (注意3) 項目名称については、同一の項目コードの場合、第四期の項目名で統一とする

番号	セクションコード	セクション名	初回請求時(報告区分:21)			最終請求時(報告区分:22)			項目コード	項目名	初回請求時(報告区分:21)			最終請求時(報告区分:22)			初回未完了時(報告区分:25)	平成29年度以前記録不可	平成30年度以降令和5年度以前記録不可	データ型(属性)	XMLデータ型	最大文字数	形式#4	項目値(コード値)の範囲※4	上・下限の範囲	単位	XMLパターン(※1)	備考
			種別的支援	動機づけ支援	動機づけ支援	種別的支援	動機づけ支援	動機づけ支援			種別的支援	動機づけ支援	動機づけ支援	種別的支援	動機づけ支援	動機づけ支援												
1709								1041010030	計画上の継続的な支援の実施回数(電話)							○	○	数字(半角)	INT	3	NNN	0~999		1		平成29年度以前又は平成30年度以降令和5年度以前に設定されている場合エラー L2423とする		
1710								1041020030	計画上の継続的な支援の合計実施時間(電話)							○	○	数字(半角)	PQ	3	NNN	0~999	min	1		平成29年度以前又は平成30年度以降令和5年度以前に設定されている場合エラー L2423とする		
1711								1041010060	計画上の継続的な支援の実施回数(電子メール等)							○	○	数字(半角)	INT	3	NNN	0~999		1		平成29年度以前又は平成30年度以降令和5年度以前に設定されている場合エラー L2423とする		
1712								1041010070	計画上の継続的な支援によるポイント(合計)							○	○	数字(半角)	INT	4	NNNN	0~9999	0~9999	1		平成29年度以前又は平成30年度以降令和5年度以前に設定されている場合エラー L2423とする		
1713								1041010080	計画上のポイント(合計)							○	○	数字(半角)	INT	4	NNNN	0~9999	0~9999	1		平成29年度以前又は平成30年度以降令和5年度以前に設定されている場合エラー L2423とする		
1731	90070	指導情報(実施済み累計情報)						1042800117	実施上の継続的な支援の実施回数			○	○			-	-	数字(半角)	INT	3		0~999		1				
1732								1042101117	実施上の継続的な支援の実施回数(個別支援A)							-	-	数字(半角)	INT	3		0~999		1				
1733								1042302117	実施上の継続的な支援の実施回数(グループ支援)							-	-	数字(半角)	INT	3		0~999		1				
1734								1042103117	実施上の継続的な支援の実施回数(電話Aによる支援)			○	○			-	-	数字(半角)	INT	3		0~999		1				
1735								1042104117	実施上の継続的な支援の実施回数(e-mailによる支援)							-	-	数字(半角)	INT	3		0~999		1				
1736								1042201117	実施上の継続的な支援の実施回数(個別支援B)							-	-	数字(半角)	INT	3		0~999		1				
1737								1042203117	実施上の継続的な支援の実施回数(電話Bによる支援)			○	○			-	-	数字(半角)	INT	3		0~999		1				
1738								1042204117	実施上の継続的な支援の実施回数(e-mailBによる支援)							-	-	数字(半角)	INT	3		0~999		1				
1739								1042101113	実施上の継続的な支援の合計実施時間(個別支援A)							-	-	数字(半角)	PQ	3		0~999	min	1				
1740								1042302113	実施上の継続的な支援の合計実施時間(グループ支援)			○	○			-	-	数字(半角)	PQ	3		0~999	min	1				
1741								1042103113	実施上の継続的な支援の合計実施時間(電話Aによる支援)							-	-	数字(半角)	PQ	3		0~999	min	1				
1742								1042201113	実施上の継続的な支援の合計実施時間(個別支援B)			○	○			-	-	数字(半角)	PQ	3		0~999	min	1				
1743								1042203113	実施上の継続的な支援の合計実施時間(電話Bによる支援)							-	-	数字(半角)	PQ	3		0~999	min	1				
1744								1042100114	継続的な支援によるポイント(支援A)							-	-	数字(半角)	INT	4		0~9999	0~9999	1		・「種別的支援」において、項目値が160未満の場合エラー L2405とする ただし、報告区分が途中終了時(報告区分:23)または初回未完了時(報告区分:25)の場合は「上限、下限の範囲」は0~9999		
1745								1042200114	継続的な支援によるポイント(支援B)			○	○			-	-	数字(半角)	INT	4		0~9999	20~9999 0~9999	1		対象健診年度が平成24年度以前の場合 対象健診年度が平成25年度以降の場合 対象健診年度が平成24年度以前の場合		
1746								1042800114	継続的な支援によるポイント(合計)			○	○			-	-	数字(半角)	INT	4		0~9999	0~9999	1		・対象健診年度が平成25年度以降の場合 ・「種別的支援」において、項目値が160未満の場合エラー L2405とする		
1747								1042800118	指導情報の実施回数							-	-	数字(半角)	INT	3		0~999		1				
1748								1042000022	実施上の継続的な支援の終了日			○	○			-	-	数字(半角)	ST	8				1		YYYYMMDD形式		
1731								1042010010	継続的な支援の実施回数(個別支援(対面))							○	○	数字(半角)	INT	3	NNN	0~999		1		平成29年度以前又は平成30年度以降令和5年度以前に設定されている場合エラー L2423とする		
1732								1042020010	継続的な支援の合計実施時間(個別支援(対面))							○	○	数字(半角)	PQ	3	NNN	0~999	min	1		平成29年度以前又は平成30年度以降令和5年度以前に設定されている場合エラー L2423とする		
1733								1042010020	継続的な支援の実施回数(個別支援(遠隔))							○	○	数字(半角)	INT	3	NNN	0~999		1		平成29年度以前又は平成30年度以降令和5年度以前に設定されている場合エラー L2423とする		
1734								1042020020	継続的な支援の合計実施時間(個別支援(遠隔))							○	○	数字(半角)	PQ	3	NNN	0~999	min	1		平成29年度以前又は平成30年度以降令和5年度以前に設定されている場合エラー L2423とする		
1735								1042010030	継続的な支援の実施回数(グループ支援(対面))							○	○	数字(半角)	INT	3	NNN	0~999		1		平成29年度以前又は平成30年度以降令和5年度以前に設定されている場合エラー L2423とする		
1736								1042020030	継続的な支援の合計実施時間(グループ支援(対面))							○	○	数字(半角)	PQ	3	NNN	0~999	min	1		平成29年度以前又は平成30年度以降令和5年度以前に設定されている場合エラー L2423とする		
1737								1042010040	継続的な支援の実施回数(グループ支援(遠隔))							○	○	数字(半角)	INT	3	NNN	0~999		1		平成29年度以前又は平成30年度以降令和5年度以前に設定されている場合エラー L2423とする		
1738								1042020040	継続的な支援の合計実施時間(グループ支援(遠隔))							○	○	数字(半角)	PQ	3	NNN	0~999	min	1		平成29年度以前又は平成30年度以降令和5年度以前に設定されている場合エラー L2423とする		
1739								1042010050	継続的な支援の実施回数(電話)							○	○	数字(半角)	INT	3	NNN	0~999		1		平成29年度以前又は平成30年度以降令和5年度以前に設定されている場合エラー L2423とする		
1740								1042020050	継続的な支援の合計実施時間(電話)							○	○	数字(半角)	PQ	3	NNN	0~999	min	1		平成29年度以前又は平成30年度以降令和5年度以前に設定されている場合エラー L2423とする		
1741								1042010060	継続的な支援の実施回数(電子メール等)							○	○	数字(半角)	INT	3	NNN	0~999		1		平成29年度以前又は平成30年度以降令和5年度以前に設定されている場合エラー L2423とする		
1742								1042010070	継続的なポイント(プロセス評価の合計)							○	○	数字(半角)	INT	4	NNNN	0~9999	0~9999	1		平成29年度以前又は平成30年度以降令和5年度以前に設定されている場合エラー L2423とする		
1743								1042010080	ポイント(合計)							○	○	数字(半角)	INT	4	NNNN	0~9999	0~9999	1		平成29年度以前又は平成30年度以降令和5年度以前に設定されている場合エラー L2423とする		

※1. 項目有無についてはXMLパターン別に下記のとおりとする

パターン	項目有無判定
1	当該セクション内に entry/act/entryRelationship/observation/code要素が存在し code属性に当該項目コードが存在すること
2	当該セクション内に entry/act/code要素が存在すること
3	当該セクション内に entry/act/effectiveTime要素が存在すること
4	当該セクション内に entry/act/performer/assignedEntity/code要素が存在すること
5	当該セクション内に entry/act/performer/assignedEntity/representedOrganization/id要素が存在すること
6	当該セクション内に entry/act/performer/assignedEntity/representedOrganization/name要素が存在すること

※2. 途中終了時「コード:23」の場合であって、項目及び項目値が記録されたときは上記チェックシートによりチェックする
 ただし、継続的な支援によるポイントの下限チェックは行わない

※3. 特定保健指導情報ファイルの利用券整理番号の上3桁目が5(セット券)且つ、初回面接情報①(90020)が存在する場合、エラーにしない

※4. 小数点を含む形式の場合、小数点以下は省略可能

注1. 中間評価情報、継続支援情報、最終評価情報の保健指導機関番号、保健指導機関名は、平成29年度以前の特定健康診査に基づく当該保健指導を実施している保険者(又は保健指導機関)が継続的支援等の一部委託(又は再委託)している場合に記録される。
 平成30年度以降の特定健康診査に基づく保健指導の場合は、必ず記録される。

※ 最新バージョンに伴う変更点と共通のチェック仕様の変更については、黄色背景、赤字で表示
 ※ 最新バージョンに伴う変更点のチェック仕様の変更については、黄色背景、赤字で表示（取消線は「変更点」としてチェックを行わない）ことを示す
 ※ 取消線の適用対象は「変更点」として、取消線は「変更点」としてチェックを行わないことを示す

●特定保健指導項目チェックシート(第四期以降(令和6年度以降実施分))

NO	チェック内容	エラーレベル	エラーコード	エラーメッセージ
1	データ属性(属性)が「文字列(全角)」の項目に対し、Linuxで入力された全角記号(～)が含まれている場合はWindowsで別記述する全角記号(～)に自動修正を行う。	-	-	-
2	セクションコードに対し、重複(下記参照)の条件を満たさない ○:当該項目が当該報告区分の時に必ず存在すること ×:当該項目が当該報告区分の時に存在しないこと	受付不可	L2101 L2113	○:データファイルに必須の(セクション名)セクションコードが記録されています。 ×:記録が認められていないデータファイルの項目名が記録されています。(セクションコード)
3	保健指導項目に対し種別(下記参照)の条件を満たさない ○:当該項目が当該報告区分の時に当該セクション内に項目が存在すること(※1参照) □:当該項目が当該報告区分の時に当該セクション内に項目が存在すること。ただし、欄が存在する場合は除く ■:当該項目が当該報告区分の時に当該セクション内に項目が存在すること。ただし、欄が存在する場合は除く ▲:当該項目が当該報告区分の時に当該セクション内に項目が存在すること(※1参照) ※1:以下の条件を満たすこと(※5参照) 「1」:当日(を記録した場合、「健康実態年月日(確認用)」の記録が存在し、かつ「健康実態年月日(確認用)No1104」) 「初回面接の実施日付(No1301)」が一致していること 「2」:1週間以内(当日は除く)を記録した場合、「健康実態年月日(確認用)」の記録が存在し、かつ「初回面接の実施日付(No1301)」が「健康実態年月日(確認用)No1104」の欄が1以上7以下であること 「0」:実施なし、かつ「健康実態年月日(確認用)」の記録が存在する場合。 「初回面接の実施日付(No1301)」が「健康実態年月日(確認用)No1104」の欄が8以上であること ▲:当該項目が当該報告区分の時に当該セクション内に項目が存在すること(※5参照) ※5:以下の条件を満たすこと(※5参照) 「1」:当日(を記録し、かつ「健康実態年月日(確認用)」の記録が存在する場合、「健康実態年月日(確認用)No1104」) 「初回面接の実施日付(No1301)」が一致していること 「2」:1週間以内(当日は除く)を記録し、かつ「健康実態年月日(確認用)」の記録が存在する場合。 「初回面接の実施日付(No1301)」が「健康実態年月日(確認用)No1104」の欄が1以上7以下であること 「0」:実施なし、かつ「健康実態年月日(確認用)」の記録が存在する場合。 「初回面接の実施日付(No1301)」が「健康実態年月日(確認用)No1104」の欄が8以上であること ※:当該項目が当該報告区分の時に当該セクション内に項目が存在すること	受付不可	○:L2101 ○:L2101 □:L2101 ■:L2101 ▲:L2101 L2434 L2434	○:データファイルの(項目名)が記録されています。 ○:データファイルの(同一)項目名が記録されています。 □:データファイルの(項目名)が記録されています。 ■:データファイルの(項目名)が記録されています。 ▲:データファイルの(項目名)が記録されています。
4	複数記録が許されない項目が複数記録されている。	受付不可	L2105	重複が認められていない項目が記録されています。(欄)
5	1特定保健指導データファイル内で保健指導項目コードが重複して記録されている。	受付不可	L2107	重複が認められていない項目が記録されています。(項目名)
6	令和6年度以降において、記録不可の項目が設定されている。	受付不可	L2423	特定保健指導結果情報欄に重複した保健指導項目コード(欄)が存在します。
7	データ属性(属性)に準拠しない項目が設定されている。	受付不可	L2203	データファイルの(項目名)が(形式)形式で記録されています。(欄)
8	XMLデータ属性に準拠しないデータ属性が設定されている。	受付不可	L2206	項目名に属するXMLデータ属性が記録されています。(欄)正(欄)
9	最大文字数が指定されている項目において、最大文字数を超過している。	受付不可	L2202	指定値(CD等):データファイルの(項目名)が(文字数)文字で記録されています。(欄) 可変長(S等):データファイルの(項目名)が(文字数)文字で記録されています。(欄)
10	形式が指定されている項目において、形式に準拠しない項目が設定されている。	受付不可	L2208	
11	上欄・下欄が指定されている項目において、項目欄が範囲外 ※:範囲内とは、「範囲最小値」≦「記録された値」≦「範囲最大値」に記録された値のこと 項目欄(コード欄)の範囲が指定されている項目において、項目欄が範囲外 ※:範囲内とは、「下限値(20ポイント、160ポイント)」≦「記録された値」≦「上限値」に記録された値のこと	受付不可	L2405	データファイルの(項目名)に対し範囲(下欄欄)～(上欄欄)の値が記録されています。(欄)
12	平成29年度以前において、記録不可のセクションが設定されている。	受付不可	L2423	対象保健指導年度が平成29年度以前において、記録が認められていないデータファイルのセクションコードが記録されています。
13	平成29年度以前において、記録不可の項目が設定されている。	受付不可	L2423	対象保健指導年度が平成29年度以前において、記録が認められていないデータファイルの(項目名)が記録されています。
14	平成29年度以前において、記録不可の項目欄(コード欄)が設定されている。	受付不可	L2423	対象保健指導年度が平成29年度以前において、記録が認められていないデータファイルの(項目名)に属するコード欄が記録されています。
15	令和6年度以降において、記録必須の項目が設定されていない。	受付不可	L2423	対象保健指導年度が令和6年度以降においてデータファイルの(項目名)が記録されています。
16	令和6年度以降において、記録必須の項目が設定されていない。	受付不可	L2430	対象保健指導年度が平成30年度以降令和6年度においてデータファイルの(項目名)が記録されています。
17	属したコード欄が設定されている。	受付不可	L2301	データファイルの(項目名)に属したコード欄が記録されています。(欄)
18	同一セクション内に重複した項目コードが記録されている。	受付不可	L2114	ファイル内の(セクション名)セクションコードに項目名、項目コードが重複して記録されています。

(注意1)下記の保健指導項目以外についてはチェックを行わない
 (注意2)特定保健指導データファイルの利用管理番号の先頭2桁が「13」未満の場合、対象保健指導年度を平成24年度以前とする。
 *特定保健指導データファイルの利用管理番号の先頭2桁が「13」以上の場合、対象保健指導年度を平成25年度以降とする。
 *特定保健指導データファイルの利用管理番号が取得できなかった場合、対象保健指導年度を平成25年度以降とする。
 *平成29年度以前と平成30年度以降の年度判定方法
 *特定保健指導データファイルの利用管理番号の先頭2桁が「13」未満の場合、対象保健指導年度を平成29年度以前とする。
 *特定保健指導データファイルの利用管理番号の先頭2桁が「13」以上の場合、対象保健指導年度を平成30年度以降とする。
 *特定保健指導データファイルの利用管理番号が不正な値又は取得できなかった場合、平成30年度以降の対象保健指導年度と判定する。
 (注意3)令和6年度以前の年度判定方法
 *特定保健指導データファイルの健康実態年月日(確認用)が記録されている場合、対象保健指導年度を令和6年度以降とする。
 *特定保健指導データファイルの利用管理番号の先頭2桁が「24」以上の場合は「1」以下の項目の場合、対象保健指導年度を令和6年度以降とする。
 *利用管理番号欄は、記録されなかった場合は対象保健指導年度を令和6年度以降と判定する。

番号	セクションコード	セクション名	初回面接時(報告区分:21)		最終評価時(報告区分:22)		項目コード	項目名	初回完了時(報告区分:25)		平成29年度以前記録不可	令和6年度以降記録不可項目	データ属性(属性)	XMLデータ属性	最大文字数	形式	項目欄(コード欄)の範囲	上欄・下欄の範囲	単位	XMLパターン(※1)	備考
			種別	動作	種別	動作			種別	動作											
1433							支援3の実施時間						数字(半角)		3		0~999	min		1	
1434							支援3の実施ポイント						INT		4		0~9999			1	
1435							支援3の実態						数字(半角)		1		1~4			4	1: 医務、2: 保健師、3: 管理栄養士、4: その他
							保健指導機関番号						数字(半角)		10					5	記録されていない場合エラー-L2432とする
							保健指導機関名称						文字列(全角)		20					6	記録されていない場合エラー-L2432とする
1436							支援3実施日						数字(半角)		256					1	設定されている場合エラー-L2423とする
1441	90040	最終支援情報(支援3情報)					支援4の実施日付						年月日(半角)		8					3	YYYYMM形式
1442							支援4の実態						コード(半角)		1		1~6			2	1: 個別支援(対面)、2: 個別支援(遠隔)、3: グループ支援(対面)、4: グループ支援(遠隔)、5: 電話、6: 電子メール等
1443							支援4の実施時間						数字(半角)		3		0~999	min		1	
1444							支援4の実態ポイント						INT		4		0~9999			1	
1445							支援4の実態						数字(半角)		1		1~4			4	1: 医務、2: 保健師、3: 管理栄養士、4: その他
							保健指導機関番号						数字(半角)		10					5	記録されていない場合エラー-L2432とする
							保健指導機関名称						文字列(全角)		20					6	記録されていない場合エラー-L2432とする
							支援4実施日						年月日(半角)		8					3	YYYYMM形式
1601	90060	最終実態評価情報					最終実態評価の実施日付						年月日(半角)		8					3	YYYYMM形式
1602							最終実態評価の支援形態又は確認方法						コード(半角)		1		1~4			2	1: 個別支援(対面)、2: 個別支援(遠隔)、3: グループ支援(対面)、4: グループ支援(遠隔)、5: 電話、6: 電子メール等
1603							最終実態評価の実態						コード(半角)		1		1~4			4	1: 医務、2: 保健師、3: 管理栄養士、4: その他
1604							最終実態評価ができない場合の確認回数						INT		2		0~99			1	
1605							最終実態評価時の期間						数字(半角)		5		0.0~999.9	cm		1	
1606							最終実態評価時の検定						数字(半角)		5		0.0~999.9	ka		1	
1607							最終実態評価時の収縮期血圧						数字(半角)		3		0~999	mm[Hg]		1	
1608							最終実態評価時の拡張期血圧						数字(半角)		3		0~999	mm[Hg]		1	
1609							実態評価時の体重・体高の改善						CD		1		N	0~2		1	0: 未達成、1: 1cm・1kg、2: 2cm・2kg
1610							最終実態評価時の保健指導による生活習慣の改善(栄養・食生活・喫煙)						コード(半角)		1		0~3			1	0: 変化なし、1: 改善、2: 悪化
1611							最終実態評価時の保健指導による生活習慣の改善(身体活動・運動)						コード(半角)		1		0~3			1	0: 変化なし、1: 改善、2: 悪化
1612							最終実態評価時の保健指導による生活習慣の改善(喫煙)						コード(半角)		1		0~3			1	0: 未達成、1: 達成、2: 目標なし
							保健指導機関番号						数字(半角)		10					5	対象保健指導年度が令和6年度以前の場合、平成30年度以前は記録必須項目(O)とする(データ属性(属性)欄に最大文字数チェックは年単位に適用せず。記録されている場合は記録必須項目(O)とする(データ属性(属性)欄に最大文字数チェックは年単位に適用せず。)
							保健指導機関名称						文字列(全角)		20					6	対象保健指導年度が令和6年度以前の場合、平成30年度以前は記録必須項目(O)とする(データ属性(属性)欄に最大文字数チェックは年単位に適用せず。記録されている場合は記録必須項目(O)とする(データ属性(属性)欄に最大文字数チェックは年単位に適用せず。)
1613							実態評価時の生活習慣の改善(栄養管理)						コード(半角)		1		N	0~9		1	0: 未達成、1: 達成、2: 目標なし
1614							実態評価時の生活習慣の改善(その他の生活習慣)						コード(半角)		1		N	0~9		1	0: 未達成、1: 達成、2: 目標なし
1615							実態評価時のポイント(アワカル評価の合計)						INT		4		NNNN	0~9999		1	項目欄が2桁の場合、L2301とする
1616							実態評価情報						文字列(全角)		256					1	平成29年度以前に設定されている場合エラー-L2423とする
1701	90070	指導計画情報(計画策定情報)					計画上の継続的な支援の実施回数						数字(半角)		3		0~999			1	
1702							計画上の継続的な支援の実施回数(個別支援A)						数字(半角)		3		0~999			1	
1703							計画上の継続的な支援の実施回数(グループ支援)						数字(半角)		3		0~999			1	
1704							計画上の継続的な支援の実施回数(電話による支援)						数字(半角)		3		0~999			1	
1705							計画上の継続的な支援の実施回数(e-mailによる支援)						数字(半角)		3		0~999			1	
1706							計画上の継続的な支援の実施回数(個別支援B)						数字(半角)		3		0~999			1	
1707							計画上の継続的な支援の実施回数(電話Bによる支援)						数字(半角)		3		0~999			1	
1708							計画上の継続的な支援の実施回数(e-mailによる支援)						数字(半角)		3		0~999			1	
1709							計画上の継続的な支援の合計実施時間(個別支援A)						数字(半角)		3		0~999	min		1	
1710							計画上の継続的な支援の合計実施時間(グループ支援)						数字(半角)		3		0~999	min		1	
1711							計画上の継続的な支援の合計実施時間(電話Aによる支援)						数字(半角)		3		0~999	min		1	
1712							計画上の継続的な支援の合計実施時間(個別支援B)						数字(半角)		3		0~999	min		1	
1713							計画上の継続的な支援の合計実施時間(電話Bによる支援)						数字(半角)		3		0~999	min		1	
1714							計画上の継続的な支援によるポイント(支援A)						数字(半角)		4		0~9999	0~9999		1	「継続的支援」において、項目欄が160未満の場合エラー-L2405とする(※2)
1715							計画上の継続的な支援によるポイント(支援B)						数字(半角)		4		0~9999	0~9999		1	対象保健指導年度が平成24年度以前の場合、「上欄・下欄の範囲」は無し
1716							計画上の継続的な支援によるポイント(合計)						数字(半角)		4		0~9999	0~9999		1	「継続的支援」において、項目欄が160未満の場合エラー-L2405とする(※2)
1701							計画上の継続的な支援の実施回数(個別支援(対面))						数字(半角)		3		NNN	0~999		1	
1702							計画上の継続的な支援の合計実施時間(個別支援(対面))						数字(半角)		3		NNN	0~999	min	1	
1703							計画上の継続的な支援の実施回数(個別支援(遠隔))						数字(半角)		3		NNN	0~999		1	
1704							計画上の継続的な支援の合計実施時間(個別支援(遠隔))						数字(半角)		3		NNN	0~999	min	1	
1705							計画上の継続的な支援の実施回数(グループ支援(対面))						数字(半角)		3		NNN	0~999		1	
1706							計画上の継続的な支援の合計実施時間(グループ支援(対面))						数字(半角)		3		NNN	0~999	min	1	
1707							計画上の継続的な支援の実施回数(グループ支援(遠隔))						数字(半角)		3		NNN	0~999		1	
1708							計画上の継続的な支援の合計実施時間(グループ支援(遠隔))						数字(半角)		3		NNN	0~999	min	1	
1709							計画上の継続的な支援の実施回数(電話)						数字(半角)		3						

※ 最新バージョンに伴う支店基金と共通のチェック仕様の変更については、黄色欄向け、赤字で表示
 ※ 最新バージョンに伴う共通項目のチェック仕様の変更については、黄色欄向け、赤字で表示（取消時は「支店基金との共通チェックを関係員自任としてチェックを行わない」ことを示す）
 ※ 取消時の関係員自任に関しては、関係員は「支店基金との共通チェックを関係員自任としてチェックを行わない」ことを示す

●特定保健指導項目チェックシート(第四期以降(令和6年度以降実施分))

NO	チェック内容	エラーレベル	エラーコード	エラーメッセージ
1	データ型(属性)が「文字列(全角)」の項目に対し、Linuxで入力された全角記号(～)が含まれている場合はWindowsで判別出来る全角記号(～)に自動修正を行う。	-	-	-
2	セクションコードに対し、重複(下記参照)の条件を満たさない ○：当該項目が当該報告区分の時に必ず存在すること ×：当該項目が当該報告区分の時に存在しないこと	受付不可	L2101 L2113	○:データファイルに必須の(セクション名)セクションコードが記録されていません。 ×:記録が認められていないデータファイルの項目名が記録されています。(セクションコード)
3	保健指導項目に対し種別(下記参照)の条件を満たさない ○：当該項目が当該報告区分の時に当該セクション内に項目が存在すること(※1参照) □：当該項目が当該報告区分の時に当該セクション内に項目が1つ以上、項目が存在すること △：当該項目が当該報告区分の時に当該セクション内に項目が存在すること。ただし、□が存在する場合は除く ■：当該項目が当該報告区分の時に当該セクション内に項目が存在すること。ただし、□が存在する場合は除く ▲：当該項目が当該報告区分の時に当該セクション内に項目が存在すること(※1参照) また、以下の条件を満たすこと(※5参照) 「1」:当日を記録した場合、「健診実施年月日(確認用)」の記録が存在し、かつ「健診実施年月日(確認用)No1104」かつ「初回面接の実施日付(No1301)」が一致していること 「2」:1週間以内(当日は除く)を記録した場合、「健診実施年月日(確認用)」の記録が存在し、かつ「初回面接の実施日付(No1301)」―「健診実施年月日(確認用)No1104」の値が1以上7以下であること 「O」:実施なしを記録し、かつ「健診実施年月日(確認用)」の記録が存在する場合。 「初回面接の実施日付(No1301)」―「健診実施年月日(確認用)No1104」の値が8以上であること △:当該項目が当該報告区分の時に当該セクション内に項目が存在する場合(※1参照)。以下の条件を満たすこと(※5参照) 「1」:当日を記録し、かつ「健診実施年月日(確認用)」の記録が存在する場合、「健診実施年月日(確認用)No1104」かつ「初回面接の実施日付(No1301)」が一致していること 「2」:1週間以内(当日は除く)を記録し、かつ「健診実施年月日(確認用)」の記録が存在する場合。 「初回面接の実施日付(No1301)」―「健診実施年月日(確認用)No1104」の値が1以上7以下であること 「O」:実施なしを記録し、かつ「健診実施年月日(確認用)」の記録が存在する場合。 「初回面接の実施日付(No1301)」―「健診実施年月日(確認用)No1104」の値が8以上であること ×:当該項目が当該報告区分の時に存在しないこと	受付不可	O:L2101 □:L2101 ■:L2101 ▲:L2101 L2434 L2434	○:データファイルの(項目名)が記録されていません。 □:データファイルの(項目名)が記録されていません。 △:データファイルの(項目名)が記録されていません。 ■:データファイルの(項目名)が記録されていません。 ▲:データファイルの(項目名)が記録されていません。 データファイルの健診実施年月日(確認用)又は初回面接の実施日付に記録されている内容に誤りがあります。
4	複数記録が許されない項目が複数記録されている。	受付不可	L2199	複数記録が認められない項目が記録されています。(項目)
5	1特定保健指導データファイル内で保健指導項目コードが重複して記録されている。	受付不可	L2105 L2107	重複が許されない項目が複数記録されています。(項目) 特定保健指導結果情報内に重複した保健指導項目コード(値)が存在します。
6	令和6年度以降において、記録不可の項目が設定されている。	受付不可	L2423	対象健診年度が令和6年度以降において、記録が認められていないデータファイルの(項目名)が記録されています。
7	データ型(属性)に準拠しない項目値が設定されている。	受付不可	L2203	データファイルの(項目名)が(形式名)形式で記録されていません。(値)
8	XMLデータ型に準拠しないデータ型が設定されている。	受付不可	L2206	「項目名」に属したXMLデータ型が記録されています。(値)正(値)
9	最大文字数が指定されている項目において、最大文字数を超過している。	受付不可	L2202	指定最大(桁):データファイルの(項目名)が(文字数)文字で記録されています。(値) 可変最大(桁):データファイルの(項目名)が(文字数)文字以内で記録されています。(値)
10	形式が指定されている項目において、形式に準拠しない項目値が設定されている。	受付不可	L2208	
11	上欄・下欄が指定されている項目において、項目値が範囲外 ※:範囲内とは、「範囲最小値」≦「記録された値」≦「範囲最大値」に記録された値のこと 項目値(コード値)の範囲が指定されている項目において、項目値が範囲外 ※:範囲内とは、「下限値(20ポイント)」≦「記録された値」≦「上限値」に記録された値のこと	受付不可	L2405 L2405	データファイルの(項目名)に対し範囲(「上欄値」～「上欄値」)の値が記録されています。(値) データファイルの(項目名)に対し範囲(「下欄値」～「上欄値」)の値が記録されています。(値)
12	平成29年度以前において、記録不可のセクションが設定されている。	受付不可	L2429	対象健診年度が平成29年度以前において、記録が認められていないデータファイルのセクションコードが記録されています。
13	平成29年度以前において、記録不可の項目が設定されている。	受付不可	L2429	対象健診年度が平成29年度以前において、記録が認められていないデータファイルの(項目名)が記録されています。
14	平成29年度以前において、記録不可の項目値(コード値)が設定されている。	受付不可	L2423	対象健診年度が平成29年度以前において、記録が認められていないデータファイルの(項目名)に属したコード値が記録されています。
15	令和6年度以降において、記録必須のセクションが設定されていない。	受付不可	L2423	対象健診年度が令和6年度以降においてデータファイルの(項目名)が記録されていません。
16	令和6年度以降において、記録必須の項目が設定されていない。	受付不可	L2430	対象健診年度が令和6年度以降においてデータファイルの(項目名)が記録されていません。
17	属したコード値が設定されている。	受付不可	L2301	データファイルの(項目名)に属したコード値が記録されています。(値)
18	同一セクション内に重複した項目コードが記録されている。	受付不可	L2114	ファイル内の(セクション名)セクションに項目名、項目コードが複数記録されています。

(注意1)下記の保健指導項目以外についてはチェックを行わない
 (注意2)特定保健指導データファイルの利用管理番号の先頭2桁が「13」未満の場合、対象健診年度を平成24年度以前とする。
 *特定保健指導データファイルの利用管理番号の先頭2桁が「13」以上の場合、対象健診年度を平成25年度以降とする。
 *特定保健指導データファイルの利用管理番号が取得できなかった場合、対象健診年度を平成25年度以降とする。
 *平成29年度以前と平成30年度以降との年度判定方法
 *特定保健指導データファイルの利用管理番号の先頭2桁が「18」未満の場合、対象健診年度を平成29年度以前とする。
 *特定保健指導データファイルの利用管理番号の先頭2桁が「18」以上の場合、対象健診年度を平成30年度以降とする。
 *特定保健指導データファイルの利用管理番号が不正な値又は取得できなかった場合、平成30年度以降の対象健診年度と判定する。
 (注意3)令和6年度以前の年度判定方法
 *特定保健指導データファイルの健診実施年月日(確認用)が記録されている場合、対象健診年度を令和6年度以降とする。
 *特定保健指導データファイルの利用管理番号の先頭2桁が「24」以上の場合は「1」～「17」以下の順で判定する。
 ※利用管理番号は、記録されなかった場合は対象健診年度を令和6年度以降と判定する。

番号	セクションコード	セクション名	初期調査時(報告区分:21)		最終調査時(報告区分:22)		項目コード	項目名	継続的支援 H24年度		継続的支援 H25年度		継続的支援 H24年度	継続的支援 H25年度	初回未完了時(報告区分:25)	平成29年度以前記録不可	令和6年度以降記録不可項目	データ型(属性)	XMLデータ型	最大文字数	形式	項目値(コード値)の範囲	上欄・下欄の範囲	単位	XMLパターン(※1)	備考
			継続的支援	継続的支援	継続的支援	継続的支援			継続的支援	継続的支援																
1731	90070	指導計画情報(実施済み)					1042800117	実施上の継続的な支援の実施回数										数字(半角)	INT	3		0~999			1	
1732							1042101117	実施上の継続的な支援の実施回数(個別支援A)										数字(半角)	INT	3		0~999			1	
1733							1042302117	実施上の継続的な支援の実施回数(グループ支援)										数字(半角)	INT	3		0~999			1	
1734							1042103117	実施上の継続的な支援の実施回数(電話Aによる支援)										数字(半角)	INT	3		0~999			1	
1735							1042104117	実施上の継続的な支援の実施回数(e-mailによる支援)										数字(半角)	INT	3		0~999			1	
1736							1042201117	実施上の継続的な支援の実施回数(個別支援B)										数字(半角)	INT	3		0~999			1	
1737							1042203117	実施上の継続的な支援の実施回数(電話Bによる支援)										数字(半角)	INT	3		0~999			1	
1738							1042204117	実施上の継続的な支援の実施回数(e-mailBによる支援)										数字(半角)	INT	3		0~999			1	
1739							1042101113	実施上の継続的な支援の合計実施時間(個別支援A)										数字(半角)	PQ	3		0~999	min		1	
1740							1042302113	実施上の継続的な支援の合計実施時間(グループ支援)										数字(半角)	PQ	3		0~999	min		1	
1741							1042103113	実施上の継続的な支援の合計実施時間(電話Aによる支援)										数字(半角)	PQ	3		0~999	min		1	
1742							1042201113	実施上の継続的な支援の合計実施時間(個別支援B)										数字(半角)	PQ	3		0~999	min		1	
1743							1042203113	実施上の継続的な支援の合計実施時間(電話Bによる支援)										数字(半角)	PQ	3		0~999	min		1	
1744							1042100114	継続的な支援によるポイント(支援A)										数字(半角)	INT	4		0~9999	0~9999		1	*「継続的支援」において、項目値が160未満の場合エラー-L2405とする ただし、報告区分が初回終了時(報告区分:23)または初回未完了時(報告区分:25)の場合、「上欄・下欄の範囲」は0~9999
1745							1042200114	継続的な支援によるポイント(支援B)										数字(半角)	INT	4		0~9999	0~9999		1	対象健診年度が平成24年度以前の場合、「上欄・下欄の範囲」は20~9999
1746							1042800114	継続的な支援によるポイント(合計)										数字(半角)	INT	4		0~9999	0~9999		1	*対象健診年度が平成25年度以降の場合 *「継続的支援」において、項目値が160未満の場合エラー-L2405とする
1731							1042010010	継続的な支援の実施回数(個別支援(対面))										数字(半角)	INT	3	NNN	0~999			1	
1732							1042020010	継続的な支援の合計実施時間(個別支援(対面))										数字(半角)	PQ	3	NNN	0~999	min		1	
1733							1042010020	継続的な支援の実施回数(個別支援(遠隔))										数字(半角)	INT	3	NNN	0~999			1	
1734							1042020020	継続的な支援の合計実施時間(個別支援(遠隔))										数字(半角)	PQ	3	NNN	0~999	min		1	
1735							1042010030	継続的な支援の実施回数(グループ支援(対面))										数字(半角)	INT	3	NNN	0~999			1	
1736							1042020030	継続的な支援の合計実施時間(グループ支援(対面))										数字(半角)	PQ	3	NNN	0~999	min		1	
1737							1042010040	継続的な支援の実施回数(グループ支援(遠隔))										数字(半角)	INT	3	NNN	0~999			1	
1738							1042020040	継続的な支援の合計実施時間(グループ支援(遠隔))										数字(半角)	PQ	3	NNN	0~999	min		1	
1739							1042010050	継続的な支援の実施回数(電話)										数字(半角)	INT	3	NNN	0~999			1	
1740							1042020050	継続的な支援の合計実施時間(電話)										数字(半角)	PQ	3	NNN	0~999	min		1	
1741							1042010060	継続的な支援の実施回数(電子メール等)										数字(半角)	INT	3	NNN	0~999			1	
1742							1042010070	継続的なポイント(プロセス評価の合計)										数字(半角)	INT	4	NNNN	0~9999	0~9999		1	
1743							1042010080	ポイント(合計)										数字(半角)	INT	4	NNNN	0~9999	0~9999		1	*「継続的支援」において、項目値が160未満の場合エラー-L2405とする
1747							1042800118	保健指導の実施回数										数字(半角)	INT	3	NNN	0~999			1	
1748							1042000022	実施上の継続的な支援の終了日										数字(半角)	ST	8					1	YYYYMMDD形式

※1 項目有無についてはXMLパターン別に下記のとおりとする
 (パターン) 項目有無判定
 1 当該セクション内に entry/act/entryRelationship/observation/code要素が存在し code属性に当該項目コードが存在すること
 2 当該セクション内に entry/act/code要素が存在すること
 3 当該セクション内に entry/act/effectiveTime要素が存在すること
 4 当該セクション内に entry/act/performer/assignedEntity/code要素が存在すること
 5 当該セクション内に entry/act/performer/assignedEntity/representedOrganization/id要素が存在すること
 6 当該セクション内に entry/act/performer/assignedEntity/representedOrganization/name要素が存在すること

※2 途中終了時「コード:2.3」の場合であって、項目及び項目値が記録されたときは上記チェックシートによりチェックする
 ただし、継続的な支援によるポイントの項目はチェックを行わない

※3 特定保健指導情報ファイルの利用管理番号の上3桁目が5(セット券)且つ、初回面接情報(90020)が存在する場合、エラーにしない

※4 小数点を含む形式の場合、小数点以下は省略可能

※5 中間評価情報、継続支援情報、最終評価情報の保健指導機関番号、保健指導機関名は、平成29年度以前の特定健診年度に基づく当該保健指導を実施している保健者(又は保健指導機関)が継続的支援等の一部委託(又は再委託)している場合に記録される。
 平成30年度以降の特定健診年度に基づく保健指導の場合は、必ず記録される。

※6 90020セクションが記録されている場合は、90020セクションに記録されている「初回面接の実施日付」を対象とし、90020セクションが記録されていない場合は、90030セクションに記録されている「初回面接の実施日付」を対象とする。
 ただし、90020セクションがあるにも関わらず、90020セクションに「初回面接の実施日付」が記録されていない場合、エラーとする

名前空間(第三期以前)

(参考)名前空間(XMLインスタンスの定義)について(第三期以前(令和5年度以前実施分))

1. 各XMLファイルの名前空間

ファイル	root要素	xmlns属性	xmlns:xsi属性	xsi:schemaLocation属性
基本情報	index	http://tokuteikenshin.jp/checkup/2007	http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance	http://tokuteikenshin.jp/checkup/2007 ../XSD/ix08_V08.xsd
集計情報	summary	http://tokuteikenshin.jp/checkup/2007	http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance	http://tokuteikenshin.jp/checkup/2007 ../XSD/su08_V08.xsd
特定健診データ	ClinicalDocument	urn:hl7-org:v3	http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance	urn:hl7-org:v3 ../XSD/hc08_V08.xsd
特定健診決済情報	checkupClaim	http://tokuteikenshin.jp/checkup/2007	http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance	http://tokuteikenshin.jp/checkup/2007 ../XSD/cc08_V08.xsd
特定保健指導データ	ClinicalDocument	urn:hl7-org:v3	http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance	urn:hl7-org:v3 ../XSD/hg08_V08.xsd
特定保健指導決済情報	healthGuidanceClaim	http://tokuteikenshin.jp/checkup/2007	http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance	http://tokuteikenshin.jp/checkup/2007 ../XSD/gc08_V08.xsd

2. 記述例

例1)特定健診データファイルの場合

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" ?>
<ClinicalDocument xmlns="urn:hl7-org:v3"
  xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
  xsi:schemaLocation="urn:hl7-org:v3 ../XSD/hc08_V08.xsd">
  ...
</ClinicalDocument>
```

例2)特定健診決済情報ファイルの場合

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" ?>
<checkupClaim xmlns="http://tokuteikenshin.jp/checkup/2007"
  xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
  xsi:schemaLocation="http://tokuteikenshin.jp/checkup/2007 ../XSD/cc08_V08.xsd">
  ...
</checkupClaim>
```


名前空間（第四期以降）

（参考）名前空間（XMLインスタンスの定義）について（第四期以降（令和6年度以降実施分））

1. 各XMLファイルの名前空間

ファイル	root要素	xmlns属性	xmlns:xsi属性	xsi:schemaLocation属性
基本情報	index	https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html	http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance	https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html./XSD/aix08_V08.xsd
集計情報	summary	https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html	http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance	https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html./XSD/aix08_V08.xsd
特定健診データ	ClinicalDocument	urn:hl7-org:v3	http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance	urn:hl7-org:v3 ../XSD/hc08_V08.xsd
特定健診決済情報	checkupClaim	https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html	http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance	https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html./XSD/aix08_V08.xsd
特定保健指導データ	ClinicalDocument	urn:hl7-org:v3	http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance	urn:hl7-org:v3 ../XSD/hg08_V08.xsd
特定保健指導決済情報	healthGuidanceClaim	https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html	http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance	https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html./XSD/aix08_V08.xsd

2. 記述例

例1)特定健診データファイルの場合

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" ?>
<ClinicalDocument xmlns="urn:hl7-org:v3"
  xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
  xsi:schemaLocation="urn:hl7-org:v3 ../XSD/hc08_V08.xsd">
</ClinicalDocument>
```

例2)特定健診決済情報ファイルの場合

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" ?>
<checkupClaim xmlns="https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html"
  xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
  xsi:schemaLocation="https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html./XSD/aix08_V08.xsd">
...
```


補足資料①:XMLデータ型“PQ”、“CD”で構成される組み合わせに関わるチェックについて

XMLデータ型が“PQ”、“CD”で構成される組み合わせに対して発生するエラー出力パターンを、表1-1、表1-2に示す。

表1-1 エラー表示パターン表<対象健診年度が平成24年度以前の場合>

1個		2個			3個以上
PQ	CD	PQ	PQ	CD	
入力最小・最大値の範囲外	H、L以外	L2111	L2111	L2111	L2111
L2405	L2203				

表1-2 エラー表示パターン表<対象健診年度が平成25年度以降の場合>

1個		2個			3個以上
PQ	CD	PQ	PQ	CD	
入力最小・最大値の範囲外	CD	CD		CD	L2111
L2420	L2420	入力最小・最大値の範囲内	入力最小・最大値の範囲外	L2111	L2111
		L2420	入力最大値以上 H以外	入力最小値以下 L以外	L2111
			L2421	L2421	

■L2420

※対象健診年度が平成25年度以降の場合のみ

・入力最小・最大値の範囲が指定されている項目において、検査結果値(observation/value)の検査結果データ型(xsi:type)が“PQ”で、結果(value)が入力最小・最大値の範囲外の場合、かつ、当該項目中に検査結果データ型(xsi:type)が“CD”の検査結果値(observation/value)が存在しない場合、当該エラーとする。

例)

```
<observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
  <code code="3F015000002327101" />
  <value xsi:type="PQ" value="2000" unit="mg/dL" />
</observation>
```

CDが記録されていない

・入力最小・最大値の範囲が指定されている項目において、検査結果値(observation/value)が存在しない場合、当該エラーとする。

例)

```
<observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
  <code code="3F015000002327101" />
  <value xsi:type="CD" code="H" />
</observation>
```

PQが記録されていない

・入力最小・最大値の範囲が指定されている項目において、検査結果値(observation/value)の検査結果データ型(xsi:type)が“PQ”で、結果(value)が入力最小・最大値の範囲内の場合、かつ、当該項目中に検査結果データ型(xsi:type)が“CD”の検査結果値(observation/value)が存在する場合、当該エラーとする。

例)

```
<observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
  <code code="3F015000002327101" />
  <value xsi:type="PQ" value="1999" unit="mg/dL" />
  <value xsi:type="CD" code="H" />
</observation>
```

結果(value)が入力最小・最大値の範囲内にもかかわらず、CDが記録されている

■L2421

※対象健診年度が平成25年度以降の場合のみ

・入力最小・最大値の範囲が指定されている項目において、検査結果値(observation/value)の検査結果データ型(xsi:type)が“PQ”の結果(value)が入力最大値以上の場合で、かつ、当該項目中の検査結果データ型(xsi:type)が“CD”の検査結果値(observation/value)の結果(code)が“H”以外の場合、当該エラーとする。

例)

```
<observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
  <code code="3F015000002327101" />
  <value xsi:type="PQ" value="2000" unit="mg/dL" />
  <value xsi:type="CD" code="L" />
</observation>
```

最大値以上の場合は“H”

・入力最小・最大値の範囲が指定されている項目において、検査結果値(observation/value)の検査結果データ型(xsi:type)が“PQ”の結果(value)が入力最小値以下の場合で、かつ、当該項目中の検査結果データ型(xsi:type)が“CD”の検査結果値(observation/value)の結果(code)が“L”以外の場合、当該エラーとする。

例)

```
<observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
  <code code="3F015000002327101" />
  <value xsi:type="PQ" value="10" unit="mg/dL" />
  <value xsi:type="CD" code="H" />
</observation>
```

最小値以下の場合は“L”

補足資料②: HbA1c検査結果値の国際標準規格に関するチェックについて

HbA1cの検査結果値(JDS値又はNGSP値)に関連するJLAC10コード一覧を表2-1に、対象健診年度におけるHbA1cの検査結果値のパターンにおけるチェック結果を、表2-2に示す。

表2-1 HbA1cの検査結果値に関連するJLACコード一覧

項番	JLAC10コード	項目名
1	9N14100000000011	採血時間(食後)
2	3D010000001926101	空腹時血糖(電位差法(ブドウ糖酸化酵素電極法))
3	3D010000002227101	空腹時血糖(可視吸光光度法(ブドウ糖酸化酵素法))
4	3D010000001927201	空腹時血糖(紫外吸光光度法(ヘキソキナーゼ法、グルコキナーゼ法、ブドウ糖脱水素酵素法))
5	3D010000001999901	空腹時血糖(その他)
6	3D045000001906202	HbA1c(免疫学的方法(ラテックス凝集比濁法等))(JDS値)
7	3D045000001920402	HbA1c(HPLC(不安定分画除去HPLC法))(JDS値)
8	3D045000001927102	HbA1c(酵素法)(JDS値)
9	3D045000001999902	HbA1c(その他)(JDS値)
10	3D046000001906202	HbA1c(免疫学的方法(ラテックス凝集比濁法等))(NGSP値)
11	3D046000001920402	HbA1c(HPLC(不安定分画除去HPLC法))(NGSP値)
12	3D046000001927102	HbA1c(酵素法)(NGSP値)
13	3D046000001999902	HbA1c(その他)(NGSP値)

表2-2 HbA1cの検査結果

対象健診年度	HbA1cの検査結果値	結果
平成24年度以前	JDS値*1	正常
	NGSP値*2	L2422
平成25年度以降	JDS値*1	L2422
	NGSP値*2	正常

(注) *1 表2-1の項番6~9
*2 表2-1の項番10~13

■L2422

- 対象健診年度が平成24年度以前の場合にて、HbA1cの検査結果にNGSP値が記録されている場合、当該エラーとする。
- 対象健診年度が平成25年度以降の場合にて、HbA1cの検査結果にJDS値が記録されている場合、当該エラーとする。

例)

```
<observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
  <code code="3D045000001906202" displayName="HbA1c"/>
  <value xsi:type="PQ" value="" unit="%"/>
  <interpretationCode cod
  ....
</observation>
```

検査結果がNGSP値の場合は
"3D046000001906202"

■L2101

- 対象健診年度が平成24年度以前の場合にて、項番2~9の内、いずれか1つ以上、未実施以外の項目が存在しなかった場合、当該エラーとする。
- 対象健診年度が平成25年度以降の場合にて、項番2~5、10~13の内、いずれか1つ以上、未実施以外の項目が存在しなかった場合、当該エラーとする。

■L2401

- 項番1が未実施以外で存在し、かつ項番2~5がいずれか1つ以上、未実施以外で存在する場合で、かつ項番1の項目値が"2"(食後10時間以上)でない場合、当該エラーとする。ただし、以下の条件のいずれかが成立する場合は除く。
- 1. 対象健診年度が平成24年度以前の場合にて、項番6~9がいずれか1つ以上、未実施以外で存在する場合
- 2. 対象健診年度が平成25年度以降の場合にて、項番10~13がいずれか1つ以上、未実施以外で存在する場合

補足資料③XMLデータの名前空間について

XMLデータの名前空間には、「第三期以前」、「第四期」の2つ存在し、XMLデータ取得時に指定する名前空間は、「第三期以前」、「第四期」のいずれかを指定する。XMLデータとXMLデータ取得時に指定する名前空間の判定方法について、表3-1に示す。

表3-1 XMLデータとXMLデータ取得時に指定する名前空間の判定方法

項番	XMLデータ	XMLデータ取得時に指定する名前空間の判定方法
1	健診等決済データ情報. 健診保健指導決済情報XML	健診等データ管理情報. 健診年度フラグ = '0' (第三期) の場合、第三期以前の名前空間(*1)を指定する。 健診等データ管理情報. 健診年度フラグ = '1' (第四期) の場合、第四期の名前空間(*2)を指定する。

*1 "<http://tokuteikenshin.jp/checkup/2007>"

*2 "<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html>"